



令和3年10月20日

東久留米市長  
並木 克巳 殿

東久留米市男女平等推進市民会議  
会 長 名取 はにわ

東久留米市第3次男女平等推進プランの令和2年度事業進捗状況評価について(答申)

令和3年5月31日付3東久市生第114号により諮問のありました標記の件について、本会議で審議した結果、別紙の結論に達しましたので答申します。



東久留米市第3次男女平等推進プランの  
令和2年度事業進捗状況評価について  
(答申)

2021(令和3)年10月

東久留米市男女平等推進市民会議

# 目次

I	答申	1
II	評価と実績報告	7
	1 第3次男女平等推進プランの体系（評価単位）	(7)
	① 評価の単位	(9)
	② 第3次男女平等推進プラン体系表（評価単位）	(10)
	2 評価一覧	(15)
	3 報告・評価（個票）	(23)
	① 報告書・評価書の見方	(25)
	② 報告書 —担当課による報告—	(27)
	③ 評価書 —市民会議による評価・提言—	(85)
III	参考資料	143
	1 諮問文	(145)
	2 東久留米市男女平等推進市民会議条例	(146)
	3 東久留米市男女平等推進市民会議名簿	(148)
	4 東久留米市男女平等推進市民会議検討経過	(149)
IV	東久留米市男女共同参画都市宣言	151

# I 答 申



## 1 はじめに

東久留米市は、平成 29 年 3 月に策定した「東久留米市第 3 次男女平等推進プラン」(以下「プラン」という。)に基づき、男女共同参画社会の形成に向けて取組を進めています。

男女平等推進市民会議(以下「市民会議」という。)では、令和 3 年 5 月にプランに定められた令和 2 年度事業の進捗状況評価について諮問を受け、検討を重ねてまいりました。

検討にあたっては、専門的、市民の見地を持った第三者的立場から、実績報告に基づく客観的な評価を進めると共に、一部の担当課とは直接、意見を交換する場を設けるなどし、実態に即した評価、提言を行うよう努めました。

本答申は、こうした検討を踏まえ、プランの令和 2 年度事業の進捗状況について評価し、まとめたものです。

現況に対する評価をご確認いただくとともに、本提言を参考に、今後の取組が一層進展することを期待します。

## 2 評価方法について

プランの評価方法は、以下の 2 点について特に効果が図られることを意図しています。(評価方法詳細は別記参照)

- ① 報告作業や評価のフィードバックを通じ、担当者が改めて事業を男女共同参画の視点から捉え、男女共同参画の実現に向けて、どのような役割を担っているかについて理解を深めること
- ② 男女共同参画施策が互いに関連している場合は、担当課間で連携した取組が進められること

## 3 意見交換(ヒアリング)について

プランの評価においては、より実態に即した評価を行うことを重要と考え、必要に応じて担当課との意見交換を行うこととしています。

今回、令和 2 年度事業を評価するにあたっては、福祉保健部障害福祉課及び子ども家庭部子育て支援課との間で意見交換を実施しました。障害福祉課とは障害者に対する就労自立支援について、子育て支援課とは私立幼稚園の名簿(混合・男女別)を中心に質疑応答を行いました。

評価をする際に委員によって評価が分かれた分野もありましたが、担当課に不明点や事業の詳細について質問をしたり、意見交換を行ったことで、それぞれの事業への理解が深まり、より正確な評価に繋げることができました。

#### 4 令和2年度事業について

(1) 令和2年度はプランの計画期間の4年目にあたります。担当課の自己評価よりも市民会議の評価の方が高くなった事業もあり、全体的には、男女共同参画社会の実現に向けた取組が推進しているように見受けられました。

事業によっては、プランに記載されている担当課のみで取組を進めることが難しいと思われるものもありました。そのような事業については、事業内容を精査し、関連する課と連携しながら取組を推進していくことが必要ではないかと考えます。また、この4年間であまり進捗が見られなかった取組については、他の自治体等から情報収集を行い、実現に向けた取組が推進されることを期待します。

また、報告作業や評価が施策推進に有効に活用されるためには、数値目標の設定が重要です。数値目標の明確化は事業の成果の「見える化」にも繋がり、評価の重要な判断材料となるため、各事業においては可能な限り数値目標を設定し、事業に取り組んでいただきたいと考えます。

(2) プランの進捗状況評価においては、特に良い取組をしたと評価された担当課を市民会議が表彰することとしています。表彰は、項目評価3評価と年度評価1評価を合わせた4評価全てがA評価であることを基準とします。

多岐に渡り取組を行う課においては、複数の報告・評価がありますが、1つでも4評価全てがA評価であれば対象とします。

令和2年度事業においては、産業政策課、生活文化課、介護福祉課、健康課、児童青少年課、指導室の6課を表彰いたします。

#### 5 今後に向けて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、令和2年度も引き続き社会に大きな影響をもたらしましたが、特に女性への影響は、あらゆる領域で大きくなっていると言われています。

令和2年11月に、内閣府男女共同参画局長私的諮問機関である「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」より緊急提言が提出され、令和3年4月には、「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書 ～誰一人取り残さないポストコロナの社会へ～」が公表されました。報告書の中でも、「グローバルな規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の拡大が、雇用や生活面で特に女性、女の子に深刻な影響を及ぼし、緊急の対応が求められる」とし、非正規女性の離職が増加し、特にシングルマザーの生活が追い詰められていること、また、DVや専業主婦・女子高校生の自殺が増加していることを明らかにしました。「逃げ場のない女性たち、女の子たちへの救済のために、ジェンダー的視点を入れた政策の設計が不可欠である」とされています。

市としても、「誰一人取り残さないポストコロナの社会」の実現に向け、より一層、

プランの推進に取り組んでいただきたいと思います。

令和2年度は1年を通して新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めなければならず、事業を実施する際には苦慮されたのではないかと想像します。ただ、コロナ禍でもオンラインを活用するなど、事業の実施方法が多様化し、新たな可能性や新しい人と人とのつながりが生まれたと聞いています。

プランの計画期間の残り2年についても、これまでに積み上げてきた成果を継続し、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進していただきたいと思います。

また、取組を推進するにあたっては、関係する各課が連携することが重要と考えます。複数の課が、相互に連携・役割を補完し合うことで、取組がより実効性のあるものになると思われます。

- ・令和2年度はプランの計画期間4年目にあたり、良い評価を受けた取組が次年度にさらに良い評価を受けるといった積み重ねとしての成果が表れてきている。その成果が見える形で次のプランに繋げていただきたいと思います。
- ・取組については着実に進んでいると思われるが、報告作業や評価が施策推進に有効に活用されるためには、可能な限り数値目標を明確化する必要がある。数値目標の明確化により、事業の成果の「見える化」に繋げていただきたいと思います。
- ・市民の約半数は女性であり、市役所に働く女性職員は48.4%を占める。にもかかわらず課長職以上の女性職員は8.9%と極めて低い。このように、本市市役所における女性管理職の登用については、依然として進んでおらず、近隣市と比較しても取組が大きく遅れている。市長をはじめとする幹部職員に具体的な取組を求めたい。
- ・審議会等委員における女性比率が非常に低い。東京都男女平等参画審議会では、「東京都男女平等参画推進総合計画」の改定に向けて議論が行われており、そのような動向や国や他市の取組に倣って、審議会ごとの女性比率を明示し、具体的に登用計画を策定することを検討していただきたいと思います。特に防災会議に占める女性比率については、国も注力しているところであり、女性委員を増やしていただきたいと思います。

## 評価方法について

### 評価作業について

- 評価は第3次プランの取組の方向 及び 担当課によるまとまりを単位として、行っています。全部で83項目についての評価があります。
- 評価は担当課からの報告書をもとに行います。
- 評価はまず、市民会議委員10名を3つのグループに分けて、83項目を分担してワーキンググループ評価を行いました。その後、市民会議において、各グループの結果を報告し、担当課との意見交換、検討を経て、最終評価をまとめています。

#### 〈ワーキンググループ分担〉

- グループ1：目標Ⅰ 働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進  
目標Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進  
目標Ⅲ あらゆる分野における男女共同参画の推進
- グループ2：目標Ⅳ 安心・安全な暮らしの実現
- グループ3：目標Ⅴ 男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備  
目標Ⅵ 推進体制の整備・強化

### 評価の項目

- 評価は「取組状況」「課題把握」「次年度目標」の各項目に対する項目評価と、それらを総合的に勘案し、評価対象年度の総合的な進捗状況の評価する年度評価について、それぞれA～Dの4段階で評価しています。
- 評価はいずれも、男女共同参画の視点から評価しています。  
「男女共同参画推進においてどのような役割を果たすか」という側面を見て事業に取り組んでいるか、課題を把握し、また、対策・目標が立てられているかを評価しています。

### 「取組の方向」全体についての講評・提言について

- 一つの「取組の方向」において担当課が複数課ある場合は、連携状況などについて講評・提言を行っています。(連携の状況に対する講評や、連携の可能性についてなど)

## Ⅱ 評価と実績報告

### 1 第3次男女平等推進プランの体系（評価単位）



# ① 評価の単位

プランの体系は、目標—施策—取組の方向—事業の階層になっています。同じ目的を持った事業に複数の課が取り組んでいるものもあります。事業進捗状況の報告・評価は、「取組の方向」及び「担当課」ごとに行っています。

東久留米市第3次男女平等推進プラン 体系表(進捗状況評価用)

目標	施策	取組の方向	担当課	事業	評価 通番	
I 働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	1 ワーク・ライフ・バランスへの理解促進	1 ワーク・ライフ・バランスの正しい理解促進に向けた啓発、情報提供	生活文化課	1 ワーク・ライフ・バランスに関する啓発 2 両立支援制度や育児休業・育児時間及び介護・看護休業制度の周知と取得に向けた啓発	1	
			産業政策課	3 関係法令、各種制度の周知と啓発 4 労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発 6 ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供	2	
	2 市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進	1 市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供	1 「取組の方向」別 「担当課」別	生活文化課	3 関係法令、各種制度の周知と啓発 4 労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発 5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知 6 ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供	3
				生活文化課	7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討	4
				生活文化課	8 男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供	5
				生涯学習課	8 男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供	6
	3 男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進	1 固定的な性別役割分担意識解消への啓発	2 男性やシニアが参加しやすい環境作り	生活文化課	10 男性の家事・育児・介護等への参加促進	7
				介護福祉課	9 シニアの経験と知識を活かす活動の推進	8
				子育て支援課	10 男性の家事・育児・介護等への参加促進	9
				生涯学習課	10 男性の家事・育児・介護等への参加促進	10

この括りで、報告、評価をしています。

この括りで、報告、評価をしています。

② 第3次男女平等推進プラン体系表(評価単位)

目標	施策	取組の方向	担当課	事業	評価通番		
I 働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	1 ワーク・ライフ・バランスへの理解促進	1 ワーク・ライフ・バランスの正しい理解促進に向けた啓発、情報提供	生活文化課	1 ワーク・ライフ・バランスに関する啓発 2 両立支援制度や育児休業・育児時間及び介護・看護休業制度の周知と取得に向けた啓発	1		
			産業政策課	3 関係法令、各種制度の周知と啓発 4 労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決 6 ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供	2		
	2 市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進	1 市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供	生活文化課	3 関係法令、各種制度の周知と啓発 4 労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決 5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知 6 ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供	3		
			生活文化課	7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討	4		
			生活文化課	8 男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供	5		
			生涯学習課	8 男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供	6		
	3 男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進	2 男性やシニアが参加しやすい環境作り	生活文化課	10 男性の家事・育児・介護等への参加促進	7		
			介護福祉課	9 シニアの経験と知識を活かす活動の推進	8		
			子育て支援課	10 男性の家事・育児・介護等への参加促進	9		
			生涯学習課	10 男性の家事・育児・介護等への参加促進	10		
			4 両立支援のための子育て・介護の環境整備	1 多様なニーズに対応する保育、教育、子育て環境の整備	子育て支援課	12 保育・教育基盤の確保 13 多様な保育・教育の提供	11
					児童青少年課	11 子育て相談事業のネットワーク化の推進 13 多様な保育・教育の提供 14 学童保育及び児童館の充実	12
	健康課	11 子育て相談事業のネットワーク化の推進			13		
	障害福祉課	13 多様な保育・教育の提供			14		
		2 介護支援の充実	介護福祉課	15 地域包括支援センターの充実 16 要介護者の家族への支援 17 介護保険制度の普及と啓発 18 在宅サービスの充実	15		

目標	施策	取組の方向	担当課	事業	評価 通番	
Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進	1 女性活躍推進にかかる意識啓発や情報提供	産業政策課	19 女性活躍推進に向けた情報提供	16	
			生活文化課	19 女性活躍推進に向けた情報提供	17	
		2 取組事業所への支援	産業政策課	再 3 関係法令、各種制度の周知と啓発(再掲)	18	
			生活文化課	再 3 関係法令、各種制度の周知と啓発(再掲)	19	
				再 7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討(再掲)		
				再 5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知(再掲)		
		3 市役所における女性管理・監督職への登用促進	職員課	20 職員研修の充実 21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進 22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施 23 ハラスメント対策の推進	20	
			生活文化課	21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進 22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施	21	
		2 女性の就労継続とキャリア形成への支援	1 就労継続とキャリア形成に向けた意識啓発	生活文化課	24 女性の就労継続とキャリア形成への支援	22
		3 女性の再就労への支援	1 再就職に関する講座、啓発、情報提供	産業政策課	25 女性の再就職への支援	23
	生活文化課			25 女性の再就職への支援	24	
	4 女性の起業と事業継続への支援	1 起業と事業継続に関する講座、情報提供、関係機関との連携による支援とネットワークづくりへの支援	産業政策課	26 女性の起業に関する情報提供及び支援	25	
			生活文化課	26 女性の起業に関する情報提供及び支援	26	
			図書館	26 女性の起業に関する情報提供及び支援	27	
	Ⅲ 共野に参画する 男の参画を 推進する 男女分	1 市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進	1 ポジティブ・アクションへの理解促進	生活文化課	27 審議会委員等委員の男女比率の均等化	28
			2 男女が参加しやすい環境整備	生活文化課	28 自治会における男女共同参画に関する啓発及び情報提供	29
		2 地域におけるリーダーとなる女性の育成	1 リーダー育成のための講座開催や機会の提供	生活文化課	29 地域におけるリーダーとなる女性の育成	30

目標	施策	取組の方向	担当課	事業	評価 通番	
IV 安心・安全な暮らしの実現	1 生涯にわたる男女の健康の支援	1 ライフステージに合わせた健康支援	健康課	30 各種健康診査及び健康相談事業の充実 33 生涯を通じた健康の保持増進等のための啓発及び情報提供 34 こころの健康支援	31	
			生活文化課	33 生涯を通じた健康の保持増進等のための啓発及び情報提供	32	
			介護福祉課	35 シニアが自立した生活を送るための支援 36 予防重視のシニア施策の充実	33	
			指導室	31 発達段階に応じた適切な性教育の推進 32 HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実	34	
		健康課	37 妊娠中及び出産後の健康管理の啓発及び相談事業の充実 38 出産・育児に関する情報提供と男性の理解の促進	35		
		2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援	1 暴力の未然防止や早期発見のための取組強化	生活文化課	39 暴力未然防止のための意識啓発 40 若年層に向けた暴力防止の啓発 41 早期発見のための理解促進	36
	指導室			40 若年層に向けた暴力防止の啓発	37	
	2 安心して相談できる体制づくり		関係各課	42 相談窓口の周知 43 複合的に困難を抱える人への支援 44 相談体制の整備	38	
			生活文化課	42 相談窓口の周知	39	
			関係各課	45 被害者や子どもの安全確保 46 情報管理の徹底	40	
	3 被害者の安全確保のための体制整備		関係各課	47 自立のための支援体制の整備	41	
	4 自立のための支援体制の整備		関係各課	48 関係機関との連携強化 49 庁内の相談・支援体制の整備と資質向上	42	
			生活文化課	49 庁内の相談・支援体制の整備と資質向上	43	
			関係各課	50 メディア・リテラシーの育成 51 暴力の未然防止のための啓発や情報提供	44	
	3 女性や子どもに対するあらゆる暴力の予防と根絶		1 性暴力や児童虐待、ストーカー被害の根絶に向けた防止等の啓発	生活文化課	50 メディア・リテラシーの育成 51 暴力の未然防止のための啓発や情報提供	44
				指導室	50 メディア・リテラシーの育成	45
	4 ハラスメント等の防止対策の推進		1 ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供	産業政策課	52 ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供	46
				生活文化課	52 ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供	47
	5 性を理解し、自他を尊重するための教育の実施		1 性別による役割分担意識解消のための啓発	生活文化課	53 ジェンダー平等を推進するための啓発	48
			2 発達段階に応じた適切な性教育の実施	指導室	再 31 発達段階に応じた適切な性教育の推進(再掲)	49
		3 HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実	指導室	再 32 HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実(再掲)	50	
	6 困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援	1 ひとり親家庭への支援	生活文化課	54 女性の人権を守る相談体制及び各種相談事業の充実	51	
			児童青少年課	55 相談体制及び各種相談事業の充実	52	
			関係各課	55 相談体制及び各種相談事業の充実	53	
		2 若年者、高齢者、障害者、外国人等、困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援	指導室	58 子ども、若者の自立に向けた力を高める取り組み	54	
			生活文化課	59 若年層を対象とした啓発	55	
			福祉総務課	56 相談体制及び各種相談事業の充実 57 自立した生活を送るための就労支援の推進	56	
			障害福祉課	60 障害者に対する就労自立支援	57	
			防災防犯課	61 防災活動への男女共同参画の推進	58	
	7 男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり	1 防災分野における男女共同参画の啓発	生活文化課	61 防災活動への男女共同参画の推進	59	
			防災防犯課	62 防災分野の意思決定への女性の参画拡大	60	

目標	施策	取組の方向	担当課	事業	評価 通番		
V 男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備	1 男女共同参画社会に対する理解促進	1 男女共同参画の正しい理解の促進	生活文化課	63 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実 64 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実 再 53 ジェンダー平等を推進するための啓発(再掲)	61		
			秘書広報課	63 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実	62		
			図書館	65 男女共同参画に関する資料の提供	63		
	2 男女共同参画に関する調査・研究、情報の収集・提供	1 男女共同参画に関する法令等や男女共同参画実現に向けた各種制度等の情報収集と提供	生活文化課	66 関係法令や各種制度等の周知	64		
			3 男女共同参画への意識を育む教育の実施	1 学校、地域、家庭における男女共同参画意識を育む教育	子育て支援課	69 教育及び保育等に携わる者への男女平等に関する啓発、研修の充実 70 保育実施上の配慮	65
	児童青少年課	69 教育及び保育等に携わる者への男女平等に関する啓発、研修の充実			66		
	指導室	67 男女混合名簿の使用 68 家庭と一体となった男女平等教育をすすめるための情報提供 69 教育及び保育等に携わる者への男女平等に関する啓発、研修の充実 72 キャリア教育の充実 73 女性教員に対する管理職試験への受験奨励			67		
	生活文化課	再 59 若年層を対象とした啓発			68		
	生涯学習課	71 学習機会や情報の提供			69		
	VI 推進体制の整備・強化	1 男女平等推進センターの機能強化			1 情報発信の充実(SNS等の活用、情報誌の充実)	生活文化課	74 男女平等推進センター機能の充実 75 学習機会の提供の充実 76 男女共同参画に関する情報収集及び提供の充実
2 他機関との連携強化						生活文化課	77 関係機関、各種団体との連携の推進及びネットワークづくりの促進
2 庁内推進体制の強化		1 男女共同参画視点を持った組織づくり	職員課	78 男女共同参画への理解促進に向けた職員研修の充実 再 21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進(再掲) 79 男女の配置均等化の推進 再 22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施(再掲)	72		
			生活文化課	78 男女共同参画への理解促進に向けた職員研修の充実 再 21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進(再掲) 再 22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施(再掲)	73		
			企画調整課	80 プロジェクトチーム等におけるポジティブ・アクションの推進	74		
			2 庁内推進協議会の充実	生活文化課	81 男女共同参画推進協議会の充実	75	
		3 庁内実施主体間の連携強化		企画調整課	82 男女共同参画推進のための総合調整機能の強化	76	
				財政課	83 ジェンダー予算に関する調査研究	77	
				生活文化課	82 男女共同参画推進のための総合調整機能の強化 83 ジェンダー予算に関する調査研究	78	
		4 市民参加による推進体制の充実	生活文化課	84 男女平等推進市民会議の充実	79		
3 関係機関・団体との連携強化	1 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化	生活文化課	85 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化	80			
4 男女平等推進プランの実効性の確保	1 確実なPDCAサイクルの実施	生活文化課	86 進捗状況の年次報告の実施	81			
	2 男女別等統計の充実	生活文化課	87 プランの実効性の向上	82			
	3 男女共同参画推進条例(仮称)の研究	生活文化課	88 男女共同参画推進条例(仮称)の研究	83			



## II 評価と実績報告

### 2 評価一覧



目標	施策	取組の方向	担当課	評価 通番	評価						頁			
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	報告	評価		
I 働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	1	ワーク・ライフ・バランスへの理解促進	1	ワーク・ライフ・バランスの正しい理解促進に向けた啓発、情報提供	生活文化課	1	A	A	A	A			29	86
	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進	1	市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供	産業政策課	2	B	B	B	B			30	87
					生活文化課	3	A	A	A	B			30	87
	2	公共調達時におけるインセンティブ付与の検討	生活文化課	4	B	A	B	B			31	88		
	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進	1	固定的な性別役割分担意識解消への啓発	生活文化課	5	A	A	A	A			32	89
					生涯学習課	6	B	B	B	A			32	89
			2	男性やシニアが参加しやすい環境作り	生活文化課	7	B	B	A	A			33	90
					介護福祉課	8	B	B	A	A			33	90
					子育て支援課	9	B	B	A	B			34	91
					生涯学習課	10	B	A	B	B			34	91
	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備	1	多様なニーズに対応する保育、教育、子育て環境の整備	子育て支援課	11	B	B	B	B			35	92
					児童青少年課	12	A	A	A	B			35	92
					健康課	13	B	B	A	A			36	93
					障害福祉課	14	B	B	A	B			36	93
			2	介護支援の充実	介護福祉課	15	A	B	B	A			37	94

目標	施策	取組の方向	担当課	評価 通番	評価						頁		
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	報告	評価	
Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進	1 女性活躍推進にかかる意識啓発や情報提供	産業政策課	16	B	B	B	B			38	95	
			生活文化課	17	B	A	A	A			38	95	
		2 取組事業所への支援	産業政策課	18	B	B	B	B			39	96	
			生活文化課	19	A	A	A	B			39	96	
		3 市役所における女性管理・監督職への登用促進	職員課	20	B	B	B	B			40	97	
			生活文化課	21	A	A	A	A			40	97	
	2 女性の就労継続とキャリア形成への支援	1 就労継続とキャリア形成に向けた意識啓発	生活文化課	22	A	A	A	A			41	98	
	3 女性の再就労への支援	1 再就職に関する講座、啓発、情報提供	産業政策課	23	A	B	A	A			42	99	
			生活文化課	24	B	A	B	A			42	99	
	4 女性の起業と事業継続への支援	1 起業と事業継続に関する講座、情報提供、関係機関との連携による支援とネットワークづくりへの支援	産業政策課	25	B	B	B	B			43	100	
			生活文化課	26	A	B	A	B			43	100	
			図書館	27	B	B	B	C			44	101	
	参画の推進 Ⅲ おのける あ 推 進 男 女 の 共 同 分 野	1 市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進	1 ポジティブ・アクションへの理解促進	生活文化課	28	B	C	C	C			45	102
			2 男女が参加しやすい環境整備	生活文化課	29	A	A	A	B			46	103
2 地域におけるリーダーとなる女性の育成		1 リーダー育成のための講座開催や機会の提供	生活文化課	30	A	A	A	A			47	104	

目標	施策	取組の方向	担当課	評価 通番	評価						頁	
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	報告	評価
IV 安心・安全な暮らしの実現	1 生涯にわたる男女の健康の支援	1 ライフステージに合わせた健康支援	健康課	31	B	B	B	B			48	105
			生活文化課	32	B	B	A	A			48	105
			介護福祉課	33	A	B	A	A			49	106
			指導室	34	A	A	A	A			49	106
		2 妊娠、出産期における女性への健康支援	健康課	35	A	A	B	B			50	107
	2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援	1 暴力の未然防止や早期発見のための取組強化	生活文化課	36	B	A	A	A			51	108
			指導室	37	A	B	B	B			51	108
		2 安心して相談できる体制づくり	関係各課	38	A	A	A	A			52	109
			生活文化課	39	A	A	A	A			52	109
		3 被害者の安全確保のための体制整備	関係各課	40	A	A	A	A			53	110
		4 自立のための支援体制の整備	関係各課	41	B	A	A	A			54	111
		5 関係機関との連携強化及び庁内体制の整備	関係各課	42	A	A	B	A			55	112
	生活文化課		43	A	A	B	A			55	112	
3 女性や子どもに対するあらゆる暴力の予防と根絶	1 性暴力や児童虐待、ストーカー被害の根絶に向けた防止等の啓発	生活文化課	44	A	A	A	A			56	113	
		指導室	45	A	B	A	A			56	113	

目標	施策	取組の方向	担当課	評価 通番	評価						頁		
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	報告	評価	
IV 安心・安全な暮らしの実現	4 ハラスメント等の防止対策の推進	1 ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供	産業政策課	46	B	A	B	B			57	114	
			生活文化課	47	B	B	B	B			57	114	
	5 性を理解し、自他を尊重するための教育の実施	1 性別による役割分担意識解消のための啓発	生活文化課	48	A	A	A	A			58	115	
			2 発達段階に応じた適切な性教育の実施	指導室	49	A	A	A	B			59	116
			3 HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実	指導室	50	A	A	A	A			60	117
	6 困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援	1 ひとり親家庭への支援	生活文化課	51	A	A	A	A			61	118	
			児童青少年課	52	A	A	A	A			61	118	
			関係各課	53	A	A	A	A			62	119	
		2 若年者、高齢者、障害者、外国人等、困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援	指導室	54	A	A	A	A			63	120	
			生活文化課	55	A	A	A	A			63	120	
			福祉総務課	56	B	A	B	B			64	121	
			障害福祉課	57	B	B	B	B			64	121	
	7 男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり	1 防災分野における男女共同参画の啓発	防災防犯課	58	A	A	B	B			65	122	
			生活文化課	59	A	A	A	B			65	122	
		2 防災分野における女性活躍の推進	防災防犯課	60	B	C	B	C			66	123	

目標	施策	取組の方向	担当課	評価 通番	評価						頁	
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	報告	評価
整 備 V 男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の	1 男女共同参画社会に対する理解促進	1 男女共同参画の正しい理解の促進	生活文化課	61	A	A	A	A			67	124
			秘書広報課	62	B	B	B	B			67	124
			図書館	63	B	B	B	B			68	125
	2 男女共同参画に関する調査・研究、情報の収集・提供	1 男女共同参画に関する法令等や男女共同参画実現に向けた各種制度等の情報収集と提供	生活文化課	64	A	A	A	A			69	126
	3 男女共同参画への意識を育む教育の実施	1 学校、地域、家庭における男女共同参画意識を育む教育	子育て支援課	65	B	B	B	B			70	127
			児童青少年課	66	B	B	B	C			70	127
			指導室	67	A	B	B	B			71	128
			生活文化課	68	A	A	A	A			71	128
			生涯学習課	69	B	A	A	B			71	128

目標	施策	取組の方向	担当課	評価 通番	評価						頁	
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	報告	評価
VI 推進体制の整備・強化	1 男女平等推進センターの機能強化	1 情報発信の充実(SNS等の活用、情報誌の充実)	生活文化課	70	A	A	A	A			72	129
		2 他機関との連携強化	生活文化課	71	A	A	A	A			73	130
	2 庁内推進体制の強化	1 男女共同参画視点を持った組織づくり	職員課	72	B	B	A	B			74	131
			生活文化課	73	A	A	A	A			74	131
			企画調整課	74	—	—	A	B			75	132
		2 庁内推進協議会の充実	生活文化課	75	A	A	A	B			76	133
		3 庁内実施主体間の連携強化	企画調整課	76	B	B	B	B			77	134
			財政課	77	C	C	B	B			77	134
			生活文化課	78	B	B	A	A			78	135
		4 市民参加による推進体制の充実	生活文化課	79	A	A	A	A			79	136
	3 関係機関・団体との連携強化	1 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化	生活文化課	80	A	A	A	A			80	137
	4 男女平等推進プランの実効性の確保	1 確実なPDCAサイクルの実施	生活文化課	81	A	A	A	A			81	138
		2 男女別等統計の充実	生活文化課	82	C	B	B	B			82	139
		3 男女共同参画推進条例(仮称)の研究	生活文化課	83	C	C	B	C			83	140

## II 評価と実績報告

### 3 報告・評価（個票）



# ① 報告書・評価書の見方

## 【報告書の見方】

プランの内容

通し番号	2,3	通し番号(又は通番)は、評価単位(取組の方向別、担当課別)ごとに、プランの順に沿って連番で付番している番号です。報告と評価で、同じ番号を用いています。	【令和2年度事業】
目標	1 働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	3 関係法令、各種制度の周知と啓発
施策	2 市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進		4 労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決
取組の方向	1 市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供		5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知
(説明)	事業者に対し、育児・介護休業法などの男女の働き方に関する法制度や各種ハラスメント防止の周知、働きやすい職場環境の整備の重要性についての啓発やワーク・ライフ・バランスの推進の好事例の紹介など、さまざまな機会を通じて情報提供を行います。		6 ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供
		担当課	産業政策課 生活文化課

上記の事業に取り組む課が記載されています。ここに記載した課の分の報告が、あとに続きます。

各担当課の報告

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標									
通し番号	担当課	取組状況	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標						
2	産業政策課	<p>担当する事業に対して、担当課が令和2年度にどのように取り組んだかを記載しています。男女共同参画推進の視点から報告しています。</p>	2	産業政策課	<p>事業に取り組む中で把握した、男女共同参画施策として進めるうえでの課題を記載しています。</p>	<p>左記の課題への対応策を含めながら、令和3年度にどのように取り組むかを記載しています。</p>						
	3 4 6			産業政策課	<p>「取組の方向」への達成度が分かる数値目標を設定し、記入しています。</p>	数値の指標	29	30	1	2	3	4
				文化課		数値の指標	29	30	1	2	3	4
						数値の指標	29	30	1	2	3	4

先に記載した取組状況について、担当課がA～Dの4段階で自己評価したものと、評価理由(できた点、できなかつた点)を記載しています。  
 A=順調、目標達成  
 B=概ね順調だが、さらなる改善が必要  
 C=成果なく大幅改善が必要  
 D=ほとんど取り組んでいない

報告する担当課が担当する事業の番号です。上段のプランの内容にある事業欄に対応しています。

## 【評価書の見方】

通し番号	2,3	【令和2年度事業】		
目標	1	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進		
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進		
取組の方向	1	市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供		
事業	3	関係法令、各種制度の周知と啓発		
	4	労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決		
	5	市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知		
	6	ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供		
担当課	産業政策課	生活文化課		
「取組の方向」全体についての講評・提言				
2課以上の担当課がある「取組の方向」については、「取組の方向」全体について、取組状況に対する講評や、今後に向けた提言を記載しています。				
課別評価				
通し番号	担当課	事業番号	講評・提言	年度評価
2	産業政策課	3 4 6	右記のように評価した理由や、取組向上に向けた提案、提言等を記載しています。	項目評価
				評価
				取組状況
				課題把握
				次年度目標
3	生活文化課	3 4 5 6		評価
				取組状況
				課題把握
				次年度目標

### 通し番号 及び プランの内容

※担当課の報告書に対応しています。

報告年度の取組により、「取組の方向」が目指す内容へと進展したかどうかをA～Dの4段階で評価しています。

- A 進んだ
- B 概ね進んだ
- C あまりすすんでいない
- D 進んでいない

担当課が報告した「取組状況」に対する評価  
(男女共同参画の視点を踏まえ取り組み、報告されているか)

担当課が報告した「今後の課題」に対する評価  
(課題をよく把握できているかどうか)

担当課が報告した「今後の課題」に対する評価  
(課題に対する次年度の対応が具体的に示されているかどうか)

※ 上記3項目は次のA～Dの4段階で評価しています。

- A 評価できる
- B 概ね評価できる
- C あまり評価できない
- D 評価できない

② 報告書 一担当課による報告一



通し番号	1
------	---

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	1 ワーク・ライフ・バランスに関する啓発		
施策	1	ワーク・ライフ・バランスへの理解促進		2 両立支援制度や育児休業・育児時間及び介護・看護休業制度の周知と取得に向けた啓発		
取組の方向	1	ワーク・ライフ・バランスの正しい理解促進に向けた啓発、情報提供				
(説明)	自らの希望するバランスで仕事と生活の調和が図れるよう、多様で柔軟な働き方についての情報提供を行うなど、ワーク・ライフ・バランスの啓発を進めます。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標													
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標									
生活文化課	1	2	<p>・男女共同参画週間キャッチフレーズ「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワーク・ライフ・バランス」を踏まえ、6月23日～29日に市役所1階でパネル展示、男女平等推進センターで関連図書の展示を実施した。</p> <p>・男女共同参画週間に合わせ、広報や市ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSでも情報発信を行った。</p> <p>・職員課との共催事業「男女共同参画・ワークライフバランス研修」において、全管理職、係長職以下の職員それぞれを対象に、男性の育児休業取得促進についての研修を実施した。</p> <p>・東京都労働相談情報センターと共催で、「育休パパ・ママの職場復帰セミナー」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、中止となった。</p>	<p>評価理由 男女共同参画週間のパネル・図書展示、職員課と共催で職員向け研修を実施し、広くワーク・ライフ・バランスに関する啓発を行うことができた。</p>	A	1	生活文化課	<p>労働者に向けた周知・啓発については、男女平等推進センター(生活文化課)単独で行うことは難しいため、産業政策課や専門機関との連携が欠かせない。</p>	東京都労働相談情報センター・東京しごとセンター多摩などの専門機関や産業政策課、職員課などの他課との連携を維持しながら、男女平等推進センター(生活文化課)としても男女共同参画情報誌での情報提供や、講座の企画を引き続き行っていきたい。また、広報紙だけでなく、市ホームページやSNSも積極的に活用していきたい。								
									数値の指標								
											29	30	1	2	3	4	
									【参考】(施策成果アンケート)「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を「内容もよく知っている」と回答した人の割合(%)【参考値】		目標値	—	—	—	—		
											実績値	18.5	20.9	23.9	未実施		
											目標値						
											実績値						
											目標値						
											実績値						
											目標値						
		実績値															

通し番号	2,3
------	-----

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	3 関係法令、各種制度の周知と啓発		
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進		4 労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決		
取組の方向	1	市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供		5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知		
(説明)	事業者に対し、育児・介護休業法などの男女の働き方に関する法制度や各種ハラスメント防止の周知、働きやすい職場環境の整備の重要性についての啓発やワーク・ライフ・バランスの推進の好事例の紹介など、さまざまな機会を通じて情報提供を行います。			6 ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供		
			担当課	産業政策課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
2	産業政策課	3 4 6	・国や東京都が実施する事業についての周知のほか、労働環境や法律・制度、ワーク・ライフ・バランス等のチラシやリーフレットを窓口にて配置した。 ・ハローワークや東京しごとセンター多摩と共同で行う就職面接会などの多くの事業者が集まる機会に、法制度や働き方等に係る様々な資料を配布し、情報提供を行った。	評価 B  評価理由 限られた機会を、有効に活用したが、新型コロナウイルスの影響により情報提供回数が減少したため。	2	産業政策課	多くの事業者が集まるその他の機会を活用し、更なる情報提供に努めること。	今年度と同様に、チラシによる周知と共に様々な機関と連携し、情報提供に努める。							
								数値の指標		29	30	1	2	3	4
								情報提供回数	目標値	3	3	3	3		
									実績値	2	4	2	1		
								情報提供企業	目標値	25	30	15	15		
									実績値	15	41	15	8		
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							
3	生活文化課	3 4 5 6	・使用者、企業の人事・労務管理担当者向けに、東京都労働相談情報センターと共催で「令和2年度男女雇用平等セミナーⅠ企業に求められるLGBTへの理解と対応～誰もが働きやすい環境づくりのために～」を実施した。 ・東京都総務局人権部主催の「性自認及び性的指向に関する企業研修LGBTも働きやすい職場づくり」のチラシを男女平等推進センターに配架及びSNSで情報発信するとともに、産業政策課にも情報提供した。 ・厚生労働省、東京都産業労働局、生活文化局等の働き方改革、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発パンフレットや取り組み事例集を情報コーナーに配架した。	評価 B  評価理由 東京都労働相談情報センターとの共催事業の開催や東京都の研修の周知等は行えたものの、事業者に対する情報提供、啓発が不十分であった。	3	生活文化課	事業所に対する取り組みについては、労働相談情報センター等の専門機関との連携が欠かせない。また、事業所向けの情報収集や市内事業所に向けた情報提供や講座の開催については、産業政策課とも連携しながら行う必要がある。	引き続き専門機関と連携して取り組むとともに、産業政策課とも積極的に情報交換をしながら、市内事業所に向けた情報提供と啓発を行う。							
								数値の指標		29	30	1	2	3	4
								労働関連講座開催数	目標値	4	4	4	4	4	4
									実績値	4	4	4	2		
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							

通し番号	4
------	---

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討		
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進				
取組の方向	2	公共調達時におけるインセンティブ付与の検討				
(説明)	市内のワーク・ライフ・バランスを推し進めるため、公共調達時における男女共同参画への取組みについて一定の加点評価を与える制度などを検討します。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題			次年度の方向性・目標					
担当課	事業番号			担当課									
生活文化課	4	・公共調達時におけるインセンティブ付与について情報収集を行ったが、契約担当部署に情報提供・要請を行うまでの十分な検討ができなかった。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、商工会や市内事業所に対しての取組みを行うことができなかった。	評価  C  評価理由 公共調達時のインセンティブ付与に向けての情報収集は行ったものの、担当部署に対して情報提供・要請を行うまでには至らなかった。	4	市の公共調達の方法が加点評価付与制度にはなじまず、本事業の推進が困難である。			情報誌「ときめき」やSNS等で、ワーク・ライフ・バランス推進に積極的に取り組む事業所に関する情報発信をしていく。また、市内の取組み事業所に関する情報収集を行う。 引き続き、公共調達におけるインセンティブ付与の実施状況について研究していく。					
					数値の指標			29	30	1	2	3	4
					ワーク・ライフ・バランス推進事業所や国の認定制度に関する情報発信回数	目標値	未設定	1	1	2	2	2	2
						実績値	0	0	0	0			
						目標値							
						実績値							
						目標値							
						実績値							
						目標値							
						実績値							

通し番号	5,6
------	-----

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	8 男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供		
施策	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進				
取組の方向	1	固定的な性別役割分担意識解消への啓発				
(説明)	男性が男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについての認識を深め、働き方や暮らし方について考えるきっかけとなるよう、さまざまな機会を用いて啓発を行います。			担当課	生活文化課	生涯学習課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標																																																																																							
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題	次年度の方向性・目標																																																																																				
担当課	事業番号			担当課																																																																																						
生活文化課	5	<p>・令和2年度男女共同参画週間キャッチフレーズ「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワクワク・ライフ・バランス」を踏まえ、6月23日～29日に市役所1階でパネル展示、男女平等推進センターで関連図書の展示を実施した。</p> <p>・男女共同参画週間に合わせ、広報や市ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSでも情報発信を行った。</p> <p>・男女平等推進センター主催「東久留米市男女共同参画都市宣言20周年記念事業『誰もが輝く社会をめざして～男女共同参画から多様性を考える～』」、ひばりが丘団地自治会出前講座「知ろう防災 楽しく学ぼう」において、男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供を行った。また、「氷川台自治会ラジオ回覧板」に出演し、その中でも男女共同参画に関する情報提供を行った。</p> <p>・職員課との共催事業「男女共同参画・ワークライフバランス研修」において、全管理職、係長職以下の職員それぞれを対象に、男性の育児休業取得促進についての研修を実施した。</p> <p>・東京都労働相談情報センターと共催で、「育休パパ・ママの職場復帰セミナー」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、中止となった。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 講座や研修、展示、ラジオ、SNS等、あらゆる機会を通じて、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、固定的な性別役割分担について考える機会を提供することができた。</p>	5	<p>いかに男性に男女共同参画事業に参加してもらうかが課題である。</p> <p>また、男女平等やジェンダーという言葉については、イメージが先行してしまいがちであり、正しい理解に結び付けていくための工夫が必要である。</p>	<p>引き続き、あらゆる機会を通じて男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、固定的な性別役割分担について考える機会を提供していく。</p> <p>また、男性が講座に参加しやすい工夫や男女共同参画について情報を得やすい手段などについて検討・実施していく。</p>																																																																																				
		8			生活文化課	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な対象を男性とした講座の開催数</td> <td>目標値</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【参考】(施策成果アンケート)性別だけで役割や向き不向きを決める考え方に反対またはどちらかという反対と考える人の割合(%)</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>59.6</td> <td>60.9</td> <td>60.9</td> <td>未実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記数値(65歳以上の回答)(%)</td> <td>目標値</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>56</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>49.9</td> <td>53.6</td> <td>37.7</td> <td>未実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記数値(男性の回答)(%)</td> <td>目標値</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>60</td> <td>64</td> <td>67</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>54.2</td> <td>56.3</td> <td>40.8</td> <td>未実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	主な対象を男性とした講座の開催数	目標値	未設定	未設定	1	1	1	1		実績値	1	0	1	0			【参考】(施策成果アンケート)性別だけで役割や向き不向きを決める考え方に反対またはどちらかという反対と考える人の割合(%)	目標値	—	—	—	—	—	—	実績値	59.6	60.9	60.9	未実施			上記数値(65歳以上の回答)(%)	目標値	未設定	未設定	56	60	63	66	実績値	49.9	53.6	37.7	未実施			上記数値(男性の回答)(%)	目標値	未設定	未設定	60	64	67	70	実績値	54.2	56.3	40.8	未実施			目標値								実績値						
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																																			
主な対象を男性とした講座の開催数	目標値	未設定	未設定	1	1	1	1																																																																																			
	実績値	1	0	1	0																																																																																					
【参考】(施策成果アンケート)性別だけで役割や向き不向きを決める考え方に反対またはどちらかという反対と考える人の割合(%)	目標値	—	—	—	—	—	—																																																																																			
	実績値	59.6	60.9	60.9	未実施																																																																																					
上記数値(65歳以上の回答)(%)	目標値	未設定	未設定	56	60	63	66																																																																																			
	実績値	49.9	53.6	37.7	未実施																																																																																					
上記数値(男性の回答)(%)	目標値	未設定	未設定	60	64	67	70																																																																																			
	実績値	54.2	56.3	40.8	未実施																																																																																					
目標値																																																																																										
実績値																																																																																										
生涯学習課	6	<p>・NPO法人文化協会の家庭教育講座を開催した。</p> <p>(1) 保育付き家庭教育講座「ケアー・ヨーガ(初級)」</p> <p>(2) 保育付き家庭教育講座「しつけ ～ほめることから始めよう～」</p> <p>(3) 保育付き家庭教育講座「英語で輝く」</p> <p>・生涯学習センター指定管理者事業の親子参加型講座を開催した。</p> <p>(1) ブランクトンの世界をのぞいてみよう！</p> <p>(2) 夏の草花で作ろう！押し花バッチ</p> <p>(3) 三原色の粘土でクリスマスケーキをつくろう♪</p> <p>(4) 親子で冬の星空を楽しもう！</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 「保育付き家庭教育講座」及び「親子参加型講座」は、父親の育児への関わりを促進するという観点により開催され、どの講座も知識を深めたり、親子で詳しく学べたり父親と子供が楽しく学べる機会を提供することができたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点より参加者自体が減っているため男性参加者数も前年度と比較して減少している。</p>	6	<p>男女共同参画の視点を正しく理解し取り入れていくために、指定管理者も含め、生活文化課、男女平等推進センターと連携を深めていくことが必要である。</p>	<p>親子参加型講座においては、生活文化課や男女平等推進センターと連携のもと、父親の参加を意識した講座づくりをしていきたい。</p>																																																																																				
		8			生涯学習課	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育講座へ男性参加者数</td> <td>目標値</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生涯学習センター指定管理者事業(親子向け事業)男性参加率(目標50%)</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>21.5</td> <td>34</td> <td>20</td> <td>32</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	家庭教育講座へ男性参加者数	目標値	3	5	7	8	9	10		実績値	1	5	4	3			生涯学習センター指定管理者事業(親子向け事業)男性参加率(目標50%)	目標値	—	50	50	50	50	50	実績値	21.5	34	20	32			目標値								実績値								目標値								実績値																				
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																																			
家庭教育講座へ男性参加者数	目標値	3	5	7	8	9	10																																																																																			
	実績値	1	5	4	3																																																																																					
生涯学習センター指定管理者事業(親子向け事業)男性参加率(目標50%)	目標値	—	50	50	50	50	50																																																																																			
	実績値	21.5	34	20	32																																																																																					
目標値																																																																																										
実績値																																																																																										
目標値																																																																																										
実績値																																																																																										

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	9 シニアの経験と知識を活かす活動の推進		
施策	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進		10 男性の家事・育児・介護等への参加促進		
取組の方向	2	男性やシニアが参加しやすい環境作り				
(説明)	男性やシニアが育児や介護、地域活動に参画しやすい環境づくりを進めます。					
			担当課	生活文化課 生涯学習課	介護福祉課	子育て支援課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
7	生活文化課	10	<p>・男女共同参画週間キャッチフレーズが「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワーク・ライフ・バランス」であったため、男女共同参画週間展示の中で、内閣府のポスター「男性の暮らし方・意識が変われば日本も変わる」の掲示や男性の家事・育児・介護等に関連した統計や図書の紹介等を行った。</p> <p>・男女平等推進センター主催「東久留米市男女共同参画都市宣言20周年記念事業『誰もが輝く社会をめざして～男女共同参画から多様性を考える～』を開催し、参加者20名中、男性6名の参加があった。</p> <p>・ひばりが丘団地自治会出前講座「知ろう防災 楽しく学ぼう」を開催し、参加者33名中、男性9名の参加があった。</p> <p>・市ホームページに男女共同参画に関する図書リストのコーナーを作成し、「男性の家事・育児等参画促進に関する図書リスト」を掲載するとともにSNSでも周知した。</p> <p>・職員課との共催事業「男女共同参画・ワークライフバランス研修」において、全管理職、係長職以下の職員それぞれを対象に、男性の育児休業取得促進についての研修を実施した。</p> <p>・東京都労働相談情報センターと共催で、「育休パパ・ママの職場復帰セミナー」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となった。</p> <p>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が女性に与える影響に対応するため、急速講座の内容を予定していたものと変更して行ったこともあり、男性の家事・育児・介護等への参加促進に関する講座を行えなかった。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 東久留米市男女共同参画都市宣言20周年記念事業や自治会への出前講座、自治会のラジオ番組出演を通して、男性やシニアに向けた啓発・情報発信ができた。また、市民の先頭に立って男女共同参画社会を体現する立場である市職員向けに、男性の育児休業取得促進についての研修を実施できた。</p>	7	生活文化課	<p>前年度に目標として掲げた子ども家庭支援センターとの協議は実現できたものの、講座の開催までには至らなかった。引き続き、男性、特に現役世代の父親の参加を得られるよう、講座開催時期などを工夫する。</p>	<p>男性、特に現役世代の父親が講座に参加しやすい工夫や男女共同参画について情報を得やすい手段などについて検討・実施していく。</p>							
					数値の指標				29	30	1	2	3	4	
			男性の育児、介護、地域活動への参画促進に係る講座の開催数	目標値	2	1	1	1	1	1	1				
			上記講座への参加者数【参考値】	目標値	—	—	—	—	—	—	—				
			男性の育児、介護、地域活動への参画促進に係る情報発信の回数	実績値	6	—	21	—	—	—	—				
				目標値	未設定	1	2	2	2	2	2				
				実績値	未設定	1	2	2	2	2	2				
				目標値											
				実績値											
8	介護福祉課	9	<p>・介護予防事業の卒業生や地域包括支援センターに相談のあった市民に対して、生活支援体制整備事業を活用し社会資源や通いの場への紹介を行った。また、高齢者ご本人の個性を考慮し、経験や知識を活かせる活動を紹介できるよう工夫している。</p> <p>・高齢者が地域活動へ参加でき生きがいをもって生活できるよう継続した取り組みを行っている。</p> <p>・シニアクラブ連合会をはじめ、地域の関係団体へ「社会参加」の大切さについて、普及・啓発を行い新しいメンバーの受入に理解を得られるようにしている。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 地域活動へ参加することで、介護予防につながり一定の効果を得ている。</p>	8	介護福祉課	<p>男性の場合、定年後に初めて地域とのつながりを持つことも多く、地域活動への参加に躊躇されることや自主グループ化が難しい場合がある。</p>	<p>男女問わず「社会参加」は介護予防にもつながるため重要である。そのため、講演会や介護予防事業を通じて、高齢者に早期から地域活動への参加等を促すと同時に、「社会参加」の大切さについて、普及・啓発していく。</p>							
					数値の指標				29	30	1	2	3	4	
				目標値											
				実績値											
				目標値											
				実績値											
				目標値											
				実績値											
				目標値											
				実績値											

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	担当課								
子育て支援課	9	<p>・夏まつりや運動会などの保育園における各種行事はコロナ禍において多くが開催中止となったが、子どもたちの楽しみが減ってしまったことのフォローを園だけでなく、家庭でもできる限り行っていく必要があることを各家庭にお願いした。</p> <p>・保育参観(保育参加)期間を設けて父親の参加を積極的に促し、保育園での保育の様子を通じて、子どもへの接し方や育児に関わることの楽しさを知る契機とした。</p> <p>・保護者会や各種行事にあたっては、開催日時を夜間や土曜日に設定することにより、就労している父親でも参加しやすいように工夫している。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 コロナ禍において、保育園の行事自体が中止となり、参加回数が大幅に減少してしまった。しかし、限られた中で、父親の参加を促すよう務め、父親同士の交流も深まり、育児への参加意欲も高まっている。</p>	9	<p>新たに入园した児童の保護者に対しては、前年度の様子を説明し、あらためて積極的な育児への参加を促し、これまでの取り組みを継続的に実施していく必要がある。</p>	引き続き各種行事への参加を促すことに務め、各保育園ごとに創意・工夫を凝らしながら、男性の育児への参加促進を図る。							
	10			数値の指標		29	30	1	2	3	4		
				目標値									
						実績値							
				目標値									
						実績値							
				目標値									
						実績値							
				目標値									
	実績値												
生涯学習課	10	<p>・NPO法人文化協会「市民大学 中期コース」を開催した。</p> <p>・「防災まちづくり学校」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点により中止とした。</p> <p>・NPO法人文化協会の家庭教育講座を開催した。</p> <p>(1) 保育付き家庭教育講座「ケアー・ヨーガ(初級)」</p> <p>(2) 保育付き家庭教育講座「しつけ ～ほめることから始めよう～」</p> <p>(3) 保育付き家庭教育講座「英語で輝く」</p> <p>・生涯学習センター指定管理者事業の親子参加型講座を開催した。</p> <p>(1) ブランクトンの世界をのぞいてみよう！</p> <p>(2) 夏の草花で作ろう！押し花バッチ</p> <p>(3) 三原色の粘土でクリスマスケーキをつくろう♪</p> <p>(4) 親子で冬の星空を楽しもう！</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 ・市民大学中期コースについては、男性の参加率は昨年度と同様の比率であり、更に上げていく余地がある。 ・家庭教育講座については父親の育児への関わりを促進するという観点により開催され、どの講座も知識を深めたり、親子で詳しく学べたり父親と子供が楽しく学べる機会を提供することができたが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点より参加者自体が減っているため男性参加者数も減少した。 ・生涯学習センター指定管理者事業については、父親の参加にうまくつなげられたものの、よりたくさんの父親の参加を呼びかけ、参加していただく余地がある。</p>	10	<p>男女共同参画への理解を深めると同時に、男女平等推進プランから離れた内容にならないように事業を組み立てていく必要がある。</p>	生活文化課・男女平等推進センターからの情報提供を受けるなどして、男女共同参画の視点を取り入れる。市民大学については、引き続き運営委員会において講座のテーマ選考、周知の方法を検討し男性の参加率の向上を目指す。							
	10			数値の指標		29	30	1	2	3	4		
				家庭教育講座へ男性参加者数		目標値	3	5	7	8	9	10	
						実績値	1	5	4	3			
				生涯学習センター指定管理者事業(親子向け事業)男性参加率(目標50%)		目標値	-	50	50	50	50	50	
						実績値	21.5	34	20	32			
				市民大学男性参加率(目標:50%)		目標値	25	30	35	50	50	50	
						実績値	21.5	34	34	33.3			
				防災まちづくり学校男性参加率(目標:50%)		目標値	-	-	50	50			
	実績値					-	-	55.5	中止				
目標値													
実績値													

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	11 子育て相談事業のネットワーク化の推進		
施策	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備		12 保育・教育基盤の確保		
取組の方向	1	多様なニーズに対応する保育、教育、子育て環境の整備		13 多様な保育・教育の提供		
(説明)	子育てと仕事の両立を支援するために、待機児童の解消をはじめ、多様なニーズに対応した子育て支援サービスの充実を図ります。			14 学童保育及び児童館の充実		
担当課			子育て支援課 障害福祉課	児童青少年課	健康課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標												
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標								
11	子育て支援課	12 13	・就労のあり方の多様化に伴う多様な子育てニーズに対応し、すべての子どもに乳幼児期の保育・教育を保障するため待機児童対策を進めるとともに、保育所、幼稚園など保育・教育基盤の安定的な確保に取り組んでいる。令和3年4月1日時点の待機児童数は15名であり、令和2年4月1日時点の待機児童数は24名から9名の減少となっている。	評価 B  評価理由 東久留米市子ども・子育て支援事業計画に基づき量の見込みに応じた確保方策に取り組む、待機児童数は減少している。	11	子育て支援課	仕事と子育ての両立を支援するために、多様なニーズに対応した子育て支援サービスの充実を図る必要がある。引き続き、保育所、幼稚園など保育・教育基盤の安定的な確保に取り組む必要がある。	ニーズ調査による量の見込みに対応した幼児期の教育・保育の提供体制を確保しながら、待機児童の解消に向けて、多様なニーズと保育施設等のマッチングのために、利用者からのヒアリング及びアウトリーチ等を実施し、利用者・保護者に寄り添った支援を行っていく。								
								数値の指標		29	30	1	2	3	4	
								目標値								
								実績値								
								目標値								
								実績値								
								目標値								
								実績値								
								目標値								
								実績値								
								目標値								
								実績値								
12	児童青少年課	11 13 14	・子育て相談事業のネットワーク化の推進については、要保護児童対策地域協議会の調整機関として、保健・医療・福祉・教育機関等の他機関と連携し、地域の子育て相談事業の中核機関としてネットワークの推進を図った。 ・学童保育については、令和2年度も所舎と小学校の特別教室等の運用により、待機児童解消に努めた。 ・児童館は、平成31年度から4児童館全館で指定管理者制度による管理運営が行われている。北部地域の子育て支援機能の充実として、移動児童館、児童の居場所づくり事業、なかよし広場事業を実施し、多様な保育・教育の提供に努めた。	評価 B  評価理由 学童保育については、所舎と小学校の特別教室等の運用により、令和3年3月末時点で待機児童は生じていない。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童館が一時休館となり児童館利用者が減少し、また、移動児童館、児童の居場所づくり事業、なかよし広場事業の参加者も減少した。	12	児童青少年課	子育て相談事業のネットワーク化の推進については、現在の連携体制を継続実施していく。 学童保育については、年度当初は、毎年受け入れ可能児童数を申請児童数が上回り、待機児童が生じている。 北部地域の子育て支援機能の充実に関して、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で事業の全部または一部を中止したため各事業の参加者が減少している。	子育て相談事業のネットワーク化の推進については、要保護児童対策地域協議会に関係機関との連携を密にしておく。 学童保育については、第2期東久留米市子ども・子育て支援事業計画に基づき、学童保育の充実を行う。また、所舎と小学校の特別教室等の運用により、待機児童解消に努める。 北部地域の子育て支援機能の充実として、3事業について事業の周知に努める。								
								数値の指標		29	30	1	2	3	4	
								学童保育所待機児童数(単位:人)(3月末時点)	目標値	0	0	0	0			
									実績値	0	0	0	0			
								児童館利用者数(単位:人)	目標値	150,000	150,000	150,000	150,000			
									実績値	153,080	158,879	148,598	60,618			
								移動児童館参加者数(単位:人)	目標値	360	360	360	360			
									実績値	269	267	206	0			
								児童の居場所づくり事業参加者数(単位:人)	目標値	314	700	700	700			
									実績値	718	476	313	20			
								なかよし広場事業参加者数(単位:人)	目標値	300	340	360	360			
									実績値	336	353	301	126			

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標																																																																		
担当課	事業番号			担当課	通番																																																																				
健康課	13	<p>・乳幼児健康診査事業には両親または父親のみで来所される場合もあり、必要に応じて個別相談等を実施している。その中で、子育て支援サービス等について情報提供したり、関係機関等につながるよう支援している。</p> <p>・また、就労希望の母親に対しては、保育サービス等必要な情報を提供したり、子育て支援課等適切な機関へつないでいる。</p> <p>・子ども家庭支援センター・主任児童委員との連絡会を定期的に開催し、養育困難・虐待傾向等の家庭に対しての支援についての連携を強化している。</p> <p>・わかさ学園との連絡会を定期的に開催し、発達が気になる子どもや家庭への支援についての連携を強化している。保育園・幼稚園・教育相談室・医療機関・保健所等とも支援が必要な家庭等について随時連携をとるよう努めている。庁内関係部署との連携も随時行った。</p> <p>・新生児訪問・乳幼児健診等をきっかけに、生活困窮、DV家庭等を把握することも多く、専門相談につなぐため福祉総務課、児童青少年課との連携を図った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 各関係機関との連携強化のために連絡会を定期的に開催し、必要時には随時連携を行っている。</p>	13	<p>子育て家庭の形態が多様化・複雑化してきている中、幅広い対応が求められており、今後も継続して様々な関係機関とネットワークをつくる必要がある。</p>	<p>引き続き、子育て家庭に対する必要な支援ができるよう、子育て支援関係部署やその他の機関との連携を行う。特に子育て関係部門間では、子育て相談窓口の連携強化をしていく。</p>																																																																			
	11			健康課		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">相談件数(電話・面接・訪問等)</td> <td>目標値</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3,011</td> <td>3,604</td> <td>4,212</td> <td>4,422</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">他機関との連携回数(会議含む)</td> <td>目標値</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td>増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>758</td> <td>582</td> <td>406</td> <td>774</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	相談件数(電話・面接・訪問等)	目標値	増加	増加	増加	増加			実績値	3,011	3,604	4,212	4,422			他機関との連携回数(会議含む)	目標値	増加	増加	増加	増加			実績値	758	582	406	774				目標値								実績値								目標値								実績値			
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																		
相談件数(電話・面接・訪問等)	目標値	増加	増加	増加	増加																																																																				
	実績値	3,011	3,604	4,212	4,422																																																																				
他機関との連携回数(会議含む)	目標値	増加	増加	増加	増加																																																																				
	実績値	758	582	406	774																																																																				
	目標値																																																																								
	実績値																																																																								
	目標値																																																																								
	実績値																																																																								
障害福祉課	14	<p>・児童発達支援センターわかさ学園の開設により障害児及び発達遅れのみられる児童、子育てに関する相談支援体制を強化し、子育ての支援、地域支援につなげている。</p> <p>・多くの家庭において主たる児童の日の中の養育者は女性である。児童発達支援センターわかさ学園は女性職員がそろっており、女性的立場や視点をもって、子育ての悩みや困難に対し、利用・相談のしやすい環境となっている。</p> <p>・年々相談員の人数が減ってしまっていることから、相談支援件数の全体の減少となっている。他の正規職員で相談件数を分担するなどしているが対応しきれしていない。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 障害児への支援は多様なニーズに対応する子育てへの支援につながる。また児童発達支援センターが幼稚園や保育園などの巡回相談をはじめ、地域への支援をおこなうなどより子育て環境の整備がすすんでいる。</p>	14	<p>・相談件数の増加、児童福祉サービス事業所の増加に対応する人員配置・整備。</p> <p>・情報共有等、各関係機関とのネットワークの強化。</p>	<p>・コロナ禍での感染防止に配慮した事業の運営。</p> <p>・市内障害児保育実施保育園他との連携</p> <p>・就労家庭への適切な相談支援・援助</p>																																																																			
	13			障害福祉課		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">相談支援件数</td> <td>目標値</td> <td>4,800</td> <td>4,800</td> <td>4,900</td> <td>3,500</td> <td>3,500</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>5,126</td> <td>4,850</td> <td>3,493</td> <td>3,725</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	相談支援件数	目標値	4,800	4,800	4,900	3,500	3,500	3,500	実績値	5,126	4,850	3,493	3,725				目標値								実績値								目標値								実績値								目標値								実績値		
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																		
相談支援件数	目標値	4,800	4,800	4,900	3,500	3,500	3,500																																																																		
	実績値	5,126	4,850	3,493	3,725																																																																				
	目標値																																																																								
	実績値																																																																								
	目標値																																																																								
	実績値																																																																								
	目標値																																																																								
	実績値																																																																								

通し番号	15
------	----

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	事業	15 地域包括支援センターの充実				
施策	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備		16 要介護者の家族への支援				
取組の方向	2	介護支援の充実		17 介護保険制度の普及と啓発				
(説明)	男女がともに、高齢者や障害者等の介護における役割を担っていきよう、介護を支えるサービスの充実、サービス利用に関する情報提供に努めます。			18 在宅サービスの充実				
			担当課	介護福祉課				

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標																																																																																											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標																																																																																					
15	介護福祉課	15 16 17 18	<p>・介護支援の充実の全般に関して、令和2年度は、第7期市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(平成30年度～32年度)に沿って事業を実施した。</p> <p>・市内3カ所の地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する福祉・医療に関する総合相談窓口として、対応を行った。医療機関やケアマネジャーからの相談にも応じ関係機関と連携により相談体制の充実を図った。令和2年東久留米市高齢者アンケートでは、「地域包括支援センターにご相談の際に、すぐ連絡ができましたか」との問いに「すぐに連絡がとれた」との回答が91.2%であり、「相談し際に必要な情報が十分に得られましたか」に対しては、「満足」が37.0%、「やや満足」が22.3%であり、相談に対する即応性・満足度は高いと言える。</p> <p>・介護の負担として、認知症介護があげられる。認知症家族会(地域包括支援センターに委託実施)では、同じ境遇、経験を持つ介護者同士で交流し、互いの経験から悩みの解決策を得る場として、また、地域包括支援センター職員へ相談・支援を受けられる場として役割は大きい。加えて、認知症初期集中支援チーム事業の活用により、適切な医療や介護につなげる支援を行った。</p> <p>・介護保険サービス事業者協議会や運営推進会議(36事業所)などを通じて、定期的に制度の普及啓発活動を実施した。また、市公式ホームページによる周知を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 第7期市高齢者福祉計画・介護保険事業計画及び地域包括支援センター事業計画に基づき事業を行った。事業の進捗管理及び評価を行うことで、課題を把握し適切に事業実施した。また、令和2年東久留米市高齢者アンケート結果より判断した。</p>	15	<p>高齢者のみ世帯や単独世帯も増加しているため、認知症等による権利擁護の課題が深刻化している。地域包括支援センター、介護事業所等の専門職からの支援だけでなく、民生委員や自治会組織をはじめとする、地域住民による見守りや問題の早期発見により成年後見制度等に適切につなげる必要がある。また、みまもりの必要性を感じていない高齢者に対する啓発活動が必要である。</p>				<p>地域包括支援センターについては、「地域共生社会」の概念が国から示されたことを含め、団塊の世代が75歳以上となる令和7年を見据えて、より一層の機能・体制の充実に向けて検討を行っていく。第8期市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、介護と医療の連携による在宅生活の継続や家族介護者の負担を軽減するサービスの充実、認知症独居高齢者等の権利擁護の推進や看取りなどの視点も入れた方策を検討する。</p>																																																																																					
					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">目標値</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標値</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標値</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標値</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標値</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								数値の指標		29	30	1	2	3	4	目標値	目標値							実績値							目標値	目標値							実績値							目標値	目標値							実績値							目標値	目標値							実績値							目標値	目標値							実績値						
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																																								
目標値	目標値																																																																																														
	実績値																																																																																														
目標値	目標値																																																																																														
	実績値																																																																																														
目標値	目標値																																																																																														
	実績値																																																																																														
目標値	目標値																																																																																														
	実績値																																																																																														
目標値	目標値																																																																																														
	実績値																																																																																														

目標	II	職業生活における女性の活躍推進	事業	19 女性活躍推進に向けた情報提供		
施策	1	市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進				
取組の方向	1	女性活躍推進にかかる意識啓発や情報提供				
(説明)				担当課	産業政策課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標													
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標									
16	産業政策課	19	<p>・国や東京都が実施する事業については生活文化課と情報交換を密にしながら周知に努めたのほか、労働環境や法律・制度、ワーク・ライフ・バランス等のチラシやリーフレットを窓口にて配置した。</p> <p>・ハローワークや東京しごとセンター多摩と共同で行う就職面接会などの多くの事業者が集まる機会に、法制度や働き方等に係る様々な資料を配布し、情報提供を行った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 限られた機会を、有効に活用したが、新型コロナウイルスの影響により情報提供回数が減少したため。</p>	16	産業政策課	<p>多くの事業者が集まるその他の機会を活用し、更なる情報提供に努めること。</p>	今年度と同様に、チラシによる周知と共に様々な機関と連携し、情報提供に努める。									
								数値の指標				29	30	1	2	3	4
								情報提供回数	目標値		3	3	3	3			
									実績値	2	4	2	1				
								情報提供企業	目標値		25	30	15	15			
									実績値	15	41	15	8				
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									

  

17	生活文化課	19	<p>・出前講座(参加者が集まる場所へ講師を派遣)では事業所も対象としており、社員研修などに活用してもらえるよう広報した。</p> <p>・職員課主催「新任職員フォロー研修」において、女性活躍推進について男女共同参画係長、男女平等推進センターコーディネーターが講義をした。</p> <p>・庁内メールを活用し、市役所全職員あてに「男女共同参画ニュースレター」を発信し、「男女共同参画都市宣言20周年記念事業」について案内を行った。</p> <p>・国、東京都、他市区町村、専門機関等が実施する女性活躍推進支援事業やセミナー等の案内を男女平等推進センターに配架するとともに、生活文化課と産業政策課で情報交換を密に行った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 職員課主催「新任職員フォロー研修」において、女性活躍推進や男女共同参画について講義をし、新任職員に対しては意識啓発ができたが、事業所に対して十分に情報提供できなかった。 また、様々な機関の案内を配架し、情報発信を行った。</p>	17	生活文化課	<p>市内事業所と直接関わる機会がなく、事業所への情報提供や事業所が抱える課題を把握することが難しい。</p>	専門機関との事業等の共催を継続、実施していく。出前講座の広報を工夫し活用促進を図ると共に、男女平等推進センターが情報発信をしていることを周知していく。小規模事業所の女性活躍推進への取組好事例を収集する。									
								数値の指標				29	30	1	2	3	4
								目標値	目標値								
									実績値								
								実績値	目標値								
									実績値								
								目標値									
								実績値									

目標	Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進	事業	再3 関係法令、各種制度の周知と啓発(再掲)		
施策	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進		再7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討(再掲)		
取組の方向	2 取組事業所への支援		再5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知(再掲)		
(説明)	女性活躍推進法の意義を事業者が理解し、意識改革を図るための講座や事業、女性の積極的な配置・登用についてのロールモデルの紹介など、女性の活躍を推進する事業所への支援を充実します。		担当課	産業政策課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標														
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標									
18	産業政策課	再3	<p>・国や東京都が実施する事業については生活文化課と情報交換を密にしながら周知に努めたのほか、労働環境や法律・制度、ワーク・ライフ・バランス等のチラシやリーフレットを窓口にて配置した。</p> <p>・ハローワークや東京しごとセンター多摩と共同で行う就職面接会などの多くの事業者が集まる機会に、法制度や働き方等に係る様々な資料を配布し、情報提供を行った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 限られた機会を、有効に活用したが、新型コロナウイルスの影響により情報提供回数が減少したため。</p>	18	産業政策課	<p>多くの事業者が集まるその他の機会を活用し、更なる情報提供に努めること。</p>	今年度と同様に、チラシによる周知と共に様々な機関と連携し、情報提供に努める。									
								数値の指標				29	30	1	2	3	4
								情報提供回数	目標値		3	3	3	3			
									実績値	2	4	2	1				
								情報提供企業	目標値		25	30	15	15			
									実績値	15	41	15	8				
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									

  

19	生活文化課	再3 再7 再5	<p>・国、東京都、他市区町村、専門機関等が実施する女性活躍推進支援事業やセミナー等の案内を男女平等推進センターに配架するとともに、生活文化課と産業政策課で情報交換を密に行なった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、市内事業所も困難な状況に置かれたこともあり、女性活躍推進のための取り組みや意識改革を図るための講座を開催することができなかった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、他機関での講座や研修等が中止・減少したため、十分な取り組みができなかった。</p>	<p>評価</p> <p>C</p> <p>評価理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、例年のような取り組みを実施することができなかった。</p>	19	生活文化課	<p>市内事業所に向けた事業の実施については、産業政策課や商工会、労働相談情報センター等の専門機関とのさらなる連携が必須となる。</p> <p>市の公共調達の方法が加点評価付与制度にはなじまず、本事業の推進が困難である。</p>	引き続き、専門機関との連携の元、事業所向け講座を実施する。									
								制度の周知や女性の活躍を推進する事業所への支援については、産業政策課、商工会等と連携を図りながら、実施していく。									
								数値の指標				29	30	1	2	3	4
								目標値	目標値								
									実績値								
								目標値	目標値								
									実績値								
								目標値									
								実績値									
								目標値									
実績値																	

通し番号	20,21
------	-------

目標	II 職業生活における女性の活躍推進	事業	20 職員研修の充実		
施策	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進		21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進		
取組の方向	3 市役所における女性管理・監督職への登用促進		22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施		
(説明)	指導的立場への登用に向けた庁内のキャリア支援を行うとともに、男女平等の視点に立った人材の育成や適正配置を進めます。		23 ハラスメント対策の推進		
		担当課	職員課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標										
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標					
担当課	事業番号			担当課										
職員課	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性職員の採用割合の引き上げ、管理職の女性割合を向上させるため、男女共同参画・ワークライフバランス研修の実施や働き方改革方針による長時間労働縮減により職場環境の改善を図るなど、各種取り組みを実施した。</li> <li>これまで、育児休業により勤務しなかった期間を2分の1に換算し昇給号給数を決定していたが、平成30年4月1日以降は、育児休業により勤務しなかった期間を全期間勤務したものとみなし昇給号給数を決定した。</li> <li>東京都町村職員研修所で実施された男女共同参画研修に計画人数の職員を派遣した。</li> </ul>	評価 B 評価理由 女性職員の採用割合が目標値を上回った。女性活躍推進に係る市独自研修を実施した。	20	管理職試験・採用試験とも女性受験者が少ない。	・市独自研修として、女性の管理・監督職への登用を含めた女性のキャリアについての意識を醸成すること等を目的として、男女共同参画・女性活躍推進に関する研修を実施する予定である。 ・管理職試験及び採用試験での女性受験者の増加に向けた取組みを引き続き行っていく。								
					数値の指標									
							29	30	1	2	3	4		
					職員課	管理職の女性割合(%)	目標値	13	13	13	13	13		
							実績値	10.6	10.8	10.8	8.9			
						女性職員の採用割合(%)	目標値	40	40	40	40	40		
							実績値	29.4	57.1	41.5	51.9			
							目標値							
							実績値							
							目標値							
						実績値								
生活文化課	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員課主催「新任職員フォロー研修」において、男女共同参画、特定事業主行動計画、女性活躍推進の意義等について、男女共同参画係長、男女平等推進センターコーディネーターが講義をした。</li> <li>職員課との共催事業「男女共同参画・ワークライフバランス研修」において、全管理職、係長職以下の職員それぞれを対象に、男性の育児休業取得促進についてのオンライン研修を実施した。管理職向けの研修では、男性の育児休業取得における課題、管理職として取り組むべきこと、職場にとってのメリット等について学んでもらった。また、職員向けの研修では、男性の育児休業取得の現状と課題、制度の概要、育児休業取得のメリットについて学んでもらった。</li> </ul>	評価 B 評価理由 新任職員向けに、女性活躍推進の意義、特定事業主行動計画の推進に向けて、意識づけをすることができた。女性職員の能力活用に関する管理職研修を実施することができなかった。	21	研修には様々なテーマがあるため、調整が必要な場合もあるが、職員課と連携しながら職員・管理職向け研修を継続して取り組んでいく必要がある。	新任職員向け研修は、男女共同参画の意識づけの機会にもなり、自身のキャリアを考える機会にもなるため、今後も継続して実施していきたい。管理職向け研修については、職員課と協議しながら、女性職員の活躍につながるような、キャリア支援の視点を取り入れた研修を検討していきたい。								
					数値の指標									
							29	30	1	2	3	4		
					生活文化課	男女共同参画/女性活躍推進に関する職員研修	目標値	未設定	2	2	2	2	2	2
							実績値	—	2	2	2			
							目標値							
							実績値							
							目標値							
							実績値							
							目標値							
						実績値								

通し番号	22
------	----

目標	Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進	事業	24 女性の就労継続とキャリア形成への支援		
施策	2 女性の就労継続とキャリア形成への支援				
取組の方向	1 就労継続とキャリア形成に向けた意識啓発				
(説明)	女性が就労を継続していくことができるよう、ライフステージに応じた支援等の情報提供を行います。また、女性がキャリア形成の視点を持って自身のライフプランを描けるよう、意識啓発を図るための講座やロールモデルの紹介など、女性に向けた事業を充実します。		担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標															
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標											
22	生活文化課	24	<p>・男女平等推進センター主催「ひきこもり女子会」では、生きづらさを抱える、ひきこもり等の当事者が、当事者同士、または支援者と交流し、居場所としての「ひきこもり女子会」づくりに主体的に取り組むための講座を実施した。</p> <p>・東京都労働相談情報センターの事業所向け講座「【セミナー&amp;相談会】パートタイマーの日頃の疑問に答えます！～法律から労働保険・社会保険、税金まで～」を共催し、市広報や市ホームページ、SNSにより開催情報を発信した。</p> <p>・東京都労働相談情報センターと共催で、「育休パパ・ママの職場復帰セミナー」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、中止となった。</p> <p>・東京都、他市区町村、専門機関等が実施する女性の就労継続とキャリア形成に関する案内を男女平等推進センターに配架するとともに、生活文化課と産業政策課で情報交換を密に行った。</p>	<p>評価理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となった共催講座があったものの、復職などを考える女性に向けて、講座の実施や情報の提供を行うことができた。</p>	22	生活文化課	<p>妊娠、出産より前に啓発することが望ましい事業であり、若年層や社会人経験年数の浅い方に向けた情報発信が求められるが、効果的に情報を届けることが困難である。</p>	健康課や子ども家庭支援センターと連携し、現に就労継続の状況に直面しているような出産を控えた方、子育て中の方に対して有用な情報提供を行う。これから妊娠、出産を迎える男女への啓発をどのように行っていくか、他課との連携などを検討していく。											
数値の指標								29	30	1	2	3	4						
専門機関と連携して行った講座の開催数								目標値	—	—	4	4	4	4					
								実績値	—	—	4	2							
								目標値											
								実績値											
								目標値											
								実績値											
								目標値											
								実績値											

目標	II 職業生活における女性の活躍推進	事業	25 女性の再就職への支援		
施策	3 女性の再就労への支援				
取組の方向	1 再就職に関する講座、啓発、情報提供				
(説明)	子育て・介護等により離職した女性に対し、再就職に結びつく技能習得講座の実施や就労相談等を関係機関と連携して行い、キャリアプランに配慮した就労までの支援を推進します。				
		担当課	産業政策課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標										
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標					
担当課	事業番号			担当課										
産業政策課	23	・ハローワークと連携した就職支援セミナーや面接会、東京しごとセンター多摩、生活文化課と連携した女性の再就職支援セミナー・個別相談会を行った。後者は、女性に特化した再就職支援であり、託児保育の実施など受講し易い環境づくりをし、実際に子供を預けて受講する参加者もいた。	評価 A  評価理由 新型コロナウイルスの影響により、いくつかのセミナー・面接会は中止となったが、再就職を目指す方を対象にセミナーや面接会、女性に特化したセミナーを行った。	23	女性の再就職セミナーについて、昨年度と比較し参加者は増加したが、さらに集客方法を工夫する。				継続的に託児保育などを伴う女性の再就職に特化したセミナー等を行う。					
					数値の指標				29 30 1 2 3 4					
					就職面接会・セミナー実施回数	目標値	6	5	5	5				
						実績値	6	7	4					
					参加人数	目標値	250	150	150	150				
						実績値	207	153	206	103				
						目標値								
						実績値								
						目標値								
						実績値								
生活文化課	24	・東京しごとセンター多摩、産業政策課と連携して、「すぐに使える！役立つ！女性のための再就職支援セミナー＆個別相談会」を開催し、再就職を希望する女性27名の参加があった。生活文化課は保育の実施で協力し、1名の利用があった。 ・東京都が新たに設置した女性のための再就職支援窓口である「女性しごと応援テラス多摩ランチ」よりチラシ・パンフレット等を取り寄せ、情報コーナー等で配布し、周知に努めた。 ・東京都、他市区町村、専門機関等が実施する女性の再就職に関する案内を男女平等推進センターに配架するとともに、生活文化課と産業政策課で情報交換を密に行った。	評価 B  評価理由 専門機関、他課と連携し、女性の再就職に関する講座を実施することができた。	24	新たな連携先を開拓し、キャリアプランに配慮しながら就労までの支援を行っていくことが必要である。				引き続き、専門機関、他課と連携しながら講座を実施していく。また、男女平等推進センターの講座でも女性の再就職を支援する取り組みを行ってきたい。					
					数値の指標				29 30 1 2 3 4					
					【参考値】講座開催数	目標値	—	—	—	—				
						実績値	1	1	2	1				
					【参考値】講座参加人数	目標値	—	—	—	—				
						実績値	8	56	30	27				
						目標値								
						実績値								
						目標値								
						実績値								

目標	II	職業生活における女性の活躍推進	事業	26 女性の起業に関する情報提供及び支援		
施策	4	女性の起業と事業継続への支援				
取組の方向	1	起業と事業継続に関する講座、情報提供、関係機関との連携による支援とネットワークづくりへの支援				
(説明)	起業をめざす女性に対し、起業に関する講座や相談の機会を提供します。また、関係機関と連携して、起業後の助言や支援などを実施します。			担当課	産業政策課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標										
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標						
25	産業政策課	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や東京都が実施する事業についての周知のほか、創業や補助金に係るチラシやリーフレットを窓口にて配置した。</li> <li>創業にかかるセミナーは実施できなかったが、創業支援事業の案内を積極的に行い創業支援を行えた。また、創業キッチンアルゴというシェアキッチンの利用を呼びかけ、多くの問い合わせがあり、起業家の支援を行えた。</li> </ul>	評価 B  評価理由 創業支援事業の案内を行えたことと個別相談により創業者の支援ができたため	25	産業政策課	多種多様な相談について対応できるよう、創業支援の方法を学ぶとともに、適切な創業支援機関が照会できるよう努める。	関係機関と連携することにより、セミナー等を実施し、様々な方面から創業者への支援を行えるようにする。						
								数値の指標		29	30	1	2	3
							創業セミナー実施回数	目標値		2	1	1	1	
								実績値	2	0	0	0		
							参加者	目標値		6	5	5	5	
								実績値	4	0	0	0		
							創業希望者個別相談回数	目標値			12	12	12	
								実績値		17	18	18		
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						
26	生活文化課	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等推進センターに起業に関する問い合わせ・相談が5件あった。相談があった際には、丁寧に話を聞き、商工会や多摩信用金庫、日本政策金融公庫などの金融機関の紹介を行った。</li> <li>東京都、他市区町村、専門機関等が実施する女性の再就職に関する案内を男女平等推進センターに配架するとともに、生活文化課と産業政策課で情報交換を密に行った。</li> <li>(公財)東京都中小企業振興公社が開設した企業志望者の支援・相談窓口である「TOKYO創業ステーション」をホームページのリンク先に追加し、チラシを配架するなどして周知した。</li> </ul>	評価 B  評価理由 起業に関する相談に対し、適切な機関に相談を繋げることができた。企業に関する情報発信を積極的に行えた。	26	生活文化課	今後のネットワーク構築に向けた参加者の主体的な活動の支援となることが必要である。	令和2年度は、男女平等推進センターとして講座が開催できなかったため、地域の女性起業家の交流の場となるような企画を検討していきたい。						
								数値の指標		29	30	1	2	3
							【参考値】事業実施数	目標値						
								実績値	4	0	1	0		
							【参考値】参加者数(延べ)	目標値						
								実績値	35	0	21	0		
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	担当課								
	27	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のための市内全館の臨時休館や、中央図書館においては大規模改修工事に伴い長期休館となった。</p> <p>・担当課や関連機関が実施する事業等を情報提供の機会とする方策もあったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により連携事業の実施は見合わせた。</p> <p>・中央図書館が休館となったことで、資料・情報の提供は地区館が担うこととなったが、制限付開館や地区館の収容能力が限られていることから十分には資料・情報提供が行えなかった。</p>	<p>評価</p> <p>C</p> <p>評価理由</p> <p>十分には資料・情報提供や連携事業が行えていないため。</p>	27	<p>非来館型サービスの一案として、図書館ホームページを活用した資料・情報の提供を充実させる必要がある。</p> <p>また、インターネットを活用した事業等の実施について検討する。</p>	令和3年度より、中央図書館も含む市内全館が指定管理者による管理運営に移行することに伴い、具体的な取り組みは指定管理者が担うこととなる。							
図書館	26			なお、これまでも情報リテラシー事業を実施しているが、新型コロナウイルスによる社会状況の変化において、情報リテラシーの重要性が顕在化しており、今後も図書館で行う必須事業として、継続して実施していく。									
				数値の指標		29	30	1	2	3	4		
				目標値									
				実績値									
				目標値									
				実績値									
				目標値									
				実績値									
				目標値									
		実績値											

通し番号	28
------	----

【令和2年度事業】

目 標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進	事業	27 審議会委員等委員の男女比率の均等化		
施 策	1	市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進				
取組の方向	1	ポジティブ・アクションへの理解促進				
(説明)	女性委員のいない審議会等をなくすよう努める等、市民が主体的にまちづくりに参画する機会である審議会等における男女比率の均等化に努めます。また、比率均等化にむけ、ポジティブ・アクションの設定とその理解促進に努めます。		担当課	生活文化課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題		次年度の方向性・目標					
担当課	事業番号			担当課								
	28	・審議会等における男女比率の均等化を進めるためには、審議会等の担当部署との連携が欠かせないため、数度にわたり、調整を行った。 ・東京都市町村男女平等参画施策担当職員連絡会において、審議会委員等委員の男女比率について、他市の状況や取り組みについて聞くことができた。	評価  C  評価理由 審議会等の男女比率について、現状を改善するには至っていない。	28	担当部署へ働きかけるための具体的な取り組みを検討する必要がある。		他市の取り組み等も参考にし、生活文化課のポジティブアクション導入例(男女共同参画推進協議会における女性課長職の参画)を参考例として出すなど、庁内に審議会委員等委員の男女比率の均等化についての具体的な働きかけを行う。					
生活文化課	27			生活文化課	数値の指標		29	30	1	2	3	4
					女性委員のいる審議会等が占める割合【参考】	目標値	—	—	—	—		
						実績値	83.8%	87.0%	84.7%	81.0%		
					審議会等の総数(行政委員会含む)【参考】	目標値	—	—	—	—		
						実績値	54	54	59	63		
					審議会等における女性委員の割合【参考】	目標値	—	—	—	—		
						実績値	38.3%	37.8%	37.9%	35.40%		
					審議会等の委員総人数【参考】	目標値	—	—	—	—		
						実績値	708人	731人	797人	788人		
						目標値						
						実績値						

目標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進	事業	28 自治会における男女共同参画に関する啓発及び情報提供		
施策	1	市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進				
取組の方向	2	男女が参加しやすい環境整備				
(説明)	自治会などの地域活動に男女がともに参加することの意義を知り、参加しやすい環境をつくるため、男女共同参画に関する啓発及び情報提供を行います。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標										
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標						
29			<p>・ひばりが丘団地自治会出前講座「知ろう防災、楽しく学ぼう～いざという時にあなたにできること」を開催し、自治会役員・会員・地域活動団体メンバー等の参加者に対して、防災をテーマに男女共同参画の必要性について啓発・情報提供を行った。</p> <p>・FMひがしくるめ「氷川台自治会ラジオ回覧板」に男女共同参画係が出演し、番組の中で自治会員及びリスナーに向けて男女共同参画や男女平等推進センターに関する啓発・情報提供を行った。</p> <p>・東久留米市自治会連合会主催の研修会で、男女平等推進センター出前講座「コロナ禍で自治会ができること?～地域で必要なこと～」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 これまで啓発の手段としてきた講座が、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により中止になるなどの影響があったものの、自治会のラジオ番組に出演し、男女共同参画について情報提供するなど、新たな取り組みもできた。</p>	29	生活文化課	<p>男女共同参画の視点を定着させるためには継続的な取り組みが必要である。新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会関係者が一堂に会する場を作ることができない状況が続く中、どのように男女共同参画を啓発していくか調査検討していく。</p>	生活文化課男女共同参画係と市民協働係が連携し、新しい生活様式に即した啓発方法を検討する。						
							数値の指標							
								29	30	1	2	3	4	
							自治会長における女性の割合(%)	目標値	30	23	22			
								実績値	25.6	23.8	18.4	18.1		
							自治会数【参考値】	目標値						
								実績値	129	126	125	121		
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						

通し番号	30
------	----

目標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進	事業	29 地域におけるリーダーとなる女性の育成		
施策	2	地域におけるリーダーとなる女性の育成				
取組の方向	1	リーダー育成のための講座開催や機会の提供				
(説明)	地域活動やボランティア等に、男女がともに積極的・主体的に参画できる環境づくりを支援します。また、男女が互いに協力しあう中で、リーダーとして活躍する女性の増加をめざします。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標														
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標										
30	生活文化課	29	<p>・出前講座「知ろう防災、楽しく学ぼう～いざという時にあなたにできること」を開催した。ひばりが丘団地自治会役員含め地域の方々に、防災対策に男女双方の視点が必要なことや災害時にリーダーとして活動する女性リーダーを育成することの重要性を認識する機会となった。</p> <p>・国立女性教育会館主催で開催された「女性政治リーダー育成研修」をツイッターやフェイスブックを通して紹介した。</p> <p>・連続2回オンライン講座「参加者にやさしい“場づくり”の心得」を開催した。地域の男女共同参画、女性活躍を推進するためのオンライン活用スキルを学習する機会及びコロナ禍で外出できない方への交流の機会を提供することができた。</p> <p>・国際女性デーに合わせて米国連邦最高裁判事ルース・ペイダー・ギンズバーグの生涯を描いた伝記映画「ピリブ～未来への大逆転～」を上映した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、出前講座、オンライン講座、シネマ上映と多角的に事業を実施することができた。ただ、参加者の減少は避けられなかった。</p>	30	生活文化課	<p>出前講座は、参加者も多く女性の割合も高かったが、若い世代の参加が少なかった。また、シネマ事業も同様であった。今後、若い世代も巻き込んでいく必要がある。</p>	<p>出前講座では、これまでも自治会など地域で活動している団体と繋がることができている。引き続き、アウトリーチ活動を重視していきたい。また、今回のシネマ事業では、鑑賞希望者が想定を大きく上回り、手ごたえを感じている。令和3年度も引き続き複数回の上映を予定している。今後、講座と組み合わせるなどして、さらに女性リーダーが活躍する姿を伝えていきたい。</p>										
数値の指標								29	30	1	2	3	4					
【参考値】地域活動や防災活動における女性リーダー育成取り組み事業数					目標値			5(※1)	3	4	4							
【参考値】上記事業における参加者数					目標値			212(※1)	62	92(※2)	59							
※1…沿線3市男女共同参画連携事業					目標値													
※2…展示見学者、DVD視聴者含まず					実績値													
					目標値													
					実績値													
					目標値													
					実績値													

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	30 各種健康診査及び健康相談事業の充実		
施策	1 生涯にわたる男女の健康の支援		31 発達段階に応じた適切な性教育の推進		
取組の方向	1 ライフステージに合わせた健康支援		32 HIV/エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実		
(説明)	生涯にわたって、だれもがいきいきと充実した生活が送れるよう、ライフステージに応じたことと体の健康づくり支援を行うとともに、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」をはじめとした、健康と性に関する啓発と学習機会を提供します。		33 生涯を通じた健康の保持増進等のための啓発及び情報提供		
		担当課	健康課 指導室	生活文化課	介護福祉課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標								
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標				
31	健康課	<p>・子宮頸がん検診・乳がん検診について、国の事業に基づき、初めて受検可能となる年代の方へ無料クーポン券を送付することで、検診を周知しつつ、受診勧奨を行った。乳がん検診について、女性スタッフのみで対応する医療機関を選択肢に入れ、より受診しやすい環境となるよう配慮した。新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒、三密の回避等に取り組んだ。</p> <p>・食事・健康相談(個別健康相談)では、健康管理の助言を行い生活習慣改善の実践・継続につながるようにした。予防的観点から若い世代が参加しやすいように保育付きとしている。また、女性のための健康講座では、プレ更年期世代の30~40歳台を対象とし、コロナ禍であっても感染予防対策を徹底して心と体のメンテナンスの講座を実施した。元氣plus+、ウォーキングマップでは、コロナ禍においても、誰もが気軽に個人でできる健康づくりのツールとして周知した。</p> <p>・こころの健康づくりでは、市自殺対策計画に基づき新規事業として、市民・関係機関対象のゲートキーパー養成講習の実施、自殺予防パンフレット作成・配布及び広報・HPによる周知、東京都の自殺予防キャンペーン時期にパネル展示も行った。市民の深刻な相談に対応していくために、相談窓口職員対象に事例検討会も開催している。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 新型コロナウイルス感染拡大により利用者数が減少したため。</p>	31	健康課	<p>・新型コロナウイルス感染症の蔓延下でも、がん検診は不要不急にあたらないが、受診を控える傾向がある。受診率の引き上げが課題である。</p> <p>・感染症まん延時期においても健康維持につながるよう、個人でも行える気軽な健康づくりを周知していく。また、地域で身近な支え合いにつながるようゲートキーパーを周知していく。</p>	<p>引き続き受診しやすい環境の提供に努める。</p> <p>・わくわく元氣plus+、ウォーキングマップ等、個人で気軽に健康づくりに取り組めるツールを継続して周知していく。</p> <p>・ゲートキーパー養成講習を継続して開催していく。</p>	数値の指標			
								健康相談利用者数および女性の割合	目標値	29	30
32	生活文化課	<p>・男女平等推進センター主催講座「女性のための護身法～わたしを守る わたしでありたい～」を開催し、16歳以上の女性を対象に学校、職場、地域、家庭における安心と安全が守られるように一人ひとりのエンパワーメントを高めることをめざした。</p> <p>・大門中地区青少年健全育成協議会・地域コミュニケーションより依頼があり、男女平等推進センター出前講座「経験者が語る不登校ひきこもり～多様な生き方のもと、誰もが生きやすい社会づくりのために～」を実施した。小学生、中学生の保護者向けに若年層の性暴力被害予防防犯間、性交同意年齢等について情報提供した。</p> <p>・デートDV防止リーフレット「これって当たり前？」を男女平等推進センターで作成し、市内の全中学3年生を対象に配付するとともに市ホームページにも掲載した。デートDVだけでなく、若年層が陥りやすい被害の情報や自分を大切にすることについて啓発を行った。</p> <p>・性暴力に関するSNS相談「Cure time(キュアタイム)」など、若年層に対する相談窓口の周知を広報紙、市ホームページ、SNS等で行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 男女平等推進センター主催講座・出前講座、啓発物の作成・配付、SNS等での情報発信など、あらゆる機会を通じて啓発及び情報提供ができた。</p>	32	生活文化課	<p>令和2年度は、性教育に関する講座を実施することができなかった。親向けの講座だけでなく、直接若年層に向けた講座も実施できるよう検討していきたい。</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施できなかったが、中学校の保護者向け性教育講座については、継続的に取り組んでいる学校へのアウトリーチ活動の一環でもあるので、引き続き取り組んでいきたい。</p>	数値の指標			
								【参考値】性教育講座開催数	目標値	29	30

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	通番								
介護福祉課	33	<p>・平成29年度より65歳以上の方がすべての方が利用可能な一般介護予防事業とし主に以下の事業を実施した。</p> <p>・介護予防自主グループ立ち上げ講座(体づくり体操呼びかけ隊):自主グループの立ち上げ方法や継続法を学ぶ講座</p> <p>・「シャキシャキ介護予防教室」:介護予防に必要な運動機能向上、栄養予防、口腔ケアを学ぶ複合プログラム</p> <p>・「脳の健康教室」:脳トレによる認知症予防</p> <p>上記の各教室も定着し、多くの参加者を得ている。また、卒業後の自主グループもできており、既存の教室や講演会を通じて、市民に介護予防の普及・啓発と「介護を予防する生活」を実践できる取組を継続して行った。</p> <p>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、一部教室のリモート開催の試行及び外出頻度の減少した高齢者のフレイル予防として、介護予防ご当地体操「わくわくすこやか体操」の動画を作成しPRイベントを実施した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 自主グループ化もできており、当初の目的を達成できた。</p>	33	<p>男女問わず「生活自立に向けた支援」が欠かせない。そのため、早期から筋力向上等の介護予防への取り組みを促すとともに、男性利用者に対しては元気なうちから地域とのつながりや家事能力を身につける働きかけが重要である。</p>	<p>今後も市民への介護予防の普及啓発を図るため現状規模で事業を継続していく。 自主グループの立ち上げ、継続支援として、自主グループへの専門職派遣事業を活用し効果的に運動が継続できるように地域包括支援センターと連携し、自主グループの支援を行っていく。 広報・HP等を活用し、より多くの方が参加できるよう周知を行っていく。また、「わくわくすこやか体操」の動画を活用した介護予防の取り組みの啓発を強化する。</p>							
	数値の指標			29		30	1	2	3	4			
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
指導室	34	<p>・小学校理科、体育科及び中学校家庭科、保健体育科の学習指導要領に則り、発達段階に応じた適切な性教育が計画・実施された。</p> <p>・教科のねらい及び児童・生徒の発達段階に即した授業が行われていた。</p> <p>・小学校体育科及び中学校保健体育科でHIV／エイズや性感染症の危険性及びその予防に関する教育を行った。</p> <p>・全小・中学校で薬物乱用防止教室を実施し、薬物乱用防止教育の推進を図った。</p> <p>・例年、全小学校で小学校4年生を対象に、健康課の「禁煙キャラバン」を実施し、喫煙防止教育の推進を図っているが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、実施できず、学校側も残念に思っている。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 喫煙防止教育については、新型コロナウイルス感染症拡大対策のためやむを得ず実施できなかったが、その他については対策を講じつつ全市立小・中学校において適切に実施している。</p>	34	<p>・学習指導要領に則り、引き続き、発達段階に応じた発生する性差に配慮しながら適切に性教育を行う。</p> <p>・小学校理科、体育科及び中学校家庭科、保健体育科の更なる授業改善を進め、児童・生徒により正しい知識と健全な態度が身に付くよう授業の充実を図る。</p>	<p>人権教育プログラム(東京都)を用いた研修を行い、人権尊重の観点から「男女平等の精神」や「思いやりの気持ち」を育む。 薬物乱用防止教室は、意識啓発を徹底する必要が高まっており、引き続き全小・中学校で実施する。喫煙防止教育は、計画的な指導が必要であることから、全小学校第4、5学年で「禁煙キャラバン」を実施することといたしたが、ワクチン接種の体制の影響により、実施できなくなった。指導室及び健康課にて今後の対応に取り組む必要がある。</p>							
	数値の指標			29		30	1	2	3	4			
	市立全小・中学校で年間指導計画に位置付ける(20校→19校)			目標値 20		20	20	19	19				
				実績値 20		20	20	19					
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												

通し番号	35
------	----

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	37 妊娠中及び出産後の健康管理の啓発及び相談事業の充実
施策	1 生涯にわたる男女の健康の支援		38 出産・育児に関する情報提供と男性の理解の促進
取組の方向	2 妊娠、出産期における女性への健康支援		
(説明)	妊娠・出産期にある女性の母性保護と母子保健の充実を図ります。また、男性が母体への理解を深めるとともに、男性の育児参加の必要性を知ることにより、男性の育児参加促進を図ります。		
		担当課	健康課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標																																																																		
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標																																																														
35		<p>・妊婦全数面接を実施した。平成30年度より、妊娠届出をした妊婦を対象に保健師等専門職が妊婦面接を実施している。妊娠前から子育て期にわたる相談・情報提供を行うとともに、出産・子育て応援品を渡している。夫婦で来所された場合には、特に、夫婦で協力して子育てをする大切さについての助言を行っている。また、妊婦面接により、ハイリスク妊婦等を早期に把握し、関係機関と連携しながら早期支援につなげ、児童虐待の発生を予防している。面接は健康課窓口(随時)、市役所2階多目的室(予約制)2回/週で行っている。コロナ禍ということもあり、電話・オンラインによる面接も実施した。</p> <p>・プレ・パパママクラスを4日間コース×6クール実施している。妊娠、出産、育児に関する基本的な情報提供の他、「タバコの害・マタニティブルー」等についての情報提供、妊婦同士・夫同士・夫婦間の交流を目的としたグループワークを実施している。3日目は全て土曜日に開催し、主に夫を対象としたプログラムを実施している。妊婦疑似体験や沐浴実習等を通じ、夫婦が協力し合って育児をしていけるよう支援した。また、マタニティブルーの話をし、夫が精神面から妻を支え、育児参加できるように促した。アンケート結果では、「妊娠、出産、育児に関しての情報が得られた」と全員が回答した。また、「夫婦間で子育てについて話さずきっかけになった」と答えの方は99.2%。コロナ禍のため、参加定員を減らして実施した。</p> <p>・子育て応援メールを実施した。妊婦及び3歳未満の子どもをもつ保護者を対象に、携帯電話のメールを活用し、タイムリーに育児情報、妊娠中・産後のメンタルヘルス、母親・父親への応援メッセージ等を定期的に配信している。ほとんどの方が「登録して良かった」と答え好評を得ている。配信されたメールを夫・家族と一緒に読んでいる方も多く、妊娠・出産・子育てについて家族で考える良い機会にもなっている。</p> <p>・赤ちゃん訪問を実施した。出生4か月までの乳児のいる全ての家庭に保健師・助産師が訪問し、母子の心身の状況や養育環境の把握、子育て支援に関する情報提供、育児相談を行った。訪問率は昨年より減少したが、コロナ禍ということもあり、里帰りや長期化したり、感染からの不安により訪問を希望しない産婦も一定数いることが要因と考えられる。育児不安等のフォローのために複数回訪問が必要なケースもあり、ハイリスク者の把握・早期支援につながっている。</p>	<p>評価理由</p> <p>育児支援のためにも、プレ・パパママクラス参加者数(特に夫)、子育て応援メール登録者数、赤ちゃん訪問実施数の増加が必要。感染予防に留意しながら子育て支援に資する事業を継続していくことが必要。</p>	35	健康課	<p>妊婦全数面接では、面接率向上が課題となっている。プレ・パパママクラスでは、父親の参加者数を増やすための働きかけをしていく。また、夫にも出産、育児についての情報や体験を得る機会を提供し、父親としての意識の向上と育児への積極的参加を目指す。子育て応援メールは、登録率が2割程度と横ばいの状況が続いているため、利用者数を増やすためにもさらなる周知に努めていく。赤ちゃん訪問は、出来るだけ産後1か月以内の不安の高い時期に訪問する必要がある。</p> <p>妊婦全数面接については、妊娠届出時に妊婦面接を周知し、面接未実施者に対する電話・手紙等による勧奨を継続。妊婦の自宅とのオンライン面接を実施し利便性の向上に努める。プレ・パパママクラスについては、参加した妊婦、父親同士が出産後も交流できるような働きかけを継続する。母子健康手帳交付時に、プレ・パパママクラスのチラシを配布し周知を継続していく。子育て応援メールについては、チラシを、妊娠届出、赤ちゃん訪問、乳幼児健診等の母子保健事業時、市内医療機関等で配布、広報・ホームページも活用しての周知を継続していく。赤ちゃん訪問については、できるだけ、産後1か月以内に訪問を行い、育児不安の軽減・産後うつ予防等を行う。支援が必要な母子に対して継続的に訪問等を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">プレ・パパママクラス参加者実数(妊婦・夫)</td> <td>目標値</td> <td>妊婦120人・夫90人</td> <td>妊婦120人・夫90人</td> <td>妊婦120人・夫90人</td> <td>妊婦120人・夫90人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>妊婦117人・夫79人</td> <td>妊婦116人・夫77人</td> <td>妊婦131人・夫98人</td> <td>妊婦114人・夫69人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子育て応援メール利用登録率</td> <td>目標値</td> <td>30%</td> <td>30%</td> <td>30%</td> <td>30%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>22.5%</td> <td>20.3%</td> <td>23.5%</td> <td>26.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">赤ちゃん訪問実施率</td> <td>目標値</td> <td>97%</td> <td>99%</td> <td>99%</td> <td>99%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>94.9%</td> <td>98.8%</td> <td>97.5%</td> <td>87.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">妊婦面接実施率</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>70%</td> <td>70%</td> <td>70%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>60%</td> <td>57.3%</td> <td>72.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				数値の指標	29	30	1	2	3	4	プレ・パパママクラス参加者実数(妊婦・夫)	目標値	妊婦120人・夫90人	妊婦120人・夫90人	妊婦120人・夫90人	妊婦120人・夫90人		実績値	妊婦117人・夫79人	妊婦116人・夫77人	妊婦131人・夫98人	妊婦114人・夫69人		子育て応援メール利用登録率	目標値	30%	30%	30%	30%		実績値	22.5%	20.3%	23.5%	26.4%		赤ちゃん訪問実施率	目標値	97%	99%	99%	99%		実績値	94.9%	98.8%	97.5%	87.0%		妊婦面接実施率	目標値	—	70%	70%	70%		実績値	—	60%	57.3%	72.3%	
数値の指標	29	30	1	2	3	4																																																															
プレ・パパママクラス参加者実数(妊婦・夫)	目標値	妊婦120人・夫90人	妊婦120人・夫90人	妊婦120人・夫90人	妊婦120人・夫90人																																																																
	実績値	妊婦117人・夫79人	妊婦116人・夫77人	妊婦131人・夫98人	妊婦114人・夫69人																																																																
子育て応援メール利用登録率	目標値	30%	30%	30%	30%																																																																
	実績値	22.5%	20.3%	23.5%	26.4%																																																																
赤ちゃん訪問実施率	目標値	97%	99%	99%	99%																																																																
	実績値	94.9%	98.8%	97.5%	87.0%																																																																
妊婦面接実施率	目標値	—	70%	70%	70%																																																																
	実績値	—	60%	57.3%	72.3%																																																																

通し番号	36,37
------	-------

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	39 暴力未然防止のための意識啓発	
施策	2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援		40 若年層に向けた暴力防止の啓発	
取組の方向	1 暴力の未然防止や早期発見のための取組強化		41 早期発見のための理解促進	
(説明)	さまざまな媒体や機会を活用した広報・啓発活動、若年層への教育や啓発により暴力を未然に防ぐとともに、暴力の実態等に関する情報提供や講座を実施し、医療機関や健診、また被害者の周囲の人々が早期発見することができるような体制づくりを進めます。		担当課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標					
36	39 40 41	<p>・「女性に対する暴力をなくす運動期間」に合わせて、パネル展示で全国的に知名度・実績のあるNPO法人男女共同参画推進みなと製作のパネルを借用し、「心に響かせるDV根絶パネル展」を開催した。人権施策担当者とも連携し、相談カードやチラシなどの情報も配布した。また新たな取り組みとして、展示会場に見学者の意見投票やメッセージ投稿コーナーも設置した。</p> <p>・「心に響かせるDV根絶パネル展」開催期間中に、男女平等推進センター主催講座「女性のための護身法～わたしを守るわたしでありたい～」を開催した。新型コロナウイルス感染症対策の工夫をしながら、実演や実技を取り入れて行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた市内中学校への出前講座が実施できなくなったため、デートDV防止リーフレット「これって当たり前？」を作成し、市内中学校(学校法人自由学園も含む)の3年生全員に配布した。また、市ホームページでもダウンロードできるようにした。</p> <p>・健康課主催で行われた市民対象のゲートキーパー養成講座(自殺予防事業)に男女共同参画係の職員が講師として登壇し、DVやデートDVの実態の説明や男女平等推進センターの専門相談やDV相談などを紹介などを行った。</p> <p>・内閣府が発表した性犯罪・性暴力対策の強化の方針に合わせて、JKビジネス・AV出演強要問題の注意喚起、内閣府 性暴力に関するSNS相談「Cure Time(キュアタイム)」の紹介など、市SNSを通じて情報発信した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 コロナ禍で事業を実施しにくい環境の中で、展示、リーフレット作成・配布、講座、SNSによる情報発信など多角的に事業を行うことができた。また、人権施策担当や健康課との連携もできた。</p>	36	生活文化課	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、市内中学校への出前講座は中止となったが、若年層への働きかけは、今後も強めて行かなくてはならない。また、若年層を取り巻く大人への啓発も重要である。</p>	市内中学校へ出前講座や中高生層対象の主催講座など、若年層へ直接働きかける機会を確保していきたい。					
							数値の指標	29	30	1	2	3
37	40	<p>・道徳の時間を中心とした道徳教育において、思いやりの授業を行った。</p> <p>・授業時間以外においても朝会や朝礼での校長講話等や朝の会や朝学活での教員の話でいじめや暴力についての話題を取り上げることで児童・生徒に考えさせる機会とした。</p> <p>・ふれあい月間を活用し暴力防止の意識啓発を行った。</p> <p>・毅然とした生活指導を全小・中学校において徹底し、校内外での暴力行為の防止に努めた。また、必要に応じて、スクールサポーターに相談し、外部機関との連携を図った。</p> <p>・生活指導主任研修において、いじめ、長期欠席、暴力行為に対する未然防止の取組について情報交換した。</p> <p>・体罰などの暴力行為によって問題を解決しない教育を実践するために、初任者教諭向けに体罰防止研修を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 いじめ問題、暴力行為の防止について、適切に指導・研修を実施した。</p>	37	指導室	<p>いじめ、暴力行為の防止についての意識啓発のため、児童・生徒の発達に応じた指導を工夫する必要がある。市立小・中学校では、新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染症に対する不安から陥りやすい偏見や差別等について考え、適切な行動を取れるよう指導しているが、マスクの着用について言われたことに対していやな思いをした児童・生徒がいた。</p>	日々の生活指導や道徳の授業の他、年2回のふれあい月間(11月・2月)を活用し、児童・生徒に対し、引き続き、言葉の暴力を含めた暴力防止の意識啓発を図る。新型コロナウイルス感染症を正しく理解することについて、継続的に伝えていく。					
							数値の指標	29	30	1	2	3
						市立小・中学校での、いじめ、暴力防止に向けた指導の実施	目標値	20	20	20	19	19
							実績値	20	20	20	19	
							目標値					
							実績値					
							目標値					
							実績値					
							目標値					
							実績値					

通し番号	38,39
------	-------

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	42 相談窓口の周知	関係各課	生活文化課
施策	2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援		43 複合的に困難を抱える人への支援		
取組の方向	2 安心して相談できる体制づくり		44 相談体制の整備		
(説明)	被害を潜在化させないよう、相談窓口・支援機関等の周知を図るとともに、被害者の置かれている状況や背景を理解しながら適切な対応ができるよう、相談機能の強化や連携体制の充実を図ります。				
		担当課			

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標													
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題		次年度の方向性・目標									
担当課	事業番号			担当課												
関係各課	38 42 43 44	<p>・配偶者暴力対策庁内連絡会を開催し、関係各課の相談対応やコロナ禍での各課の現状などについて情報を共有した。さらに、生活文化課と子ども家庭支援センター、婦人相談員などの担当者間で情報交換し連携を密にした。</p> <p>・生活文化課から発信される庁内職員向けニュースレターを通じて、各課で男女平等推進センターの相談事業について情報共有を行い、相談が必要な方を男女平等推進センターに繋いだ。</p> <p>・秘書広報課と生活文化課で連携し、毎月15日号の広報に内閣府相談事業「DV相談プラス」の情報を掲載した。</p> <p>・特別定額給付金の支給について、総務課給付金担当と生活文化課等で連携し、DV等で市内に避難している方々への制度説明、申請書類作成の支援などを行った。また、市ホームページやSNS、防災防犯課の安心くるめーるなども活用し、特別定額給付金の周知を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 コロナ禍でDV相談等の増加が見込まれる中、関係各課で情報共有を進めながら連携して対応することができた。</p>	38	複合的な困難を抱え、複数の課が相談や支援で関わっているケースも多くなっており、情報共有や連携の重要性を強く感じる。これまで以上に関係各課の連携を密にする必要がある。	相談体制を万全なものにするためにも配偶者暴力対策庁内連絡会の開催や相談担当職員間の情報共有の機会を増やしていく。	数値の指標									
							目標値	—	29	30	1	2	3	4		
							【参考数値】	実績値	278	244	228	集計中				
							目標値									
							実績値									
							目標値									
							実績値									
							目標値									
							実績値									
							生活文化課	39 42	<p>・全庁職員向けのニュースレターを発信して、内閣府相談事業の「DV相談プラス」や男女平等推進センターの女性の悩みごと相談、女性弁護士による法律相談等を紹介した。</p> <p>・男女共同参画情報誌「ときめき」の臨時増刊号「ときめきプラス」(6月、10月発行)で、女性の悩みごと相談力のウンセラーのコメントを掲載し、相談枠の拡充や電話相談の開始などを周知した。</p> <p>・秘書広報課と連携し、内閣府相談事業「DV相談プラス」の情報を毎月15日号の広報紙に掲載した。</p> <p>・「女性の悩みごと相談」、「DV相談プラス」、「内閣府 性暴力に関するSNS相談Cure Time(キュアタイム)」などの各種相談情報を市SNSで年間を通して繰り返し発信した。</p> <p>・健康課主催で行われた市民対象のゲートキーパー養成講座(自殺予防事業)に生活文化課職員が講師として登壇し、DVやデートDVの実態の説明や男女平等推進センターの専門相談やDV相談などを紹介した。</p> <p>・「女性に対する暴力をなくす運動期間」に合わせて開催した「心に響かせるDV根絶パネル展」で、DVIに関する相談カードやチラシなどを配布した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 情報誌、チラシ、広報紙、市ホームページ、SNSなど様々なチャンネルで情報の発信を行った。コロナ禍で内閣府が新たに設置した相談窓口についても年間を通して繰り返し周知することができた。</p>	39	コロナ禍の外出自粛などで、安心して相談できる場がなくなる中、様々なチャンネルで相談できることを周知していく必要がある。	この一年間で相談件数も増えており、年間を通して切れ目なく周知を行っていききたい。また、コロナ禍で新たに立ち上げられた相談事業もあるので、なるべく多くの相談事業を周知していききたい。	数値の指標		
【参考値】男女平等推進センター専門相談相談件数(件)	目標値	—	—	—	—											
実績値	162	160	168	221												
【参考値】男女平等推進センター専門相談実施枠数(件)	目標値	—	—	—	—											
実績値	189	189	204	288												
目標値																
実績値																
目標値																
実績値																

通し番号	40
------	----

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	事業	45 被害者や子どもの安全確保
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援		46 情報管理の徹底
取組の方向	3	被害者の安全確保のための体制整備		
(説明)	民間シェルターを含む関係機関と連携し、被害者の安全を確保できる体制を整備します。特に被害者情報については情報管理を厳重に行います。			
			担当課	関係各課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標								
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標			
担当課				担当課								
40		<ul style="list-style-type: none"> <li>配偶者暴力対策庁内連絡会を開催し、関係各課の相談対応やコロナ禍での各課の現状などについて情報を共有した。さらに、生活文化課と子ども家庭支援センター、婦人相談員などの担当者間で情報交換し連携を密にした。</li> <li>被害者からの相談があった場合には、相談員や担当課職員が連携し、適切な情報交換を行いながら対応にあたっている。また、緊急に安全確保が必要なケースについては、庁外の関係機関とも連携し、被害者の安全を確保できる体制を整えている。</li> <li>配偶者暴力、児童虐待、自殺、人権などの各研修に職員を派遣して、担当者の資質向上に努めた。</li> </ul>	評価 A  評価理由 関係各課で連携しながら被害者の安全確保を最優先に対応した。配偶者暴力対策庁内連絡会を開催し関係各課で情報共有を行うことができた。	40	複合的に困難を抱え、複数の課にまたがって相談・支援を受けるケースも多く、情報管理を徹底しながらも連携しながら対応する必要がある。				今後も配偶者暴力対策庁内連絡会を定期的に行い、関係各課間の連携を深めていきたい。			
関係各課	45 46			関係各課	数値の指標							
					29	30	1	2	3	4		
		配偶者暴力対策庁内連絡会の開催数	目標値		—	—	—	1	2			
			実績値		—	—	—	1				
			目標値									
			実績値									
			目標値									
			実績値									
			目標値									
			実績値									

通し番号	41
------	----

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	47 自立のための支援体制の整備		
施策	2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援				
取組の方向	4 自立のための支援体制の整備				
(説明)	被害者が自立し、安心して暮らしていくために、生活・就労・経済面での支援をするとともに、子どもを含む家庭に対する支援など、庁内・外の関係機関との連携により被害者の自立支援に努めます。				
		担当課	関係各課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
41			<ul style="list-style-type: none"> <li>配偶者暴力対策庁内連絡会を開催し、関係各課の相談対応やコロナ禍での各課の現状などについて情報を共有した。さらに、生活文化課と子ども家庭支援センター、婦人相談員などの担当者間で情報交換し連携を密にした。</li> <li>被害者の自立に向けては、庁内の関係各課だけでなく、就労や法律、子育てなど幅広い分野の行政機関や民間支援機関が関わってくる。各課で把握している支援情報を共有しながら、それぞれのケースに合った適切な支援を行った。</li> <li>男女平等推進センターの「女性の悩みごと相談事業」を関係各課窓口で適切に紹介、案内して、相談に繋げた。</li> </ul>	評価 A  評価理由 配偶者暴力対策庁内連絡会を開催し、相談・支援担当者間の情報共有を行うことができた。	41	関係各課	複合的な困難を抱えるケースも増えており、自立支援に向けたサポートも複数課にまたがって対応しなければならない。これまで以上に連携が必要になってくる。	次年度以降、配偶者暴力対策庁内連絡会の開催を定期的に行い、支援に携わる課の間で情報共有をこれまでより頻繁に行っていきたい。							
	関係各課	47					数値の指標		29	30	1	2	3	4	
							配偶者暴力対策庁内連絡会の開催数	目標値	—	—	—	1	2		
								実績値	—	—	—	1			
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							

通し番号	42,43
------	-------

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	48 関係機関との連携強化							
施策	2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援		49 庁内の相談・支援体制の整備と資質向上							
取組の方向	5 関係機関との連携強化及び庁内体制の整備									
(説明)	被害者の支援に関する連絡調整機能を充実していくために、庁内・外の関係機関との情報共有と連携強化を進めます。また、関連する職員・相談員の資質向上に努めます。									
		担当課	関係各課	生活文化課						

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標													
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標									
42	関係各課	48 49	<p>被害者の支援にあたっては、必要に応じて東京都や他市町村、警察や医療機関なども相互に情報共有や連携を取りながら行っている。</p> <p>関係各課においては、東京都などが主催する被害者支援に関する専門研修に職員を派遣することで、情報収集や職員の資質向上に努めている。</p> <p>配偶者からの暴力の防止及び被害者保護と支援の庁内連携を図るための配偶者暴力対策庁内連絡会に関係各課の担当係長・担当者が参加し、情報の共有、被害者を保護するにあたっての課題等について話し合った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 庁内・外の関係機関との相互連携、情報共有に努め、適切な被害者支援を行えた。被害者支援に関する研修等に職員を派遣するなど資質向上に努めている。</p>	42	関係各課	<p>警察や医療機関等の地域の関係機関との相互連携、情報共有については、関係各課それぞれで適切に行っている。令和2年度は配偶者暴力対策庁内連絡会を開催したが、来年度以降も継続し、庁内での情報共有を連携強化に努める。</p>	地域の関係機関との連携、情報共有については、十分に行っている部署とそうでない部署があるため、庁内全体での整備に努める。									
								数値の指標				29	30	1	2	3	4
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									
43	生活文化課	49	<p>配偶者からの暴力の防止及び被害者保護と支援の庁内連携を図るための配偶者暴力対策庁内連絡会を開催し、情報の共有、被害者を保護するにあたっての課題等について話し合った。</p> <p>被害者からの相談や支援にあたっては、庁内・外の関係機関と連絡を密に取りながら適切に対応した。</p> <p>東京ウィメンズプラザ等が実施するDV被害者への対応に関する研修に職員を派遣し、職員の資質向上に努めた。研修の中で具体的な相談・支援ケースについて講師から話を聞くことができ、実践的な学びの場となった。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 庁内・外の関係機関と連携を取りながら、被害者の相談・支援にあたることができた。研修に派遣することで、職員の資質向上に努めることができた。</p>	43	生活文化課	<p>被害者支援に携わる関係各課では、それぞれが庁内・外の関係機関との情報共有や連携に努めているが、さらなる連絡調整機能を図っていく必要がある。</p>	庁内・外の関係機関との情報共有と連携強化に努めるとともに、「配偶者暴力対策庁内連絡会」を定期的に開催し、庁内の相談・支援体制の整備を図る。									
								数値の指標				29	30	1	2	3	4
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									

通し番号	44,45
------	-------

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	事業	50 メディア・リテラシーの育成	生活文化課	指導室
施策	3	女性や子どもに対するあらゆる暴力の予防と根絶		51 暴力の未然防止のための啓発や情報提供		
取組の方向	1	性暴力や児童虐待、ストーカー被害の根絶に向けた防止等の啓発				
(説明)	性暴力や児童虐待、ストーカーやデートDVなど、女性や子どもに対するあらゆる暴力の防止について啓発していきます。					

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標										
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標					
44	生活文化課	50 51	<p>「女性に対する暴力をなくす運動期間」に合わせて、パネル展示で全国的に知名度・実績のあるNPO法人男女共同参画推進みなと製作のパネルを借用し、「心に響かせるDV根絶パネル展」を開催した。人権施策担当者とも連携し、相談カードやチラシなどの情報も配布した。また新たな取り組みとして、展示会場に見学者の意見投票やメッセージ投稿コーナーも設置した。</p> <p>・「心に響かせるDV根絶パネル展」開催期間中に、男女平等推進センター主催講座「女性のための護身法～わたしを守るわたしでありたい～」を開催した。新型コロナウイルス感染症対策の工夫をしながら、実演や実技を取り入れて行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた市内中学校への出前講座が実施できなくなったため、デートDV防止リーフレット「これって当たり前？」を作成し、市内中学校(学校法人自由学園も含む)の3年生全員に配布した。また、市ホームページでもダウンロードできるようにした。</p> <p>・健康課主催で行われた市民対象のゲートキーパー養成講座(自殺予防事業)に男女共同参画係の職員が講師として登壇し、DVやデートDVの実態の説明や男女平等推進センターの専門相談やDV相談などを紹介などを行った。</p> <p>・内閣府が発表した性犯罪・性暴力対策の強化の方針に合わせて、JKビジネス・AV出演強要問題の注意喚起、内閣府 性暴力に関するSNS相談「Cure Time(キュアタイム)」の紹介など、市SNSを通じて情報発信した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 今年度は、展示に力を入れ、予算を組み、DV根絶パネル展を企画・開催した。また、これまで手薄になっていた若年層向けとして、市内の中学3年生全員にデートDV防止リーフレットを配布することができた。</p>	44	生活文化課	<p>今回、市内の中学3年生全員にデートDV防止リーフレットを配布することができたが、直接働きかけて行く取り組みが必要である。</p>	内閣府の性犯罪・性暴力対策の強化の方針にもあるように、引き続き暴力の未然防止、特に若年層に向けた働きかけを強めていきたい。					
								数値の指標		29	30	1	2
【参考値】女性や子供に対する暴力を未然に防ぐための講座開催数							目標値	—	—	—	—		
							実績値	1	2	4	1		
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						
45	指導室	50	<p>・市立全小・中学校が人権教育の一環として、「女性」「子供」等を取り上げ、あらゆる暴力行為について認められないことを指導した。</p> <p>・小・中学校における性教育については、学習指導要領に基づいて実施しているため、性暴力や児童虐待、ストーカーやデートDV等について、各教科等の特性に関連付けた指導を実施した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 全市立小・中学校で適切に実施している。</p>	45	指導室	<p>・学習指導要領において取り扱うこととなっていないデートDV等への具体的な指導については、どのように対応していくか更に研究を進める必要がある。</p> <p>・あらゆる暴力の防止に向けて、引き続き啓発を図る必要がある。</p>	・市立全小・中学校で暴力防止に向けた指導を引き続き実施する。 ・情報そのものを主体的に収集・判断等できる能力及びインターネットをはじめ様々なメディアが社会や生活に及ぼす影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力を育成することにより、情報教育の推進を図る。同時に、情報モラル教育をより充実させる。					
								数値の指標		29	30	1	2
市立全小・中学校で暴力防止に向けた指導の実施(20校→19校)							目標値	20	20	20	19	19	
							実績値	20	20	20	19		
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	事業	52 ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供		
施策	4	ハラスメント等の防止対策の推進				
取組の方向	1	ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供				
(説明)	市内事業所に向け、ハラスメント防止に受けた啓発や情報提供を行います。			担当課	産業政策課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標										
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標						
46	産業政策課	52	<p>・国や東京都が実施する事業についての周知のほか、労働環境や法律・制度、ワーク・ライフ・バランス等のチラシやリーフレットを窓口にて配置した。</p> <p>・ハローワークや東京しごとセンター多摩と共同で行う就職面接会などの多くの事業者が集まる機会に、法制度や働き方等に係る様々な資料を配布し、情報提供を行った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 限られた機会を、有効に活用したが、新型コロナウイルス感染症の影響により情報提供回数が増えたため。</p>	46	産業政策課	<p>多くの事業者が集まるその他の機会を活用し、更なる情報提供に努めること。</p>	今年度と同様に、チラシによる周知と共に様々な機関と連携し、情報提供に努める。						
								数値の指標		29	30	1	2	3
							情報提供回数	目標値	3	3	3	3		
								実績値	2	4	2	1		
							情報提供企業	目標値		25	30	15	15	
								実績値	15	41	15	8		
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						
47	生活文化課	52	<p>・使用者、企業の人事・労務管理担当者向けに、東京都労働相談情報センター共催事業「令和2年度男女雇用平等セミナー I 企業に求められるLGBTへの理解と対応～誰もが働きやすい環境づくりのために～」を実施し、LGBTを取り巻く状況や労務管理上の課題や対応方法について学んでもらった。</p> <p>・東京都総務局人権部主催の「性自認及び性的指向に関する企業研修LGBTも働きやすい職場づくり」のチラシを男女平等推進センターに配架及びSNSで情報発信するとともに、産業政策課にも情報提供した。</p> <p>・東京都労働相談情報センターとの共催事業「職場のハラスメントの予防と対処法～パワハラ防止措置の義務化等 法整備の動向を踏まえて～」を実施する予定で、チラシの配架、SNSで情報発信を行っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、直前で中止となった。</p> <p>・国、東京都、他市区町村、専門機関等が実施するハラスメント防止に関する講座等について、男女平等推進センターにチラシ等を配架した。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 専門機関と共催で講座を実施することはできたが、市内事業者からの出前講座の応募は無く、ハラスメント防止講座の開催にはつながらなかった。</p>	47	生活文化課	<p>出前講座の周知について、市内事業所向けのPRを強化していく必要がある。その際には、他課、他機関との連携を検討する必要がある。</p>	出前講座については、引き続き事業所用チラシを作成するとともに、産業政策課や商工会と連携しながら、より丁寧な周知に努める。						
								数値の指標		29	30	1	2	3
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						
								目標値						
								実績値						

通し番号	48
------	----

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	53 ジェンダー平等を推進するための啓発		
施策	5 性を理解し、自他を尊重するための教育の実施				
取組の方向	1 性別による役割分担意識解消のための啓発				
(説明)	性別役割分担意識から抜け出し、男女が互いを尊重し、ともに自立し、社会的な責任を果たしていくことができるよう、さまざまな機会を通じて意識啓発を行います。				
		担当課	生活文化課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標										
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標					
48		<p>・市役所1階屋内ひろばと2階男女平等推進センターにおいて、男女共同参画週間展示を開催した。男女共同参画週間キャッチフレーズが「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワクワク・ライフ・バランス」であったため、内閣府のポスター「男性の暮らし方・意識が変われば日本も変わる」の掲示や男性の家事・育児・介護等に関連した統計や図書の紹介、図書リストの配布等を行った。</p> <p>・男女共同参画週間に合わせ、広報紙や市ホームページ、フェイスブックやツイッターなどのSNSでも情報発信を行った。</p> <p>・国際女性デーにちなみ、女性の歴史を振り返り、自分自身のこととして男女共同参画への理解を深め、ジェンダー平等への意識を育む目的として、パネル展示と図書展示を開催した。パネル展示では、女性の政治参画マップ、諸外国における政治分野の男女共同参画のための取り組み等を紹介した。</p> <p>・映画を鑑賞し感想を語り合い(令和2年度は感想を発表)、ジェンダー平等や男女共同参画について理解を深める「シネマdeおしゃべり」を開催した。今年度は国際女性デーに合わせ、昨年9月に亡くなったアメリカ最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバーグの男女差別と闘う感動の物語「ビリーブ 未来への大逆転」を上映した。</p> <p>・市ホームページに男女共同参画に関する図書リストのコーナーを作成し、「男性の家事・育児等参画促進に関する図書リスト」を掲載するとともにSNSでも周知した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 広報紙への掲載、パネル・図書展示、講座など様々な側面から取り組みができた。また、市ホームページに図書リストのコーナーを作成し、テーマに沿った書籍紹介をするなど、新たな取り組みも行えた。</p>	48	ジェンダー平等、特に性別役割分担意識については、若年層への取り組みが重要である。				若年層への取り組みについては、出前講座などアウトリーチの仕組みを活用しながら取り組みを進めていきたい。					
	生活文化課	53			数値の指標									
							29	30	1	2	3	4		
					【参考値】性別だけで役割や向き不向きを決める考え方に反対またはどちらかという反対と考える人の割合(%)	目標値	—	—	—	—				
						実績値	53.3%	49.9%	60.9%	未実施				
						目標値								
						実績値								
						目標値								
						実績値								
						目標値								
						実績値								

通し番号	49
------	----

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	再31 発達段階に応じた適切な性教育の推進(再掲)		
施策	5 性を理解し、自他を尊重するための教育の実施				
取組の方向	2 発達段階に応じた適切な性教育の実施				
(説明)	ライフステージに応じた望ましい生活習慣や健康づくりの促進に向け、発達段階に応じた適切な教育・指導を行います。				
		担当課	指導室		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題		次年度の方向性・目標					
担当課	再31			担当								
49	再31	小学校理科「動物の誕生」において卵の成長の観察を学習する中で魚には雌雄があり体の形状が異なること、小学校体育科「体の発育・発達」の思春期の体の変化及び中学校保健体育科「心身の機能の発達と心の健康」の成熟に伴う変化に対応した適切な行動、中学校家庭科の自分の成長と家族・家庭生活など、学習指導要領に則り、発達段階に応じた適切な性教育が計画・実施された。	評価 A  評価理由 全市立小・中学校において適切に実施している。	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に則り、引き続き、発達段階に応じて発生する性差に配慮しながら適切に性教育を行う。</li> <li>小学校理科、体育科及び中学校家庭科、保健体育科の更なる授業改善を進め、発育や発達に個人差があることや精神と身体は相互に影響があることなど、児童・生徒により正しい知識と健全な態度が確実に身に付くよう授業の充実を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、小学校理科、体育科及び中学校家庭科、保健体育科の年間指導計画に位置付け、適切に実施する。</li> <li>指導内容、結果について検証し、小学校理科において人の受精に至る過程は取り扱わないなど配慮事項を確認しながら授業改善を行う。</li> </ul>					
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
					市立全小・中学校における発達段階に応じた性教育の実施	目標値	20	20	20	19	19	
						実績値	20	20	20	19		
						目標値						
						実績値						
						目標値						
						実績値						
						目標値						
						実績値						

通し番号	50
------	----

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	事業	再32 HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実(再掲)		
施策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施				
取組の方向	3	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実				
(説明)	HIV／エイズや飲酒・喫煙・薬物の問題などについて、発達段階に応じた教育を充実します。			担当課	指導室	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標																																																																															
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標																																																																										
50		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育科及び中学校保健体育科でHIV／エイズや性感染症の危険性及びその予防に関する教育を行った。</li> <li>・全小・中学校で薬物乱用防止教室を実施し、薬物乱用防止教育の推進を図った。</li> <li>・例年、全小学校で小学校4年生を対象に、健康課の「禁煙キャラバン」を実施し、喫煙防止教育の推進を図っているが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、実施できなかった。</li> </ul>	評価  A  評価理由 「薬物乱用防止教室」について、年間指導計画に基づいて実施した。	50	・小学校体育科及び中学校保健体育科の授業改善を行い、児童・生徒により正しい知識と健全な態度が身に付くよう授業の充実を図る。 ・学習指導と併せて異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択など保健指導の充実を図る必要がある。				地域など外部人材を活用した事業実施を引き続き行う。																																																																										
	再32			指導室	数値の指標 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td></td> <td>29</td> <td>30</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">「禁煙キャラバン」「薬物乱用防止教室」等の実施(20校)</td> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>19</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						29	30	1	2	3	4	「禁煙キャラバン」「薬物乱用防止教室」等の実施(20校)	目標値	20	20	20	19	19		実績値	20	20	20	19				目標値								実績値								目標値								実績値								目標値								実績値										
		29	30	1	2	3	4																																																																												
「禁煙キャラバン」「薬物乱用防止教室」等の実施(20校)	目標値	20	20	20	19	19																																																																													
	実績値	20	20	20	19																																																																														
	目標値																																																																																		
	実績値																																																																																		
	目標値																																																																																		
	実績値																																																																																		
	目標値																																																																																		
	実績値																																																																																		

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	事業	54 女性の人権を守る相談体制及び各種相談事業の充実	生活文化課	児童青少年課	関係各課
施策	6	困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援		55 相談体制及び各種相談事業の充実			
取組の方向	1	ひとり親家庭への支援					
(説明)	生活の自立と安定を図るため、生活・就労・養育等において、さまざまな課題を抱えやすいひとり親家庭等に対し、各家庭の状況に応じた支援を提供します。						

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標													
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標									
51	生活文化課	54	<p>・男女平等推進センター主催講座「シングルマザー応援講座『ひとりで悩まないで！～知っておきたい支援や制度、相談窓口』」を開催した。NPO法人しんぐるまごーず・ふぉーらむ理事長の赤石千衣子氏を迎え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、ひとり親世帯の困窮が懸念されている中、活用できる制度、相談窓口、当事者のネットワークなどの情報を提供した。</p> <p>・女性の悩みごと相談事業(週1回実施)については、東京都の交付金を活用し、6月より1日あたりの相談枠を3枠から5枠に拡充した。新型コロナウイルス感染症対策として、電話相談を基本としたが、自宅から電話をかけづらい方に配慮して、市役所の相談室を2か所使用して、カウンセラーと相談者を内線電話で繋ぐ方式を取り入れた。</p> <p>・女性弁護士による法律相談(月1回実施)については、従来の相談時間60分を45分に短縮し、1日あたりの相談枠を3枠から4枠に増やし対応した。5月と6月については新型コロナウイルス感染症の影響により相談は中止となった。</p> <p>・東京都ひとり親家庭支援センターはあと・はあと多摩の情報誌やその他支援団体の講座のチラシなどを配架し、周知を行った。</p> <p>・公共施設が閉鎖される年末年始に備えて、年末年始でも相談できる公共機関の窓口を市SNSに掲載し、住居、就労、生活、DVなど様々な相談情報を発信した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 女性の悩みごと相談については、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、相談枠を拡大して通年事業を実施することができた。また、シングルマザー向けの講座を開催し、活用できる制度、相談窓口などの情報提供を行うことができた。</p>	51	生活文化課	<p>女性の悩みごと相談の相談枠拡充に使用した東京都の交付金は令和2年度限定のため、令和3年度以降の相談枠をどのように確保していくかが課題である。</p>	<p>令和3年度の女性の悩みごと相談の相談枠については、1日当たり4枠を確保している。コロナ禍で相談ニーズは高止まりしており、その動向を注視して対応する必要がある。</p>									
								数値の指標		29	30	1	2	3	4		
							【参考値】女性の悩みごと相談(件数)	目標値	—	—	—						
								実績値	127	126	134	182					
							【参考値】女性弁護士による法律相談(件数)	目標値	—	—	—						
								実績値	35	34	34	39					
								目標値									
								実績値									
								目標値									
								実績値									
52	児童青少年課	55	<p>・子ども家庭支援センターは、地域における子育て支援の拠点として、子育てに対する情報提供や相談、支援を適宜行った。気軽に相談できる相談員が常駐しており、必要に応じて他機関の相談窓口の紹介をおこなった。また、定期的な育児講座の実施や地区組織活動の支援により、地域の子育て力の向上を目指している。</p> <p>・母子・父子自立支援員がひとり親家庭等に対して経済的なこと、家族関係に関わること、精神面での悩みなど生活全般について相談を受け、助言や各種制度の紹介、専門窓口との連携によりひとり親家庭等の自立の支援を行っている。</p> <p>・児童館職員は、児童館の利用者や保護者からの相談に随時応じている。児童館職員は、相談の専門家でないため、相談の内容に報じて各関係機関に繋げる役割を担っている。日常の利用の中で相談しやすい雰囲気を意識している。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 助成支援係では、相談員が常駐することにより相談体制が確保され、迅速な対応を取ることが出来ている。児童館では、日常の利用時や各行事を通じて職員が相談しやすい雰囲気を意識して対応している。</p>	52	児童青少年課	<p>子ども家庭支援センターは、地区組織活動の支援も行っているが近年子育てサークルの立ち上げ等は少ないため積極的な働きかけが必要である。</p> <p>助成支援係は、相談内容が多岐に渡ることから、関連する各種制度について習熟していく必要がある。</p> <p>DVの相談を受ける機会があり、その際の対応や情報の取り扱いには十分な注意が必要となる。</p>	<p>子ども家庭支援センターでは、引き続きセンターの周知を行い、利用者の増加を図り身近な相談窓口として多くの市民に認識してもらうようにする。</p> <p>助成支援係では、ひとり親家庭等の抱える課題を正確に把握するため、引き続き母子・父子自立支援員による相談対応を丁寧に行っていく。</p>									
								数値の指標		29	30	1	2	3	4		
							子ども家庭支援センター利用者数	目標値	7,500	7,600	8,100	7,600					
								実績値	7,827	8,863	7,412	2,190					
							地域子ども家庭支援センター上の原利用者数	目標値	7,000	7,100	6,000	6,000					
								実績値	7,744	5,811	7,694	6,155					
							地域子育て支援センターはこぶね館利用者数	目標値	1,500	1,600	2,800	800					
								実績値	1,676	2,727	732	581					
							母子・父子自立支援員の相談回数	目標値	750	750	750	750					
								実績値	734	785	678	767					
								目標値									
								実績値									

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	担当課								
関係各課	53	<p>・ひとり親家庭からの相談については生活・就労・養育等、さまざまな課題が含まれていることが多いため、必要に応じて関係する各課が連携して適切に対応にあたっている。</p> <p>・関係各課では、庁外の支援団体等の情報を収集するなどし、相談事業の充実を図っている。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 関係各課では、ひとり親家庭からの相談に対し、相談内容に適した案内や支援をするなど、適切に支援を行った。</p> <p>庁内だけでなく外部の相談機関について案内するなど、事業の充実に努めた。</p>	53	<p>ひとり親家庭の生活の自立と安定を図るためには、各々の抱える課題を的確に把握し、相談者が求める支援を提供することが重要である。相談内容が多岐に渡るため、関係各課が常に連携し対応していく必要がある。</p>	関係各課それぞれが持っている情報をお互いに共有し合い、相談者が求める情報や支援を適切に行っていく。また、庁外の関係機関からの情報も積極的に収集し、支援に役立てていく。							
	数値の指標					29	30	1	2	3	4		
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	事業	56 相談体制及び各種相談事業の充実		
施策	6	困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援		57 自立した生活を送るための就労支援の推進		
取組の方向	2	若年者、高齢者、障害者、外国人等、困難を抱える女性が安心して暮らせるための支援		58 子ども、若者の自立に向けた力を高める取り組み		
				59 若年層を対象とした啓発		
(説明)	だれもが地域で自立し、安心して暮らせるよう、各種相談支援の充実を図るとともに、相談機関の周知や連携を進めます。		担当課	指導室	生活文化課	福祉総務課
				障害福祉課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
54	指導室	58	<p>・全校がキャリア教育の全体計画及び年間指導計画を見直し実施した。各校で地域と連携した学習指導や取組を実施している。</p> <p>・自分の将来の姿を明らかにし、現在の取組を記録するキャリア・パスポートの導入年度であったが、児童・生徒がキャリア・パスポートに記録をすることは、将来に向けた自立を意識することにつながった。</p> <p>・学校やSSWを通じて保護者に中央相談室・滝山相談室を紹介するとともに、必要に応じて指導室と相談室が情報を共有し、円滑に相談業務が進むようにした。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由</p> <p>計画的に実施している。</p>	54	指導室	<p>・子供たちが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を身に付けられるようなキャリア教育を実施する。</p> <p>・キャリア・パスポートの視点における小・中連携の在り方について研究する。</p>	各学校における特色や地域の実情を踏まえつつ、子供たちの発達段階にふさわしいキャリア教育を推進・充実させる。							
								数値の指標			29	30	1	2	3
						家族の在り方や地域との関わりについて学習指導を行っている学校		目標値	20	20	20	19	19		
								実績値	20	20	20	19			
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							
55	生活文化課	59	<p>・女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)に合わせ、主催講座「女性のための護身法～わたしを守るわたしでありたい～」を開催した。護身法関連の講座は、毎年度開催しているが、若年層も参加できるように対象年齢を16歳以上として募集した。16名が参加したが、若年層の参加は無かった。</p> <p>・ひきこもりなどの生きづらさを抱えた女性向けの事業「つながるカフェ」では、若年層の参加もあり、相談窓口や安心できる居場所の紹介なども行っている。定期開催に向けて調整を行い、2月から継続して開催できるようになった。また、ひきこもり当事者や家族のためのリーフレット「地域資源ブックマーク東久留米エリア版」に男女平等推進センターの情報を掲載してもらい、周知することができた。</p> <p>・市内の中学校(自由学園も含む)3年生にデートDV防止リーフレット「これって当たり前？」を作成・配布した。このリーフレットで、どのようにしてデートDVが起こるか、どのような行為が暴力に当たるか等を解説し、相談窓口を紹介した。</p> <p>・JKビジネス・AV出演強要啓発、性暴力SNS相談事業「Cure Time(キュアタイム)」など若年層に対する性犯罪・性暴力に関する啓発、相談窓口の周知などを広報紙、SNS等で行った。</p> <p>・中央中学校の新任研修(2名)の一環として、男女共同参画に関する研修を男女平等推進センターで実施し、研修の中でデートDVに関する説明を行った。また、中央中学校の職業講話に男女共同参画係の職員が登壇し、男女平等推進センターの相談事業の紹介を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由</p> <p>コロナ禍で参加者を集めにくかったり、中止せざるをえなかったりと難しい環境の中、事業を着実に進めてきた。</p>	55	生活文化課	<p>ひきこもりなどの生きづらさを抱えた女性向け事業は、若年層当事者の居場所のほか、相談窓口などの情報提供や啓発を行う場としても重要な意味を持つため、参加者の増減に関わらず定期的に継続して行う必要がある。</p>	ひきこもりなどの生きづらさを抱える方向けの事業「つながるカフェ」では、参加者を相談事業に繋げるなど、事業間連携の好事例も出ていることから、引き続き取り組みを進めていきたい。							
								数値の指標			29	30	1	2	3
						【参考値】ひきこもりなどの生きづらさを抱えた女性向け事業の実施数		目標値	—	—	—	—			
								実績値	1	4	3	4			
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							
								目標値							
								実績値							

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標																																																																																		
担当課	事業番号			担当課	通番																																																																																				
福祉総務課	56	<p>・従前より関係部署に対して相談事業の内容の周知に努めるとともに、支援対象者の把握に向けたアウトリーチ機能を高めている。DV被害者ケースなどは母子相談員と連携して支援することができている。また、心的外傷等により特定の職員による対応が難しい場合には、円滑に対応できる職員が対応する等、性別にかかわらず相談しやすい体制を取っている。</p> <p>・ハローワークを活用した就労支援を生活保護世帯及び生活困窮者世帯に対して実施しており、母子世帯・父子世帯に関わらず、世帯の自立のために早期の支援体制を組めるように配慮するとともに、母子相談員が関わるケースからの相談についても、円滑な対応を図っている。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 生活に困窮する母子世帯の相談窓口として、他機関とも連携しながら引き続き対応しているが、ひとり親世帯の自立に向けた就労支援については、保育の問題をはじめとした就労阻害要因の解決を横断的な視点で同時並行的に行わなければならない、より一層の円滑化と迅速な対応が望まれるため。</p>	56	<p>保育園の入園や各種手当の手続等、必要な支援を行ったうえで、早期の自立を目指して円滑に就労支援に繋げる。また、引き続き他機関とも連携していく必要がある。</p>	<p>・相談に繋がる件数の増加を目指し、他機関とも情報共有しながらアウトリーチを行っていくとともに、当課から母子相談員への連携を引き続き図っていく。</p> <p>・就労阻害要因の解決に向けて、ケースワーカーや就労支援員が必要な支援を行い、ハローワークを活用した就労支援の増加を図るとともに、活用可能な他施策の案内に努めていく。</p>																																																																																			
	57			福祉総務課	56	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">生活保護相談件数のうち母子世帯の件数(延べ件数)</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>3</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自立相談支援のうち母子世帯の相談件数(実件数)</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生活保護受給者等就労自立促進事業に繋いだ母子世帯の数</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	生活保護相談件数のうち母子世帯の件数(延べ件数)	目標値			22	22	22	22	実績値	23	22	3	4			自立相談支援のうち母子世帯の相談件数(実件数)	目標値			10	10	10	10	実績値	8	10	9	12			生活保護受給者等就労自立促進事業に繋いだ母子世帯の数	目標値			10	10	10	10	実績値	13	9	23	6			目標値								実績値								目標値								実績値					
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																																		
生活保護相談件数のうち母子世帯の件数(延べ件数)	目標値			22	22	22	22																																																																																		
	実績値	23	22	3	4																																																																																				
自立相談支援のうち母子世帯の相談件数(実件数)	目標値			10	10	10	10																																																																																		
	実績値	8	10	9	12																																																																																				
生活保護受給者等就労自立促進事業に繋いだ母子世帯の数	目標値			10	10	10	10																																																																																		
	実績値	13	9	23	6																																																																																				
目標値																																																																																									
実績値																																																																																									
目標値																																																																																									
実績値																																																																																									
障害福祉課	57	<p>・就労支援室「さいわい」「あおぞら」の設置により障害者の一般就労に関する相談支援体制を強化し、新規就労者の増加につなげている。また、就労継続のために定着支援も行き、就労の定着に力も入れている。</p> <p>・就労相談・就労支援の担当に女性職員が配置されており、女性も利用しやすい環境に配慮している。</p> <p>・障害特性に合わせた幅広い働き方ができるよう他団体と連携し、短時間勤務の地域開拓を進めている。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 障害者に対する就労支援には、男女の特性はもちろんのこと、障害の種類や程度、また本人の適性を把握しながら、適切な職場とマッチングさせる必要がある。また同時に、就労を継続していくための定着支援の充実や、地域での就労先の新規開拓が必要となるが、そのどちらもが十二分に行えている状況ではないため。</p>	57	<p>・各就労支援関係機関の連携や情報共有のためのネットワークの強化</p> <p>・地域での職場体験の場や就労先の開拓</p>	<p>・市内企業に障害者雇用についてより一層理解を深め、雇用に向けたきっかけを作る。また、職場体験の場として実習生を受け入れてくれる企業を探し働きかけを行う。</p>																																																																																			
	60			障害福祉課	57	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">相談支援件数</td> <td>目標値</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2,986</td> <td>3,823</td> <td>3,487</td> <td>3,030</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">相談者のうち一般就労した人</td> <td>目標値</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>26</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	相談支援件数	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	実績値	2,986	3,823	3,487	3,030			相談者のうち一般就労した人	目標値	29	30	30	30	30	30	実績値	29	34	31	26			目標値								実績値								目標値								実績値								目標値								実績値				
数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																																		
相談支援件数	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000																																																																																		
	実績値	2,986	3,823	3,487	3,030																																																																																				
相談者のうち一般就労した人	目標値	29	30	30	30	30	30																																																																																		
	実績値	29	34	31	26																																																																																				
目標値																																																																																									
実績値																																																																																									
目標値																																																																																									
実績値																																																																																									
目標値																																																																																									
実績値																																																																																									

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	61 防災活動への男女共同参画の推進		
施策	7 男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり				
取組の方向	1 防災分野における男女共同参画の啓発				
(説明)	災害用備蓄品の準備など、日頃の防災対策に男女双方の視点を活かすとともに、災害時には男女の異なったニーズを把握した避難所運営ができるよう対策を進めるため、女性防災リーダー育成のための取り組みを行います。	担当課	防災防犯課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題		次年度の方向性・目標					
担当課	事業番号			担当課								
防災防犯課	58	<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、訓練や、避難所運営連絡会等の防災活動は大幅な制限を余儀なくされた。したがって令和2年度については、地域において女性防災リーダー育成にかかわる取り組みは実施できなかった。</p> <p>・課では、国立女性教育会館主催のオンライン研修「男女共同参画の視点による災害対応研修」を職員が受講した。男女共同参画の視点に立った防災事例の学習機会を得、生活文化課とも情報交換を行うことができた。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 新型コロナウイルス感染症が拡大し、各種の防災活動に大幅な制限が加わっていることから、防災女性リーダーの取り組みについては進展はなかったが、生活文化課、男女平等推進センターと合同で研修を受け、その後、意見交換を行うことができた。</p>	58	女性リーダーが活動できる地域防災力の基盤の強化が今後の課題である。	新型コロナウイルス感染症の感染の鎮静化の状況をみながら、地域防災力強化の取り組みを再開させ、その中の取り組みの一つとして女性リーダーの取り組みを進めたい。						
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
		61			防災防犯課	目標値						
						実績値						
						目標値						
						実績値						
						目標値						
						実績値						
						目標値						
						実績値						
生活文化課	59	<p>・ひばりが丘団地自治会に対し、出前講座「知ろう防災、楽しく学ぼう〜いざという時にあなたにできること」を実施した。自治会関係者の他、URや地域活動団体の参加もあった。防災に関する実用的な知識だけではなく、避難所で起こりうる性被害の問題など男女共同参画の視点に立った防災の重要性を学習する機会となった。</p> <p>・防災防犯課職員とともに、国立女性教育会館主催のオンライン研修「男女共同参画の視点による災害対応研修」を受講した。男女共同参画の視点に立った防災の必要性や、先進地域や好事例について学習した。また防災防犯課職員と防災事業に関する現状説明や意見交換などを行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年参加している防災訓練への男女共同参画ブースの出展などはできなかった。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 多くの参加者が集まる防災訓練での周知はできなかったが、自治会への出前講座を実施することができた。また、防災防犯課職員とともに研修を受講し、しっかりと意見交換ができた。</p>	59	出前講座でも「防災」は人気のテーマであり、市民の関心も高いが、若い世代を巻き込むことができていない。また今後、女性防災リーダーの育成にも繋げていく必要がある。	若い世代を参加者を増やしていくために、オンライン講座等の検討をしていきたい。また、女性防災リーダーの育成のためには、継続的な支援が必要であるため、防災防犯課と連携を深めていきたい。						
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
		61			生活文化課	【参考値】防災関連講座開催数	目標値	—	—	—	—	
						H29は沿線3市事業含む	実績値	8	4	2	2	
						【参考値】防災関連の非主催事業への協力	目標値	—	—	—	—	
							実績値	0	1	2	0	
						目標値						
						実績値						
						目標値						
						実績値						

通し番号	60
------	----

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	事業	62 防災分野の意思決定への女性の参画拡大		
施策	7 男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり				
取組の方向	2 防災分野における女性活躍の推進				
(説明)	防災分野の意思決定段階への女性の参画を拡大するため、審議会委員等における女性比率の向上に努めます。				
		担当課	防災防犯課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標										
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標				
60		<p>・市の防災施策は、東久留米市防災会議が定める地域防災計画をもとに実施している。防災会議では、女性の視点を防災の施策に反映できるよう、学識経験者等の選出枠の中から女性委員を積極的に委嘱する取り組みを行っている。</p> <p>・消防団として女性消防団員の加入促進を実施していくにはいくつかの検討課題がある。主たるものとして、①女性消防団員としての平常時及び災害時の活動内容について ②消防団施設の改修等受け入れ態勢の拡充 等があり、受け入れについて現在検討中である。今後も調査・研究していく。</p>	<p>評価</p> <p>C</p> <p>評価理由 防災分野における女性の参画が進んでいない。</p>	60	<p>今後も、条例の範囲内で防災会議に女性委員として委嘱できるよう取り組みを続ける。消防団に女性を参画させるための、調査研究については引き続き行っていく。</p>	<p>防災施策全般に女性の視点を取り入れていく一方で、あらゆる防災分野で、女性の参画を推進していく必要がある。防災会議及び消防団等、男性が主となりやすい分野ではあるが、担当課で可能な範囲で、避難所運営等も含め女性の参画を促していく。</p>							
	62				数値の指標		29	30	1	2	3	4	
					防災会議委員における女性の割合	目標値							
						実績値	13.6	9	9	9			
					女性消防団員数	目標値							
						実績値	0	0	0	0			
						目標値							
						実績値							
						目標値							
						実績値							

目標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備	事業	63 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実		
施策	1	男女共同参画社会に対する理解促進		64 啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実		
取組の方向	1	男女共同参画の正しい理解の促進		65 男女共同参画に関する資料の提供		
(説明)	市民一人ひとりが、その多様性を認め合える社会に向け、さまざまな手段による広報・啓発活動を行うとともに、男女共同参画の視点から市刊行物等への配慮を進めます。			再53 ジェンダー平等を推進するための啓発(再掲)		
			担当課	生活文化課	秘書広報課	図書館

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標																																																																															
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標																																																																									
担当課	事業番号			担当課																																																																														
生活文化課	61	<p>・令和2年度より市内職員向けニュースレターを年4回発行し、男女共同参画に関する情報提供を行った。今年度は男女共同参画都市宣言20周年を迎えたことから、都市宣言の紹介や関連事業の案内を行った。</p> <p>・男女共同参画週間(6月23日から29日)について、令和2年度は「わくわくワークライフバランス」をテーマに展示、図書展示を行った。テーマに沿って男女平等推進センターが所蔵する図書を紹介したり、「男性の暮らし方・意識が変われば日本も変わる」(内閣府)等のワークライフバランス関連資料を展示した。</p> <p>・男女共同参画都市宣言20周年を記念して、10月に20周年記念展示、12月にパネルディスカッションとワークショップ「誰もが輝く社会をめざして～男女共同参画から多様性を考える～」を開催した。事業については広報紙1面に掲載され、事業の案内だけでなく、男女平等推進センターの紹介も掲載された。学校法人自由学園の男子部教諭と多様性ゼミの生徒に事業・記録集の作成について協力してもらい、記録集は、参加者に配布されたほか、ホームページでも閲覧・ダウンロードできるようにした。</p> <p>・公募の市民編集員が取材・編集に携わる男女共同参画情報誌「ときめき」(年2回発行)は、新型コロナウイルス感染症の影響により年1回の発行となったが、発行できなかった期間に事務局作成の臨時増刊号「ときめきプラス」を発行した。3月に発行された65号では、男女共同参画都市宣言20周年記念事業の様子を取材し、パネルディスカッションの様子や質疑応答、個人ワークで出た意見などを紹介した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 令和2年度より、市内向けニュースレターを発行することができた。また、コロナ禍ではあったが、が学校法人自由学園と連携して男女共同参画都市宣言20周年パネルディスカッション等の事業も開催することができた。</p>	61	<p>男女共同参画都市宣言20周年記念事業では、宣言の起草委員や自由学園の多様性ゼミなどさまざまな団体や個人と繋がる事ができた。この繋がりを広げて行く必要がある。</p>	<p>男女共同参画の理解を広めていくには、これまでに関わってきた人々も含めて、連携の輪を広げて行く必要がある。個々の周知活動も重要であるが、その積み重ねでできた繋がりが・ネットワークを活かしていきたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市広報誌への男女共同参画情報の掲載数(講座情報を除く)</td> <td>目標値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市内向けニュースレターの発行数</td> <td>目標値</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>未設定</td> <td>未設定</td> <td>0</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				数値の指標		29	30	1	2	3	4	市広報誌への男女共同参画情報の掲載数(講座情報を除く)	目標値	2	2	2	2	2	2		実績値	2	2	2	2			市内向けニュースレターの発行数	目標値	未設定	未設定	1	1	1	1		実績値	未設定	未設定	0	4				目標値								実績値								目標値								実績値						
	数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																										
	市広報誌への男女共同参画情報の掲載数(講座情報を除く)	目標値	2	2	2	2	2	2																																																																										
	実績値	2	2	2	2																																																																													
市内向けニュースレターの発行数	目標値	未設定	未設定	1	1	1	1																																																																											
	実績値	未設定	未設定	0	4																																																																													
	目標値																																																																																	
	実績値																																																																																	
	目標値																																																																																	
	実績値																																																																																	
秘書広報課	62	<p>・例年と同様、男女共同参画社会についての幅広い理解と促進に向けて、広報紙・ホームページなどの編集に取り組んだ。内閣府の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」をもとに、視点差別が生じないよう配慮を徹底した。また、男女双方を想定した情報発信を基本的取組事項として事業を行った。その他、2年度は広報紙において、生活文化課より「内閣府DV相談+」の周知に関する相談があり、6月1日号以降、基本的に毎月15日号に枠を設けて周知を図った。</p> <p>・多様な受け手に届くように職員CMS研修をアクセシビリティを中心にを行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、自席の情報系パソコンにて動画の視聴等を通して受講する方法で開催した。前年度同様に生活文化課から「男女共同参画の視点からもう一度見直しを」という資料を提供してもらい、それを同研修の研修資料として位置づけて、アクセシビリティとともに男女共同参画の視点をもってホームページを作成してもらうように、より促した。またSNS(市公営ツイッター・フェイスブックなど)での情報提供についても、引き続き実施した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 職員CMS研修において、男女共同参画の視点をもってホームページを作成することを、より促すことができた。また、広報紙においても新たな取り組みを実施したことにより、昨年度設定した目標をより具体的な形で達成することができた。</p>	62	<p>多様な受け手に届くようにするには、職員各自のアクセシビリティ等への意識の向上が欠かせない。</p>	<p>今後も継続してCMS研修を実施し、アクセシビリティ等向上に取り組む。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値の指標</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				数値の指標		29	30	1	2	3	4		目標値								実績値								目標値								実績値								目標値								実績値								目標値								実績値						
	数値の指標		29	30	1	2	3	4																																																																										
		目標値																																																																																
	実績値																																																																																	
	目標値																																																																																	
	実績値																																																																																	
	目標値																																																																																	
	実績値																																																																																	
	目標値																																																																																	
	実績値																																																																																	

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	通番								
図書館	63	<p>・収集方針に基づき、多様な人々に対応した様々な形態の資料を収集・提供するとともに、多様な意見のある事柄については、それぞれの観点に立ち資料を収集している。</p> <p>・男女平等推進センター購入本の蔵書検索を可能にするため、資料データを作成し、図書館ホームページで公開している。</p> <p>・各種資料作成や情報発信、選書等においては、意識的に内容を確認するよう図書館職員の意識啓発に努めた。</p> <p>・ユニバーサルデザイン(UD)の考え方を中央図書館の大規模改修工事に反映させ、環境整備において一定の前進が図られた。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由</p> <p>資料の収集においては、司書の合議により議論を重ね、記録を蓄積、共有化することで全体でのスキルアップを図っている。また、機会を捉えて職員の意識啓発に努めている。</p> <p>利用者に対しては、中央図書館の長期休館により充実した資料提供は行えなかったが、UDや男女共同参画の考え方に配慮した環境整備が図られた。</p>	63	<p>指定管理者も含め、男女共同参画やユニバーサルデザインの考え方や知識を身に付ける研修等を行う必要がある。</p> <p>管理運営形態が変更になることを踏まえて資料収集における選定の仕組みを構築したが、実際に運用する中でその都度更新していく必要がある。</p> <p>指定管理者に対して、プランを踏まえた事業実施を促す必要がある。</p>	今後も継続してUDの考え方に基づく施設管理やサービス提供を行うとともに、多様な資料・情報を収集、提供する。また、生活困窮者や女性等、社会状況を把握し、図書館として寄与できることや役割について検討し、サービスを提供する。							
	数値の指標			29		30	1	2	3	4			
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												

通し番号	64
------	----

目標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備	事業	66 関係法令や各種制度等の周知		
施策	2	男女共同参画に関する調査・研究、情報の収集・提供				
取組の方向	1	男女共同参画に関する法令等や男女共同参画実現に向けた各種制度等の情報収集と提供				
(説明)	男女共同参画社会の実現に向けた関連法令や各種制度の情報をタイムリーに収集し、広く周知していきます。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標														
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標										
64	生活文化課	66	<p>・男女平等推進センター主催「東久留米市男女共同参画都市宣言20周年記念事業『誰もが輝く社会をめざして～男女共同参画から多様性を考える～』」の中で、パネリストより関係法令や各種制度の話があった。</p> <p>・職員課との共催事業「男女共同参画・ワークライフバランス研修」において、全管理職、係長職以下の職員それぞれを対象に、男性の育児休業取得促進についての研修を実施した。</p> <p>・職員課主催「新任職員フォロー研修」において、女子差別撤廃条約、男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法、第5次男女共同参画基本計画等について男女平等推進センターコーディネーター、男女共同参画係長が講義をした。</p> <p>・東京都労働相談情報センターの事業所向け講座【セミナー&amp;相談会】パートタイマーの日頃の疑問に答えます！～法律から労働保険・社会保険、税金まで～を共催し、市広報やSNSにより開催情報を発信した。</p> <p>・パネル展示や講座開催時に男女共同参画社会基本法や女性活躍推進法、男女平等推進プラン等について情報発信を行った。</p> <p>・国、東京都、他区市町村、専門機関等からの男女共同参画社会の実現に向けた関連法令や各種制度の情報やセミナー等の案内を男女平等推進センターに配架した。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 講座開催時には、法律や計画等と社会情勢との関わりを踏まえた趣旨説明をし、男女共同参画社会の実現について、より身近に感じてもらえるよう情報提供の仕方を工夫した。講座や職員向け研修、展示、SNSなどあらゆる機会を活用し、周知することができた。</p>	64	<p>男女共同参画社会の実現や女性活躍推進につながる仕組みは幅広い分野で構築されているため、様々な制度を広く収集していくことが求められる。広報誌やSNSなど情報発信媒体に限られるため、効果的に周知する方法を工夫していく必要がある。</p>	<p>対象者が限られた内容の場合には、関連する部署や機関と連携して確実な情報提供に努める。広く周知をしていくことが必要な制度等については、広報紙や情報誌「ときめき」、SNSを活用し、目を惹く情報提供を行うとともに、発信頻度を上げていく。</p>											
数値の指標							29	30	1	2	3	4						
目標値																		
実績値																		
目標値																		
実績値																		
目標値																		
実績値																		
目標値																		
実績値																		

目標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備	事業	67 男女混合名簿の使用		
施策	3	男女共同参画への意識を育む教育の実施		68 家庭と一体となった男女平等教育をすすめるための情報提供		
取組の方向	1	学校、地域、家庭における男女共同参画意識を育む教育		69 教育及び保育等に携わる者への男女平等に関する啓発、研修の充実		
(説明)	男女共同参画についての正しい理解を持つ指導者の養成に努め、学校、地域、家庭において、性別にとらわれず、生きる力、学ぶ力、働く力をはぐむ教育を進めます。			70 保育実施上の配慮		
			担当課	71 学習機会や情報の提供		
				72 キャリア教育の充実		
				再59 若年層を対象とした啓発		
				73 女性教員に対する管理職試験への受験奨励		
				子育て支援課	児童青少年課	指導室
				生活文化課	生涯学習課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題及び次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題		次年度の方向性・目標					
担当課	事業番号			担当課								
子育て支援課	69 70	・保育士等への男女平等に関する研修、啓発の充実に努めている。 ・保育所保育指針に基づいて、子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないように、人権に配慮した保育を心がけ、一人一人の可能性を伸ばし、自己実現を図っていくことに努めている。	評価 A  評価理由 保育士等への研修、啓発を実施するとともに、保育所保育指針に基づいて、子どもが将来、性差や個人差などにより人を差別したり、偏見をもったりすることがないように、人権に配慮した保育を心がけて実施している。	65	子どもの年齢、性別、性格等の個人差をもって、「こうあるべき」という固定観念を持って、子どもや保護者に接することの無いよう、保育士等がみ自ら意識を高め、また、互いに確認し合う機会を設けるといった工夫が必要である。		研修、啓発を継続的に実施するとともに、その充実に努め、一層の理解の深化を図る。保育所保育指針に基づいて、男女共同参画社会の推進とともに、子どもも、職員も、保護者も、一人一人の可能性を伸ばし、自己実現を図っていくことが求められる。					
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
児童青少年課	69	・児童館職員間で、LGBTの児童が来館した場合の注意事項について確認を行った。	評価 B  評価理由 児童館職員間ではLGBTの児童来館時の対応について説明できているが、学童保育所職員に対する男女平等等に関する説明が不足している。※令和2年度は、新型コロナウイルスのため、児童厚生全職員会(児童館・学童保育所職員が出席)は中止となった。	66	児童館職員間ではLGBTの児童来館時の対応について説明できているが、学童保育所職員に対する男女平等等に関する説明が不足している。		児童厚生全職員会(児童館・学童保育所職員が出席)、児童館全職員会等において、男女平等やLGBTに関する研修を実施、またはリーフレットを配布する等、啓発に努める。					
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
					児童厚生全職員会出席率(単位:%)	目標値 100	100	100	100			
						実績値 97	98	96.24	0			
					児童館全職員会出席率(単位:%)	目標値 100	100	100	100			
						実績値 97	95.83	86.27	0			
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							

通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標								
								数値の指標		29	30	1	2	3	4	
67	指導室	67 68 69 72 73	<p>・小学校においては、男女混合名簿を使用している。中学校においても、令和3年度からの使用に向けて準備を行った。</p> <p>・児童・生徒の発達段階に応じて、中学校社会科、技術・家庭科(家庭分野)、特別の教科 道徳、特別活動等において、男女共同参画社会や男女相互の理解と協力の重要性について指導を行っている。</p> <p>・例年、市立全中学校において3日間の職場体験を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大対策として、実施しなかった。</p> <p>・将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を日々の教育活動を通して身に付けさせている。特に、新型コロナウイルス感染症拡大対策の下、各学校が工夫して体験活動や思考する時間を設けた。</p> <p>・女性教員に対して、管理職試験の受験を奨励している。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 年間指導計画に基づいて、適切に実施している。</p>	67	<p>・学習指導要領に基づき、男女共同参画社会についての学習を更に継続して実施することが必要である。</p> <p>・「生きる力」の育成に向けて、児童・生徒の実態に応じて、知・徳・体のバランスのとれた力を更に養えるよう教育活動全体を見直す必要がある。</p>	<p>学習指導要領を踏まえながら男女共同参画意識の視点をもつ教育活動の実施・見直しを行う。</p>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	
								児童・生徒の実態に応じた、男女共同参画社会に係る指導を実施	目標値	20	20	20	19	19		
									実績値	20	20	20	19			
									目標値							
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
	実績値															
68	生活文化課	再59	<p>・男女平等推進センター主催講座「女性のための護身法～わたしを守る わたしでありたい～」を開催し、16歳以上の女性を対象に学校、職場、地域、家庭における安心と安全が守られるように一人ひとりのエンパワメントを高めることをめざした。</p> <p>・大門中地区青少年健全育成協議会・地域コミュニケーションより依頼があり、男女平等推進センター出前講座「経験者が語る不登校ひきこもり～多様な生き方のもと、誰もが生きやすい社会づくりのために～」を実施した。男女平等推進センターの紹介や東久留米市の取り組みを紹介するとともに、小学生、中学生の保護者を想定した情報提供を行った。</p> <p>・デートDV防止リーフレット「これって当たり前？」を男女平等推進センターで作成し、市内の全中学3年生を対象に配布するとともに市ホームページにも掲載した。デートDVだけでなく、「自画撮り被害」「JKビジネス・AV出演強要」などの若年層が陥りやすい被害の情報や自分を大切にすることについて啓発を行った。</p> <p>・中央中学校の新任教諭2名に対し、男女共同参画係、男女平等推進センターコーディネーターが東久留米市の男女共同参画について研修を行った。</p> <p>・中央中の「職業講話」に男女共同参画係長が講師として登壇し、自身のキャリア、現在の仕事である男女共同参画に関する講話を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 主催講座やリーフレットの作成、中学生に向けた講話等、様々な機会を活用し、若年層を対象とした啓発を行うことができた。また、新任教諭を対象に研修を行い、教育に携わる者への男女平等に関する啓発、研修を実施することができた。</p>	68	<p>令和2年度は直接、先生や中学生を対象とした研修や講話を行うことができたが、今後、どのように継続していくかが課題である。</p>	<p>若年層を対象とした啓発については、主催講座の開催、出前講座を活用した保護者への情報提供、学校への働きかけなど、様々な方法で取り組んでいく。</p>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	
								目標値								
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
	実績値															
69	生涯学習課	71	<p>・体育協会委託事業として、小学5年生から中学3年生を対象に、「わくわく冒険自然体験教室」を予定していた。この事業は、登山や星空観察など自然と触れ合いながら、炊飯、洗濯、片付けなど助け合いながら生活力を身につけるものである。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点により事業を中止とした。</p> <p>・文化協会委託事業として、小学5年生から高校3年生を対象に、「青少年教育事業(ジュニアクラブ)」を実施した。この事業は毎年、田植え・稲刈り、川の清掃などのボランティアなどを通して、参加者が性別に関わらず様々な役割を担い、リーダーシップを身につけるものであるが令和2年度に関しては新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点により田植え・稲刈り・川の清掃は中止となった。それらに代わる事業として、つりぼり体験、市内めぐり、スポーツ大会などを実施した。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 実施した事業に関しては男女共同参画の視点に留意して、性別に関係なく生活力を身につけリーダーシップを育む機会を提供することができたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点により当初予定していた事業が開催できなかった。</p>	69	<p>性別に関係なく、自立した生活を営む力を身につけ、リーダーシップを育むことは男女共同参画意識を育む上で重要である。</p>	<p>引き続き、男女共同参画の意識を育むという取組の方向性を意識しながら、体育協会、文化協会、協力団体、ボランティアと連携を取り、事業の充実に取り組んでいく。</p>	数値の指標		29	30	1	2	3	4	
								目標値								
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
									実績値							
									目標値							
	実績値															

通し番号	70
------	----

【令和2年度事業】

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	74 男女平等推進センター機能の充実
施策	1 男女平等推進センターの機能強化		75 学習機会の提供の充実
取組の方向	1 情報発信の充実(SNS等の活用、情報誌の充実)		76 男女共同参画に関する情報収集及び提供の充実
(説明)	男女共同参画に関する情報の収集を図るほか、HPやメールマガジン、SNSの活用など、利用者に届く情報機能の充実を図ります。		
		担当課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標												
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
70	生活文化課	74 75 76	<p>・男女共同参画に関する情報については、国や東京都、他市区町村からの通知や情報誌、インターネットなどを活用し、常に最新の情報を収集するよう図っている。</p> <p>・市ホームページの「関連コンテンツ」に男女平等推進センターを入れてもらい、トップページから男女共同参画のページにダイレクトに飛べるように工夫した。</p> <p>・男女平等推進センター事業時だけでなく、男女共同参画係や男女平等推進センター職員が登壇した講座や研修、ラジオ番組等、あらゆる機会を通じて参加者等に情報発信を行っている。</p> <p>・男女平等推進センター事業の広報は、広報紙やチラシ、ポスター、市ホームページ、メールマガジンに加え、市公式フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用している。また、講師側のSNSによる呼びかけとの相乗効果もある。</p> <p>・メールマガジンについては、センター事業全般を広報する「フィフティ・フィティ」を発信し、センター事業の参加者が、その後も継続的に学習機会に触れることができるように情報発信している。</p> <p>・職員一人ひとりが市民の先頭立って男女共同参画社会を体現できるよう、今年度より庁内職員向けニュースレターを年4回発行し、男女共同参画に関する情報提供を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 常に最新の情報を収集するよう努めている。紙媒体、市ホームページ、SNS、講座、ラジオ等、あらゆる機会を通じて市民及び市職員に広く情報発信を行うことができた。</p>	70	生活文化課	男女共同参画や男女平等推進センターの事業に関心のある市民だけでなく、そうでない市民にどのように情報を届けていくかが課題である。	令和2年度は、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを積極的に活用して情報発信を行えたため、引き続き活用していきたい。また、市ホームページについても、引き続き内容の充実を図っていきたい。							
数値の指標							29	30	1	2	3	4			
事業参加者数【参考値】 (H29年度は3市連携をのぞく)							目標値	—	—	—	—				
							実績値	311	388	409	222				
男女平等推進センターを「知っている」と答えた人の割合(%)【参考値】							目標値	—	—	—	—				
							実績値	30.3	31.8	31.8	未実施				
SNS発信回数							目標値	—	—	—	—				
							実績値	24	34	44	68				
							目標値								
							実績値								
							目標値								
							実績値								

通し番号	71
------	----

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	77 関係機関、各種団体との連携の推進及びネットワークづくりの促進		
施策	1 男女平等推進センターの機能強化				
取組の方向	2 他機関との連携強化				
(説明)	国、都、他の自治体や学校等関係機関及びNPO等市民活動団体との連携を推進します。				
		担当課	生活文化課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
71	生活文化課	77	<p>・単独での開催が難しい労働問題、事業所向けセミナー等を東京都労働相談情報センターと共催で実施し、広報紙、SNSにより開催情報を広く周知した。</p> <p>・自由学園の高校生に男女共同参画都市宣言20周年記念事業を開催するにあたり、自由学園の高校生に事業開催時の運営、記録集の作成に協力してもらった。</p> <p>・希望する10名以上の団体に対して男女共同参画に関する出前講座を実施し、自治会や大門中学校地区青少年健全育成協議会等と繋がる事ができた。</p> <p>・ひきこもりなどの生きづらさを抱えている女性向け事業を、練馬区男女共同参画センターや保谷駅前公民館などと連携し実施した。講演会、読書会など広域で情報提供ができるとともに、近隣の事業には参加しづらい方、居場所が欲しい方のニーズに応える事ができた。</p> <p>・一般社団法人ひきこもりUX会議が制作・発行した「ひきこもり当事者や家族のためのリーフレット「地域資源ブックマーク東久留米エリア版」を作成する際に男女平等推進センターについて情報提供し、掲載してもらった。</p> <p>・「つながるカフェ」を2月より毎月定期的に変更することとし、新たなネットワークづくりを推進することができた。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 専門機関や他市の施設、市内の学校・団体等と連携しながら事業を行うことができた。また、新たなネットワークづくりを推進することができた。</p>	71	<p>学校や自治会、地域で活動する団体などとの繋がりを大切に、男女共同参画に関して連携が可能なネットワークに育てていく必要がある。</p>	<p>若年層向の取り組みを進めるためにも学校との連携は重要であり、引き続き連携強化に取り組みたい。出前講座を活用して自治会等地域の団体との繋がりを深めていきたい。</p>	数値の指標							
【参考値】連携事業の実施数					目標値			—	29	30	1	2	3	4	
※H29は沿線3市連携事業を含む					実績値			19	12	13	10				
【参考値】出前講座数					目標値			—	—	—	—				
					実績値			2	5	4	2				
					目標値										
					実績値										
					目標値										
					実績値										

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	78 男女共同参画への理解促進に向けた職員研修の充実		
施策	2 庁内推進体制の強化		再21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進(再掲)		
取組の方向	1 男女共同参画視点を持った組織づくり		79 男女の配置均等化の推進		
			再22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施(再掲)		
(説明)	職員一人ひとりが市民の先頭に立って男女共同参画社会を体現できるよう、男女共同参画	担当課	職員課	生活文化課	企画調整課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標											
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標							
72	職員課	78再21再79再22	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事異動に際しても、引き続き性差なく人員配置を行った。再任用職員も含めた人員配置において、片性だけの人員配置の部署は4課である。</li> <li>女性職員の活躍は男性職員の働き方の変化を伴うものである。平成30年1月より男性職員にも育児時間を認めただけ、期間を生後1年から1年3月に延長した。男性職員の育児休業取得率の向上も目指している。</li> <li>子どもの看護休暇について見直しを行い、予防接種もしくは健康診断を受けさせる場合の承認について、「小学校就学の始期に達するまでの子」と限定した要件を廃止した。</li> <li>東京都市町村職員研修所で実施された男女共同参画研修に職員を派遣した。</li> <li>市独自研修として、全職員を対象とした仕事と育児の両立に関する研修を、生活文化課と共同で実施した。</li> </ul>	評価 B 評価理由 研修所の男女共同参画研修に計画人数を派遣するとともに、女性活躍推進に係る市独自研修を実施した。	72	職員課	両性が適正に人員配置されること、ワークライフバランスの一層の推進が必要である。	今後も多様な職種、職場環境において適正な配置ができるよう検討していく。 市独自研修として、女性の管理・監督職への登用を含めた女性のキャリアについての意識を醸成すること等を目的として、男女共同参画・女性活躍推進に関する研修を実施する予定である。 育児休業の取得環境の改善を進めていく。							
数値の指標			29	30	1		2	3	4						
片性だけの人員配置の部署(課)		目標値	3	2	2		2	2							
		実績値	3	2	4		3								
男性職員の育児休業取得率(%)		目標値	25	25	25		25								
		実績値	25	8.3	27.3		16.7								
目標値															
実績値															
目標値															
実績値															
目標値															
実績値															
73	生活文化課	78再21再22	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員課主催「新任職員フォロー研修」において、男女共同参画、特定事業主行動計画、女性活躍推進の意義等について、男女共同参画係長、男女平等推進センターコーディネーターが講義をし、男女共同参画を進めること、男女共同参画の視点を持って業務に取り組むことの必要性について学んでもらうことができた。</li> <li>職員課との共催事業「男女共同参画・ワークライフバランス研修」において、全管理職、係長職以下の職員それぞれを対象に、男性の育児休業取得促進についてのオンライン研修を実施した。管理職向けの研修では、男性の育児休業取得における課題、管理職として取り組むべきこと、職場にととのメリット等について学んでもらった。また、職員向けの研修では、男性の育児休業取得の現状と課題、制度の概要、育児休業取得のメリットについて学んでもらった。</li> <li>職員一人ひとりが市民の先頭に立って男女共同参画社会を体現できるよう、今年度より庁内職員向けニュースレターを年4回発行し、男女共同参画に関する情報提供を行った。</li> </ul>	評価 A 評価理由 ・新任職員向けに男女共同参画研修を行い、男女共同参画の必要性について理解してもらうことができた。 ・管理職向け、職員向けに育児休業制度の研修を行うことができた。 ・新たな取り組みとして庁内職員向けニュースレターを発行することができた。	73	生活文化課	男女共同参画の意義や必要性を十分理解し、男女共同参画の視点をもって業務に取り組むためには、職員一人ひとりの意識が重要だが、まだ温度差がある。	引き続き、研修やニュースレターの発信を行い、職員一人ひとりに男女共同参画社会への理解促進が図れるよう努める。							
数値の指標			29	30	1		2	3	4						
目標値															
実績値															
目標値															
実績値															
目標値															
実績値															
目標値															
実績値															

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	担当課								
企画調整課	74	<p>・プロジェクトチームを立ち上げる場合には男女平等の視点を取り入れるよう留意していたが、令和2年度においてはプロジェクトチームの立ち上げはなかった。</p> <p>・他課がプロジェクトチームを立ち上げる場合においても助言を行っていたこととしていたが、特にプロジェクトチームを立ち上げる相談はなかった。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 令和2年度においてはプロジェクトチームの立ち上げはなかったため、評価する事案がない。</p>	74	<p>プロジェクトチームは市政における重要課題を解決するために立ち上げることが多く、その性質上メンバー構成はその課題に關係する管理職になることが多い。そのため、女性管理職が少ないことから女性職員をメンバーに登用することが困難であると考える。プロジェクトチーム設置は経常的なものではないため、事務局にあっては、メンバー男女構成に配慮するという意識を常に持ち続けていく必要がある。また、その性質上数値目標を設定することは難しいと考える。</p>	<p>市政における重要課題の解決には、男女双方の視点から見て取り組むことが重要である。そのため、今後のプロジェクトチームを立ち上げる際には、女性職員もメンバーに登用できるよう、多様な職層・世代の職員をもって構成するなどの検討を行う。同様に、他課において新規プロジェクトチームを立ち上げる際、相談があった場合は上記のような視点からの助言を行っていく。</p>							
	数値の指標			29		30	1	2	3	4			
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												

通し番号	75
------	----

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	81 男女共同参画推進協議会の充実		
施策	2 庁内推進体制の強化				
取組の方向	2 庁内推進協議会の充実				
(説明)	施策の総合的、計画的実施にむけて、庁内推進協議会の総合調整力を強化するなど庁内推進体制の充実を図ります。				
		担当課	生活文化課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標																																																																										
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標																																																																						
75			<p>・市の男女共同参画推進に向けて、男女共同参画施策を総合的に調整する男女共同参画推進協議会を設置している。推進協議会は副市長、教育長及び部長級職員の充て職で運用されており、委員は男性のみで占められてきたが、平成29年の男女平等推進市民会議の答申を受け、要綱を改正し女性の課長級職員を新たに委員に加えるポジティブアクションを行った。これにより男女平等推進協議会委員の令和2年度の男女比率は4:1となった。</p> <p>・男女共同参画推進協議会を1回開催し、活発な意見交換の場となった。</p>	<p>評価 B</p> <p>評価理由 庁内推進協議会委員の男女構成について、ポジティブアクションを講じ、令和元年度には女性委員が25%に増加したが、令和2年度は女性管理職が1名減となったため、女性委員の割合が20%に減少した。</p>	75	生活文化課	<p>管理職(部・課長)における女性の占める割合に寄らず、推進協議会の女性委員の割合を一定数以上確保する必要がある。そのため、職層や人数に因らず、男女双方が発言し易く、意見が反映されやすい会議風土を作っていくことが求められる。</p>	<p>充て職以外の委員については、引き続き一定数以上の女性割合を確保するポジティブアクションを行う。その上で、会議の場づくりを工夫し、女性委員が発言し易い土壌を作っていく。</p>																																																																						
	生活文化課	81					<p>数値の指標</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>29</td> <td>30</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">男女共同参画推進協議会委員に女性の占める割合(%)</td> <td>目標値</td> <td>未設定</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			29	30	1	2	3	4	男女共同参画推進協議会委員に女性の占める割合(%)	目標値	未設定	20	30	30	30	30	実績値	0	20	25	20				目標値								実績値								目標値								実績値								目標値								実績値						
		29	30	1	2	3	4																																																																							
男女共同参画推進協議会委員に女性の占める割合(%)	目標値	未設定	20	30	30	30	30																																																																							
	実績値	0	20	25	20																																																																									
	目標値																																																																													
	実績値																																																																													
	目標値																																																																													
	実績値																																																																													
	目標値																																																																													
	実績値																																																																													

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	82 男女共同参画推進のための総合調整機能の強化		
施策	2 庁内推進体制の強化		83 ジェンダー予算に関する調査研究		
取組の方向	3 庁内実施主体間の連携強化				
(説明)	各施策・事業をより実効性のあるものとするために、施策実施やその効果を検討できる横断的組織の検討などにより、庁内実施主体間の連携を強化します。				
		担当課	企画調整課	財政課	生活文化課

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標								
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題		次年度の方向性・目標				
76	企画調整課	82	<p>・男女共同参画の視点に立った市政運営における総合調整に努めた。</p> <p>・令和2年度は、男女比の均等化を図って選任した公募委員・学識経験者・公共的団体等の代表者からなる長期総合計画基本構想審議会委員による審議会を運営し、長期総合計画基本構想の策定を進めた。</p> <p>・学識経験者・スポーツ又は健康づくりに関する公共的団体等の関係者からなるスポーツ健康都市宣言起草委員会委員の選任にあつては、男女比の均等化を図った。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 長期総合計画基本構想審議会委員は15名中6名、スポーツ健康都市宣言起草委員会委員は8名中4名が女性委員であり、男女比の均等化について一定の成果があったと考えられるため。</p>	76	男女共同参画の視点に立って、引き続き長期総合計画の策定を進めていく必要がある。	引き続き、男女共同参画の視点に立った市政運営における総合調整に努める。					
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
77	財政課	83	<p>・財政課においてジェンダー予算についての考え方を認識、共有し、一人ひとりがそれぞれ意識した上で、予算編成時に各課との予算ヒアリングに際して、ジェンダー予算の視点が欠如していないか、それぞれの事業の性質を見極め、検討しながら予算編成業務を行った。</p> <p>具体的には、健康課の母子健康手帳交付事業や産後ケア事業など担当職員だけの視点で予算編成を行うのではなく、担当外である女性職員に意見を求めたりするなど、課全体でジェンダー予算を意識した上で業務に取り組んだ。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 予算編成時にジェンダー予算の視点を意識して予算編成業務を行うことができた。</p>	77	各予算についてはジェンダー予算の確保がされていると考えており、今後も現状を継続していく。また、庁内でジェンダー予算についての意識を更に高めていく。	今年度の予算編成を踏まえて、各課の予算要求の際にジェンダーの視点が定着していくような、動機づけをヒアリング時に実施していく。					
					数値の指標		29	30	1	2	3	4
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							
					目標値							
					実績値							

通し番号		取組状況	担当課評価	通番		今後の課題	次年度の方向性・目標						
担当課	事業番号			担当課	担当課								
生活文化課	78	<p>・男女共同参画促進に向けて、産業政策課や職員課等、関係各課と連携を図りながら事業に取り組んだ。</p> <p>・男女共同参画の視点から事業推進が図れるよう、子ども家庭支援センターと具体的な内容について調整の場を持ち、課題の共有やその後の連携に繋げることができた。</p> <p>・職員課主催「新任職員フォロー研修」において、男女共同参画、特定事業主行動計画、女性活躍推進の意義等について、男女共同参画係長、男女平等推進センターコーディネーターが講義をし、男女共同参画を進めること、男女共同参画の視点を持って業務に取り組むことの必要性について学んでもらうことができた。</p> <p>・職員一人ひとりが市民の先頭に立って男女共同参画社会を体現できるよう、今年度より庁内職員向けニュースレターを年4回発行し、男女共同参画に関する情報提供を行った。</p> <p>・行政管理課が実施している「施策成果等アンケート調査(市民アンケート)」の性別欄の選択肢が「男女」のみであったため、LGBTQの方にも配慮した選択肢を検討してほしい旨を要望したところ、「答えたくない」という選択肢が加わることとなった。</p> <p>・ジェンダー予算について、財政課の担当者と協議を行った。</p>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 関係各課と連携を図りながら、男女共同参画の視点から見た課題について共有することができた。 また、新任職員向け研修やニュースレターの発行など職員一人ひとりに向けた取り組みを行うことができた。</p>	78	<p>男女共同参画の視点や横断的組織への意識を保持するために、全庁的に男女共同参画施策について理解促進を図る必要がある。</p> <p>市の施策の総合調整機能をもつ企画調整課と予算に関する総合調整機能をもつ財政課との連携を進める必要がある。</p>	講座実施にあたっては、関連する課への協力依頼や情報提供などに努める。引き続き新任職員研修を実施し、PDCAにより内容改善を図っていく。今年度より始めた庁内職員向けニュースレターについては、内容や発信回数などより充実させていく。また、企画調整課、財政課と情報交換の場を設ける。							
	数値の指標			29		30	1	2	3	4			
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												
	目標値												
	実績値												

通し番号	79
------	----

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	84 男女平等推進市民会議の充実		
施策	2 庁内推進体制の強化				
取組の方向	4 市民参加による推進体制の充実				
(説明)	男女平等推進市民会議を設置し、施策をより実効性のあるものとするための評価方法の検討とともに、毎年、関連する施策・事業の進捗状況の確認・課題の検討を行います。		担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標									
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題			次年度の方向性・目標					
79		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民会議への諮問は、「第3次男女平等推進プランの令和元年度事業進捗状況評価について」を行った。</li> <li>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会議3回が中止となったが、資料の送付、メールでのやり取り等で会議ができなかった分を補いながら審議が行われた。その後、令和2年12月に市民会議より答申をいただき、結果を各課へフィードバックした。</li> <li>市民会議で事業進捗状況を評価した際には、令和元年度の進捗状況調査実績報告書に基づき、教育部指導室との間で意見交換の場が持たれた。意見交換をしたことにより、より実態に即した提言をいただくことができ、事業所管課においても事業への理解を深める機会となった。</li> <li>また、評価の結果、特に取り組みが良いとされた企画調整課、産業政策課、生活文化課、介護福祉課、健康課、子育て支援課、児童青少年課、指導室に対し、市民会議から表彰をいただき、所管課のモチベーションアップが図られた。</li> </ul>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で会議が開催できない時があったものの、市民会議より、第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について、評価をいただくことができた。 また、市民会議と事業所管課との間の意見交換を実施し、より実態に即した実効性の高い評価をいただいた。</p>	79	<p>事業進捗状況評価においては、より実態に即した評価をしていただくために、十分な情報提供が必要である。</p>			<p>令和2年度事業進捗状況評価について諮問を行う。事業所管課が抱える課題への対応を図りながら、より密に各課と調整を行い、市民会議への事業報告を行っていく。引き続き、必要な課との意見交換の場を設定するほか、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、オンライン会議等の新たな会議開催方法についても検討していく。</p>					
	84				数値の指標			29	30	1	2	3	4
					目標値								
					実績値								
					目標値								
					実績値								
					目標値								
					実績値								
					目標値								
					実績値								

通し番号	80
------	----

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	85 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化		
施策	3 関係機関・団体との連携強化				
取組の方向	1 国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化				
(説明)	関係機関との連携強化を図り、情報収集、調査・研究、及び要請を行っていきます。				
		担当課	生活文化課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標																																																																																
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	今後の課題				次年度の方向性・目標																																																																											
担当課	事業番号			担当課																																																																																
	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等推進市民会議委員に東京都の男女平等参画課長を委嘱し、都の立場から事業の評価を行ってもらうだけでなく、施策・事業に関する情報等の提供も行ってもらっている。</li> <li>市町村男女平等参画施策担当課長会、市町村男女平等参画施策担当職員連絡会に出席し、他の自治体の取り組み等について積極的に情報交換するよう努めている。</li> <li>単独での開催が難しい労働問題、事業所向けセミナー等を東京都労働相談情報センターと共催で実施した。</li> <li>自由学園の高校生に男女共同参画都市宣言20周年記念事業を開催するにあたり、自由学園の高校生に事業開催時の運営、記録集の作成に協力してもらった。</li> <li>希望する10名以上の団体に対して男女共同参画に関する出前講座を実施し、自治会や大門中学校地区青少年健全育成協議会等と繋がる事ができた。</li> <li>ひきこもりなどの生きづらさを抱えている女性向け事業を、練馬区男女共同参画センターや保谷駅前公民館などと連携し実施した。</li> <li>一般社団法人ひきこもりUX会議が制作・発行した「ひきこもり当事者や家族のためのリーフレット「地域資源ブックマーク東久留米エリア版」を作成する際に男女平等推進センターについて情報提供し、掲載してもらった。</li> </ul>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 担当課長会、担当職員連絡会では、当市の課題について他の自治会の状況を聞くなど、積極的に活用することができた。 また、専門機関や他市の施設、市内の学校・団体等と連携しながら事業を行うことができた。</p>	80	<p>学校や自治会、地域で活動する団体などとの繋がりを大切にし、男女共同参画に関して連携が可能なネットワークに育てていく必要がある。</p>				<p>若年層向の取り組みを進めるためにも学校との連携は重要であり、引き続き連携強化に取り組みたい。 出前講座を活用して自治会等地域の団体との繋がりを深めていきたい。</p>																																																																											
生活文化課	85			生活文化課	<p>数値の指標</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>29</td> <td>30</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>【参考値】連携事業の実施数</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※H29は沿線3市連携事業を含む</td> <td>実績値</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【参考値】出前講座数</td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						29	30	1	2	3	4	【参考値】連携事業の実施数	目標値	—	—	—	—			※H29は沿線3市連携事業を含む	実績値	19	12	13	10			【参考値】出前講座数	目標値	—	—	—	—				実績値	2	5	4	2				目標値								実績値								目標値								実績値										
		29	30	1	2	3	4																																																																													
【参考値】連携事業の実施数	目標値	—	—	—	—																																																																															
※H29は沿線3市連携事業を含む	実績値	19	12	13	10																																																																															
【参考値】出前講座数	目標値	—	—	—	—																																																																															
	実績値	2	5	4	2																																																																															
	目標値																																																																																			
	実績値																																																																																			
	目標値																																																																																			
	実績値																																																																																			

通し番号	81
------	----

目標	VI 推進体制の整備・強化	事業	86 進捗状況の年次報告の実施		
施策	4 男女平等推進プランの実効性の確保				
取組の方向	1 確実なPDCAサイクルの実施				
(説明)	評価方法を見直し、数値目標や重点課題を設定することで、プランを実効性のあるものとしていきます。				
		担当課	生活文化課		

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告			2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標												
通し番号	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標								
81		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等推進市民会議に第3次男女平等推進プランの令和元年度事業の進捗状況評価について諮問した。</li> <li>3次プランの進捗状況評価方法については、平成29年度に市民会議から答申をいただいた。この答申に基づき、平成30年度から新たな方法で担当課の事業報告及び市民会議評価が進められた。</li> <li>市民会議では、一部事業所管課との間で意見交換の場を設けるなどし、より実態に即した評価を行っていただいた。その後、12月に答申をいただき、結果を所管課へフィードバックした。</li> <li>令和2年度は答申をデータで各課へ送付するだけでなく、印刷したものを配付した。例年は問い合わせ等は1件もなかったが、印刷物を配布したことにより、内容への問い合わせが数課からあった。</li> <li>進捗状況評価において、報告書を作成する作業はプランへの理解促進につながる重要なものであるが、報告・評価様式が変更したことで同一事業に取り組む複数課の関連性が分かり易くなった。</li> <li>新たな方法での3回目の評価となり、担当課にも男女共同参画に向けた取り組みの推進への理解が浸透してきた。</li> </ul>	<p>評価</p> <p>A</p> <p>評価理由 昨年度から引き続き、第3次プラン令和元年度事業に対して、新たな評価方法に基づき評価を行った。 新たな評価方法により、担当者が男女共同参画の視点から事業を捉え、男女共同参画の実現に向けてどのような役割をになっているかについて理解を深めることができた。</p>	81	生活文化課	報告における目標の設定や記載について、進捗度合が分かるようにしていく必要がある。 職員一人一人が男女共同参画について理解を深めることが求められるため、よりきめ細やかにフィードバックを行うことが求められる。	報告、フィードバックに際し、各所管課との調整を密に行う。 引き続き、研修や庁内職員向けニュースレターの配信により、男女共同参画や男女平等推進プランに対する各職員の理解促進を図る。	数値の指標	29	30	1	2	3	4	
	86					目標値									
						実績値									
						目標値									
						実績値									
						目標値									
						実績値									
						目標値									
						実績値									

目標	VI	推進体制の整備・強化	事業	87 プランの実効性の向上		
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保				
取組の方向	2	男女別等統計の充実				
(説明)	男女別統計(ジェンダー統計)を積極的に利用し、現状の把握と今後の施策展開に活かししていきます。また、現状で不足している分野についての男女別統計(ジェンダー統計)の整備を進めていきます。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題及び次年度の方向性・目標												
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標								
82			<p>・毎年実施している施策成果等アンケート調査(市民アンケート)では、男女別に調査を行っているため、男女間の意識による偏りや格差・差別の現状、その要因や現状が生み出す影響を客観的に把握することができる。そのため、プランを推進する際には、アンケートの調査結果も参考にしながら事業を展開しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、アンケート調査が実施できなかった。</p> <p>・男女平等推進プランの進捗状況評価に際して、可能な限り数値目標設定をするよう担当課に依頼した。</p>	<p>評価</p> <p>B</p> <p>評価理由 施策推進のためにジェンダー統計を活用することができた事業もあったが、庁内全体で見ると積極的に活用できているとは言えない。</p>	82	生活文化課	<p>ジェンダー統計について、単に男女別の数字を追うだけでなく、背景にあるジェンダー要因等にも目を向ける必要があることへの理解が不足している。</p>	<p>ジェンダーについて、また、ジェンダーの視点から統計を読むことについて理解促進を図るため、資料を作成し庁内LAN等により配布する。 男女平等推進プランの数値目標設定等が不十分な課と調整の場をもち、指標について検討する。</p>								
							数値の指標									
							男女共同参画やジェンダー等に関する庁内への情報発信回数(男女共同参画ニュースレター発行回数)	目標値	未設定	未設定	29	30	1	2	3	4
							生活文化課	実績値	未設定	未設定	2	3	0	4	3	3
							生活文化課	目標値								
							生活文化課	実績値								
							生活文化課	目標値								
							生活文化課	実績値								
							生活文化課	目標値								
							生活文化課	実績値								

通し番号	83
------	----

目標	VI	推進体制の整備・強化	事業	88 男女共同参画推進条例(仮称)の研究		
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保				
取組の方向	3	男女共同参画推進条例(仮称)の研究				
(説明)	男女共同参画社会の形成を目指し、プランに掲げる施策を着実に推進していくための指針とするため、男女共同参画推進条例(仮称)について研究を行います。			担当課	生活文化課	

1 実績報告 取組の方向に沿った事業への取組状況の報告				2 今後の課題 及び 次年度の方向性・目標									
通し番号	担当課	事業番号	取組状況	担当課評価	通番	担当課	今後の課題	次年度の方向性・目標					
83			・市町村男女平等参画施策担当課長会、市町村男女平等参画施策担当職員連絡会に出席し、他の自治体の制定状況や内容等について情報を収集し、研究を行った。	評価 C  評価理由 男女共同参画推進条例について、他自治体の制定状況や内容の研究にとどまった。	83	生活文化課	男女共同参画推進に向けて条例がどのような役割を果たしているかなど一歩踏み込んだ研究が必要である。	男女共同参画推進条例を策定している自治体に、男女共同参画推進事業の進めやすさや効果など、条例が果たしている役割の具体的内容について担当職員会議等で直接尋ね、研究する。					
	生活文化課	88					数値の指標	29	30	1	2	3	4
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						
							目標値						
							実績値						



③ 評価書 ー市民会議による評価・提言ー



通し番号	1
------	---

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	1	ワーク・ライフ・バランスへの理解促進
取組の方向	1	ワーク・ライフ・バランスの正しい理解促進に向けた啓発、情報提供
事業	1	ワーク・ライフ・バランスに関する啓発
	2	両立支援制度や育児休業・育児時間及び介護・看護休業制度の周知と取得に向けた啓発
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
1		専門機関や関係機関と連携して幅広く啓発できており、情報発信もしっかりできている。また、具体的な取り組みについて、高く評価する。	評価 A
生活文化課	1 2	情報発信については、届かない対象にどのようにしたら届けられるのか、今後の研究に期待をしたい。  今後、産業政策課とどのように関わり、どのような取り組みを行っていくのか示してほしい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	2,3
------	-----

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進	
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進	
取組の方向	1	市内事業所に向けた講座開催や好事例、助成制度などに関する情報提供	
事業	3	関係法令、各種制度の周知と啓発	
	4	労働環境の改善に向けた市内事業所への情報提供と啓発及び課題解決	
	5	市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知	
	6	ワーク・ライフ・バランスの推進活動への支援に関する情報提供	
担当課		産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

働き方改革、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供は重要であり、在宅勤務の増加や法令等の改正による状況の変化に注視しながら推進することが望ましい。  
資料の提供については、少しでも多くの人に手に取ってもらえるよう、関連する審議会の資料の中に必ず入れるなど、工夫を図ると良いのではないかと。  
また、生活文化課と産業政策課との連携については、今以上に積極的に行ってほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
産業政策課	2 3 4 6	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が例年より減少してしまったことはやむを得ない所がある。緊急事態宣言等で公共施設が閉館したり、市民が自由に出歩くことを制限される中、チラシを置いても拡散されないという難しい状況もあった。取り組みの機会が限られる中でも、できることを行ったという点を評価したい。</p> <p>「情報提供回数」「情報提供企業」共に昨年度の実績が下がっているため、来年度は実績が上がるよう頑張っていたきたい。</p> <p>今後の方向性については担当課が言うように、引き続き情報提供に努めていたきたい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
生活文化課	3 4 5 6	<p>コロナ禍にも関わらず、情報提供だけでなく研修を実施したことを評価する。作成したチラシ、リーフレットについては、窓口で配架するだけでなく、市ホームページにも掲載しているということで、今後も継続してほしい。</p> <p>「今後の課題」の中に、産業政策課と具体的にどのように連携して成果に繋げるのかを示してほしい。</p> <p>「今後の方向性・目標」の中で、様々な機関と連携し取り組むとあるため、今後の方向性としては、取り組みが拡大していくのではないかと期待したい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
次年度目標			
B			

通し番号	4
------	---

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	2	市内事業所の働き方改革とワーク・ライフ・バランスへの取組推進
取組の方向	2	公共調達時におけるインセンティブ付与の検討
事業	7	公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
4		「今後の課題」に、「市の公共調達の方法になじまない」とあり、事業の推進が困難であるということだが、そもそも「公共調達」の担当が生活文化課で良いのか。生活文化課担当で実現性があるのか。市として取り組むつもりがあるのであれば、違う課も巻き込むべきではないか。他市では主にどの部署が行い成功しているのか、他市の良い取り組み事例を情報収集・研究し、それを今年度の成果として来年度の報告に記載してほしい。	評価
生活文化課	7		B
			取組状況
			C
			課題把握
			B
		次年度目標	
		B	

通し番号	5,6
------	-----

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進
取組の方向	1	固定的な性別役割分担意識解消への啓発
事業	8	男女が共に自立した生活を送るための情報提供及び学習機会の提供
担当課	生活文化課	生涯学習課

「取組の方向」全体についての講評・提言

男女共同参画週間のキャッチフレーズ「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワクワク・ライフ・バランス」が親しみやすく良い。年間を通して使用すると効果的ではないか。  
また、様々な取り組みを実施している点を高く評価する。市の広報でもこのような取り組みや情報をコーナー化して、一年を通して毎号掲載できると効果的ではないか。  
今後も指定管理者の理解を得ながら、男女共同参画を推進する事業を実施してほしい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	8	<p>様々な機会を通じて、取り組みを行っていることを評価したい。 男女平等、ジェンダーといった事柄に、抵抗なく理解を得られるような工夫が必要だと思うが、そのための具体策に今後も期待したい。</p> <p>男女共同参画は女性のためのものだけではなく、推進されることによって男性も生きやすくなるという行政なので、ぜひそのことを男性にも理解していただきたい。「今後の課題」にもあるように、男性の参加率の増加に関して研究できる工夫できることがあれば行い、実践してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			
生涯学習課	8	<p>保育付きの講座、親子で一緒に参加できる講座など、工夫を凝らした講座を多く実施しており、評価する。父親や祖父が楽しみながら参加し、学ぶための工夫をしながら、今後も継続的に実施されることを期待したい。</p> <p>固定的な性別役割分担意識解消の啓発を意識した講座についても、よく取り組みがなされている。また、関係各課や関係団体、指定管理者と連携し、講座の充実を図っていることも評価したい。</p> <p>「数値の指標」を入れていることを評価する。家庭教育講座への男性参加率が目標値の50%に達していないことは残念だが、数値目標の設定については今後も継続してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
B			
次年度目標			
A			

通し番号	7-10
------	------

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進		
施策	3	男性やシニアの家庭生活や地域活動への参画促進		
取組の方向	2	男性やシニアが参加しやすい環境作り		
事業	9	シニアの経験と知識を活かす活動の推進		
	10	男性の家事・育児・介護等への参加促進		
担当課		生活文化課	介護福祉課	子育て支援課
		生涯学習課		

「取組の方向」全体についての講評・提言

コロナ禍という特殊な状況だからこそ見えてきた問題もある。このことを踏まえながら、男女共同参画社会の実現に向けた事業が展開されることを期待したい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
7	生活文化課 10	<p>コロナ禍にも関わらず、ラジオなど様々な媒体・機会を捉え、多くの取り組み、啓発を実施した点を高く評価したい。今後も継続して事業を行ってほしい。本年度、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった事業については、ぜひ次年度に実施してほしい。</p> <p>現役世代の男性の参加率を上げるために、講座開催の時期や時間の工夫により、効果的な取り組みになるよう期待したい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
B			
次年度目標			
A			
8	介護福祉課 9	<p>介護予防については、今後、地道で大事な取り組みになるのではないか。地域社会で生きていくことは誰にとっても大切なことであり、今後の継続的な取り組みに期待したい。</p> <p>取り組みの方向性については、理解する。対象者を明確にすることで、効果がより確認しやすくなるのではないか。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
B			
次年度目標			
A			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
9		行事への父親の参加を促すなど、保育園の取り組みは評価できる。	評価
子育て支援課	10	コロナ禍でテレワークが進み、自宅で仕事をする男性も増えたと思われるため、男性の育児の楽しみ方や子どもへの接し方など、母親だけでなく父親への情報発信の工夫があると良い。父親が行事や保護者会に参加する機会を捉えて、育児・家事に関する意識の醸成を図ってほしい。	B
			取組状況
			A
			課題把握
			B
			次年度目標
			B
10		コロナ禍で実績値が目標値を下回るの仕方がない。生涯学習センター指定管理者の親子向け事業については、目標値には届いていないものの、実績が向上している。多くの父親が子どもと一緒に参加することで、男女共同参画への理解につながると良いのではないかと。また、「防災まちづくり学校」の男性参加率が55.5%であり、男女比率が約半分半分になっていることを評価したい。	評価
生涯学習課	10	講座の内容や男性参加者の増加に向けては、主催者と担当課、生活文化課との連携が重要であると考え、積極的な生活文化課の関与も期待したい。	B
			取組状況
			A
			課題把握
			B
			次年度目標
			B

通し番号	11-14
------	-------

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進		
施策	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備		
取組の方向	1	多様なニーズに対応する保育、教育、子育て環境の整備		
事業	11	子育て相談事業のネットワーク化の推進		
	12	保育・教育基盤の確保		
	13	多様な保育・教育の提供		
	14	学童保育及び児童館の充実		
担当課		子育て支援課	児童青少年課	健康課
		障害福祉課		

「取組の方向」全体についての講評・提言

保育園の待機児童が減少傾向にあるということは評価できる。  
 保育、教育、子育てに関する多様なニーズに対応するためには、ネットワークの構築が重要であり、関係機関との連携にもさらに努めてほしい。  
 障害福祉課の相談員が減少しているということだが、相談に対応できるよう相談員の確保に努めてほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
子育て支援課	11 12 13	<p>保育園の待機児童の解消は、子育てと仕事の両立を支援するための環境整備につながると考えられるため、待機児童数が減少したことは評価できる。</p> <p>利用者支援員などの多様な支援があることを、保護者向けに周知できると良いのではないかと。引き続き、待機児童の保護者へのフォローアップにも取り組んでほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
A			
児童青少年課	12 11 13 14	<p>学童保育の待機児童の解消に努めたことを評価する。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍で児童館等でも児童の利用がままならない状況だったため、次年度は様々な施設が活用され、子育て支援につながることを期待する。</p> <p>子育て相談事業のネットワーク化には、関係機関、関係各課との連携が重要である。引き続き、最新の状況変化を注視しながら連携を図ってほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
A			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
健康課	13	<p>乳幼児健康診査事業の機会を活用して相談や支援につなげている点を評価する。情報提供や関連機関との連携も出来ているため、ネットワークを活かした一層の連携を期待したい。</p> <p>発達障害の児童への支援などは、市を超えた支援が必要になるなど複雑で難しいと聞いたことがある。関係機関との連携をスムーズに行えるような、子どもを中心としたネットワークが出来ていくことを期待する。</p> <p>家庭の形態の多様に伴い、子育て相談のみならず、母親、父親、その他の養育者自身の身の上相談も多く隠れているのではないかと。そのような悩みの受け皿はどうなっているのか。</p>	評価
	11		A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			
障害福祉課	14	<p>相談件数が多いことが良いかどうかということはあるが、児童発達支援センターの開設により、相談支援体制の充実が図れたことは評価したい。また、子育ての悩みや困難に対して、関係機関とのネットワークがさらに広がることを期待する。</p> <p>昨今は、シングルマザーだけでなくシングルファザーの家庭や、母親が外で働き父親が在宅ワークをしている家庭など、様々な家庭が存在している。「取組状況」の中で「主たる児童の日中の養育者は女性である」という記載があるが、こうした多様化を踏まえると、女性職員だけでなく、男性職員の存在も大事になるのではないかと。</p> <p>年々、相談員の人数が減っていることは深刻な課題である。相談件数は前年度よりも増加しているにもかかわらず、このまま相談員が減少したらどうなるのか非常に心配である。</p>	評価
	13		B
			取組状況
			B
			課題把握
A			
次年度目標			
B			

通し番号	15
------	----

【令和2年度事業】

目標	I	働くための環境整備とワーク・ライフ・バランスの推進
施策	4	両立支援のための子育て・介護の環境整備
取組の方向	2	介護支援の充実
事業	15	地域包括支援センターの充実
	16	要介護者の家族への支援
	17	介護保険制度の普及と啓発
	18	在宅サービスの充実
担当課	介護福祉課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
介護福祉課	15	<p>高齢者アンケートの結果、相談に対する満足度が約60%ということだったため、的確なサポートが実施されていることが伺える。次年度についても計画に沿って適切に進めてほしい。「次年度の方向性・目標」についても期待したい。</p> <p>高齢者アンケートの調査結果を「数値の指標」に記載することは内容的に難しいのか。記載できるのであれば、載せられると良い。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
	A		
	次年度目標		
	A		

通し番号	16,17
------	-------

【令和2年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進
施策	1	市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進
取組の方向	1	女性活躍推進にかかる意識啓発や情報提供
事業	19	女性活躍推進に向けた情報提供
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

取り組みの好事例をまとめて啓発に役立てられると良いのではないかと。市民への提供の仕方も工夫してはどうか。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
16	産業政策課	<p>「取組状況」に、チラシやリーフレットを窓口に配置していると記載してある。チラシの配布の仕方やSNSの活用などの工夫は見られるが、良い媒体を作っても見てもらえなければ意味がない。年に数回、市報と一緒に全戸配布するなど、市民への意識啓発・情報提供をすることが大事ではないか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で目標値を下回るのはやむを得ない部分はあると思うが、「今後の課題」にあるように、多くの事業者が集まる機会の活用は実績にも反映するため、様々な機会を活用することを期待する。事業所が必要とする場面で情報提供や意識啓発を行うことにより、一層効果がある事業となるのではないかと。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
	B		
		次年度目標	
		B	
17	生活文化課	<p>事業所への情報提供や事業所が抱える課題を把握することは、実際難しいと思われる。課題解決につながる手法として、取り組みの好事例をまとめ、啓発に役立てられると良いのではないかと。市民への提供方法についても工夫してはみてはどうか。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
	B		
		次年度目標	
		A	

通し番号	18,19
------	-------

【令和2年度事業】

目標	Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進	
施策	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進	
取組の方向	2 取組事業所への支援	
事業	再3 関係法令、各種制度の周知と啓発(再掲)	
	再7 公共事業調達時のインセンティブ付与に向けての検討(再掲)	
	再5 市内事業所における実践的取り組みの好事例の周知(再掲)	
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

関係法令、各種制度を事業所に周知するための資料の配布、関係機関との連携強化に努め、出来ることを行ってほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
産業政策課	18 再3	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が例年より減少してしまったことはやむを得ない所がある。緊急事態宣言等で公共施設が閉館したり、市民が自由に出歩くことを制限される中、チラシを置いても拡散されないという難しい状況もあった。取り組みの機会が限られる中でも、できることを行ったという点を評価したい。</p> <p>「情報提供回数」「情報提供企業」共に昨年度の実績が下がっているため、来年度は上がるよう頑張っていたきたい。</p> <p>今後の方向性については担当課が言うように、引き続き情報提供に努めていただきたい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
生活文化課	19 再3 再7 再5	<p>産業政策課と生活文化課、専門機関とも連携し、問題点や課題を探り、より効果的な取り組みを行ってほしい。</p> <p>事業所への支援としての制度周知や情報提供を継続していく中で、工夫により効果的に出来るかについて研究してほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			次年度目標
			B

通し番号	20,21
------	-------

【令和2年度事業】

目標	Ⅱ 職業生活における女性の活躍推進		
施策	1 市内事業所及び市役所における女性活躍推進への取り組み促進		
取組の方向	3 市役所における女性管理・監督職への登用促進		
事業	20 職員研修の充実		
	21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進		
	22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施		
	23 ハラスメント対策の推進		
担当課	職員課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

特定事業主行動計画の進捗状況については、女性活躍推進法で国の男女共同参画局に報告する義務がある。地方行政の男女共同参画、特に市役所の女性管理職の登用が進んでいないということで、男女共同参画会議に女性の福島市長を入れるなど国としても応援に力を入れていきたいと言っている。東久留米市としても推進に全力を尽くしてほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
職員課	20	<p>ポジティブアクションの推進や職場環境の改善、研修の実施について、よく取り組んでいることを評価する。「次年度の方向性・目標」に書かれている「男女共同参画・女性活躍推進に関する研修」「管理職試験・採用試験での女性受験者の増加に向けた取り組み」にも期待している。他自治体の状況を引き続き情報収集しながら、良い取り組みがあればそれを検討できないか。また、ハラスメント対策をどのように進めているのかを知りたい。</p> <p>男性の育児休業については、勤務しなかった期間を全期間勤務したものとみなし、昇給号給数を決定するようになったことで、少しずつ男性の育児休業取得者が増えるのではないかと期待したい。</p> <p>東久留米市は管理者に占める女性比率が近隣市と比較しても低い。近隣市では、2名いる副市長のうち1名が女性という市もある。部長級の女性の登用も進んでいる。市民の半分以上は女性であることを考えると、市の管理職の大半が男性ということに違和感を覚える。</p>	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
生活文化課	21	<p>ポジティブアクションの推進を実行している点、ボリュームのある研修や講義を多く行っている点を評価する。女性職員の能力活用に関する管理職研修については、テーマや内容をどうするか難しいところもあるかと思うが、バージョンアップなども含めて最新の情報で実施されることを期待する。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
生活文化課	22		次年度目標
			B
			A
生活文化課	22		次年度目標
			A
			A

通し番号	22
------	----

【令和2年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進
施策	2	女性の就労継続とキャリア形成への支援
取組の方向	1	就労継続とキャリア形成に向けた意識啓発
事業	24 女性の就労継続とキャリア形成への支援	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
22		<p>男女平等推進センターや他部署・機関が連携しながら、様々な状況の女性に意識啓発・情報発信ができており、適切に支援できていることは評価できる。コロナ禍で講座の実績が目標を下回るのはやむを得ない。各世代の多くの男性にも理解を深めてもらいたい。</p> <p>これまでは、ひきこもりは男性の問題と言われていた。ひきこもりの女子は家事・手伝いという名目で隠れていたため、男性のひきこもりよりも社会から見えにくい状況にあった。それを「ひきこもり女子」ということで問題を提示したことは、全国的にも高く評価できる。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		A	

通し番号	23,24
------	-------

【令和2年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進
施策	3	女性の再就労への支援
取組の方向	1	再就職に関する講座、啓発、情報提供
事業	25	女性の再就職への支援
担当課	産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

託児付きでセミナーを実施していることを評価する。引き続き、託児付きの研修を実施してほしい。実際に就職につながるような形で事業を実施するよう期待している。どのくらいの方が実際に就職できたのかまでフォローできると良い。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
23	産業政策課	コロナ禍にあっても、いくつかのセミナーや相談会を行ったこと、託児保育なども取り入れてセミナーの参加者の増加に取り組んでいることを評価する。ニーズはまだある可能性もあるため、参加者の増加に向けたより一層の工夫と実際の再就職につながるケースの分析をしてはどうか。また、セミナーが役立ったか、就職につながったか、今後どのようなセミナーを希望するかといった声や結果も今後の課題として意識してはどうか。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	A
24	生活文化課	セミナーはコロナ禍でも参加者が多く、努力が見られる。引き続き、取り組みを進めてほしい。様々な職種に対応できるよう、新たな連携先の検討も含め、今後も関係機関と連携し、就職支援を進めることを期待する。セミナーや支援が役立ったか、どのようなセミナーや支援があると良いかなどもアンケートを取るなどして、今後活かしていけるとさらに良いのではないか。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		A	
		次年度目標	A

通し番号	25-27
------	-------

【令和2年度事業】

目標	Ⅱ	職業生活における女性の活躍推進		
施策	4	女性の起業と事業継続への支援		
取組の方向	1	起業と事業継続に関する講座、情報提供、関係機関との連携による支援とネットワークづくり		
事業	26	女性の起業に関する情報提供及び支援		
担当課		産業政策課	生活文化課	図書館

「取組の方向」全体についての講評・提言

令和3年度より、図書館の管理運営が指定管理者になったが、今まで同様に生活文化課と連携して各種事業を実施してほしい。  
新型コロナウイルス感染症の終焉を見据えながら、女性の起業について積極的に事業を展開してほしい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
産業政策課	25	創業希望者個別相談回数の実績値は毎年高いが、セミナーの開催については、新型コロナウイルス感染症の影響によるものなのか、開催できなかったことは残念である。次年度はぜひセミナーも開催してほしい。参加者数の課題があるものの、講座の開催方法や内容の検討により参加者の増加に取り組んでほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
生活文化課	26	起業をめざす女性に対し、積極的な支援を行っているという姿勢を感じた。今後も有意義な支援に取り組んでほしい。また、取組状況として相談を必要な機関につなぎ、情報提供も行えている。今後もこれまでの取り組みを継続してほしい。  コロナ禍で、できることはやっているのだと思うが、事業実施数も参加者数も「0」となっているのは残念である。コロナが終息した際には頑張してほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		次年度目標	
		B	

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
27		<p>新型コロナウイルス感染症の影響や中央図書館の施設改修の影響はやむを得ない。ホームページやインターネットを活用した非来館型の資料や情報提供の充実に期待している。</p> <p>今年度より、図書館は全館指定管理者の管理運営に移行したが、これまでの図書館との違いや、取り組みや考え方をどのように強調していくのかを知りたい。また、今まで、図書館と男女平等推進センターは様々な事業を連携して実施してきたが、図書館の管理運営が指定管理者になり、今後どうなっていくのか心配と期待がある。今まで同様に図書館と男女平等推進センターが連携し、事業を展開していくことを願っている。</p>	評価
			C
			取組状況
			C
			課題把握
			B
		次年度目標	
		C	
図書館	26		

通し番号	28
------	----

【令和2年度事業】

目 標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進
施 策	1	市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進
取組の方向	1	ポジティブ・アクションへの理解促進
事業	27	審議会委員等委員の男女比率の均等化
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
28		全体的にポジティブアクションの意義を理解できていない人が多くいると思う。ポジティブアクションを理解してもらうためにはどうしたらよいかを考えなければならない。例えば、リーフレットを作成・配付、研修会の開催などの工夫が必要なのではないか。他市の取り組みなども参考に、地道に具体的な働きかけを行い、男女比率の均等化を行ってほしい。	評価
生活文化課	27	国も防災委員に対する女性比率について過敏になっている。防災委員も一時は男女比率が50%という時もあったが、女性委員が徐々に減っている状況にある。国は、防災のことなので男性も女性も一緒にやってほしいという考えである。避難所の責任者も男女ペアで行うようにとされている。他市では防災委員の男女比率だけ別に出しているところもある。また、審議会の男女比率は生活文化課だけの課題ではないのではないか。	C
			取組状況
			C
			課題把握
			C
			次年度目標
			B

通し番号	29
------	----

【令和2年度事業】

目標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進
施策	1	市附属機関や地域活動団体における男女の参画推進と女性の活躍推進
取組の方向	2	男女が参加しやすい環境整備
事業	28	自治会における男女共同参画に関する啓発及び情報提供
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	29	平成29年度に実施した沿線3市男女共同参画連携事業(東久留米市、清瀬市、西東京市)の中で、東久留米市が担当した防災の事業もとても良かった。今でも防災をテーマに男女共同参画の必要性についての講座を保持し、地域に向けて啓発・情報提供していることは、市民の理解を深めるために適切である。今後も防災をテーマを切り口として間口を広げてほしい。このような講座が多くの自治会で開催できると良い。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
	28	自治会長における女性割合を急に上げることは難しいため、継続的に取り組むことが重要ではないか。また、他の自治体の取り組みで良いものがあれば取り入れることを検討してほしい。	B
			次年度目標
			B

通し番号	30
------	----

【令和2年度事業】

目標	Ⅲ	あらゆる分野における男女共同参画の推進
施策	2	地域におけるリーダーとなる女性の育成
取組の方向	1	リーダー育成のための講座開催や機会の提供
事業	29 地域におけるリーダーとなる女性の育成	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
30		多角的な取り組みによって、男女共に少しずつ意識改革がなされていくと考えられ、高く評価したい。また、引き続き地域で活動している団体とのつながりを大事にして、男女が共に積極的・主体的に参画できる環境づくりの支援と女性リーダーの増加に取り組んでほしい。	評価 A
生活文化課	29	国際女性デーに合わせて、ルーズ・ギンズバーグの伝記映画「ビリーブ 未来への大逆転」をシネマdeおしゃべりで上映したことを高く評価する。男女平等推進センターは、映画の選定が良い。引き続き良い映画を上映し、若い世代の取り込み、アプローチにも期待したい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			A

通し番号	31-34
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現		
施策	1	生涯にわたる男女の健康の支援		
取組の方向	1	ライフステージに合わせた健康支援		
事業	30	各種健康診査及び健康相談事業の充実		
	31	発達段階に応じた適切な性教育の推進		
	32	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実		
	33	生涯を通じた健康の保持増進等のための啓発及び情報提供		
	34	こころの健康支援		
	35	シニアが自立した生活を送るための支援		
	36	予防重視のシニア施策の充実		
担当課		健康課 指導室	生活文化課	介護福祉課

「取組の方向」全体についての講評・提言

コロナ禍における不自由さがある中で、全体的に良く取り組んでいる。  
 数値的な資料はもとより、市民の生の声を聞きたい。  
 今後さらに一歩踏み込んだ、それぞれの当事者の現状やニーズに合った支援を期待する。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
健康課	31	<p>外出自粛で健診や相談、健康づくりを控える市民への対応は課題として残るものの、引き続き、様々な取り組みを期待する。</p> <p>ゲートキーパー養成講習会の取り組みは興味深く、成果を確認したいため、「次年度の方向性・目標」で具体的に示してほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
生活文化課	32	<p>様々な取り組みを行っていることを評価したい。情報発信については、コロナ収束後も継続してほしい。</p> <p>性教育については、子どもたちが自分を大切にしながら異性・同性との関わりが持てるような教育が必要である。また、今後は学校へのアウトリーチ活動に力を入れ、教職員や親への性教育も進めていくことも必要だと考える。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
	33		次年度目標
			B
			評価
			A
			次年度目標
			A

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
介護福祉課	33 35 36	<p>自主グループ化の実現やリモート開催の教室、体操動画の作成を評価する。65歳以上の方は介護予防事業に対する関心があると考えられる。今後も地域包括支援センターなどとの連携を推進してほしい。</p> <p>高齢者向けにはインターネットを使わずに情報にアクセスできる具体案が欲しい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
A			
指導室	34 31 32	<p>各学校にて学習指導要領に基づいて行われる性教育は、人権教育と併せて行う必要がある。指導室での取り組みは的を得ており、評価する。ただ、今の子どもたちは、ネットを活用し大人よりも知識を持っていることもある。それが間違った知識である場合もあるため、今後は、海外の事例なども参考にして、より踏み込んだ内容の指導が必要である。</p> <p>禁煙キャラバンについては、指導の適期を逃さないように留意してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
A			

通し番号	35
------	----

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	1	生涯にわたる男女の健康の支援
取組の方向	2	妊娠、出産期における女性への健康支援
事業	37	妊娠中及び出産後の健康管理の啓発及び相談事業の充実
	38	出産・育児に関する情報提供と男性の理解の促進
担当課	健康課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言	年度評価
担当課	事業番号	項目評価
35	コロナ禍で、ひきこもりがちになる妊産婦もいることから、孤立を防ぎどう支えていくのか、今後に期待したい。	評価 B
健康課	子育て応援メールの登録率停滞については、コロナ禍の影響もあるかもしれないが、対象者への積極的な周知活動が望まれる。	取組状況 B
		課題把握 B
		次年度目標 B

通し番号	36,37
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	1	暴力の未然防止や早期発見のための取組強化
事業	39	暴力未然防止のための意識啓発
	40	若年層に向けた暴力防止の啓発
	41	早期発見のための理解促進
担当課	生活文化課	指導室

「取組の方向」全体についての講評・提言	
<p>多様な取り組みによって啓発を強化させている。いじめや暴力行為も究極的には人権教育の充実に尽きる。地道な実践を期待する。 暴力の起きるメカニズム等にも目を向け、更なる理解が必要である。</p>	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
36	生活文化課 39 40 41	<p>コロナ禍でも活発な情報発信ができており、健康課との連携も果たしている。講座開催中止の代替えで作成した啓発リーフレットは高く評価する。</p> <p>「次年度の方向性・目標」については具体案が欲しいところである。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
A			
37	指導室 40	<p>いじめや暴力行為の防止は、児童のうちから発達段階に即して教育しなければならないものである。学校の授業、校内研修、スクールサポーターとの連携などが図られていることは素晴らしい。授業時間以外で児童生徒に考えさせる機会の提供も効果的である。</p> <p>なぜ暴力やいじめに走ってしまうのか、周りの環境に問題はないかという視点も必要である。</p>	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
B			

通し番号	38,39
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	2	安心して相談できる体制づくり
事業	42	相談窓口の周知
	43	複合的に困難を抱える人への支援
	44	相談体制の整備
担当課	関係各課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

配偶者等からの暴力防止と被害者に向けた支援について、相談窓口の周知、該当者への支援、相談体制の準備はよくできたと言える。複合的な困難を抱える人が増えていることから、各課での連携は今後ますます重要になってくると思われる。すでにその連携がなされていることを評価したい。今後、さらなる連携強化を期待する。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
38	関係各課 42 43 44	<p>コロナ禍でDV等の相談活動について、関係各課で情報を共有でき、連携して対応できたことは良かった。配偶者暴力対策庁内連絡会が開催できたことにより、庁内の横の連携がさらに一歩進んだと言え、評価できる。</p> <p>「次年度の方向性・目標」にあるように、情報共有の機会を増やし、その回数を次回報告してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			
39	生活文化課 42	<p>男女平等推進センター専門相談の相談件数、同実施件数が増加しており、事業の成果が見られる。相談機会の周知は、いくら行ってもし過ぎるということにはならない。コロナ禍で立ち上げられた事業についても周知をして欲しい。</p> <p>あらゆるツールを使って情報発信をしている点も評価する。今後、相談へのハードルを下げるための工夫にも期待したい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			

通し番号	40
------	----

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	3	被害者の安全確保のための体制整備
事業	45	被害者や子どもの安全確保
	46	情報管理の徹底
担当課	関係各課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
40		関係各課の連携を評価したい。配偶者暴力対策連絡会の定期的な実施及び関係各課の更なる連携を期待する。	評価 A
関係各課	45 46	今後は、被害当事者を理解するための研修や、相談しやすい窓口作りのために何が必要かも考えていただきたい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	41
------	----

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	2	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援
取組の方向	4	自立のための支援体制の整備
事業	47	自立のための支援体制の整備
担当課	関係各課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
41		連携については、当事者の利益を第一に適切に行ってほしい。また、男女平等推進センターで相談ができると知っている市民は決して多くはないので、周知にも力を入れてほしい。	評価 A
関係各課	47	支援体制の整備は、庁内だけではなく、幅広い分野の行政機関や、場合によっては民間機関との関わりが大切になってくると思われる。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			A

通し番号	42,43
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV 安心・安全な暮らしの実現	
施策	2 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立に向けた支援	
取組の方向	5 関係機関との連携強化及び庁内体制の整備	
事業	48 関係機関との連携強化	
	49 庁内の相談・支援体制の整備と資質向上	
担当課	関係各課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

配偶者暴力対策庁内連絡会により庁内連携が深まったことを評価したい。今後は庁外関係機関等との連携強化が期待される。  
 連携強化や庁内体制整備の具体的内容を知りたい。数値指標が難しければ、職員の感想や展望等を聞きたい。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
42		被害者への支援をしっかりとやっていくという意識が感じられる。今後、加害者への支援も視野に入れた研修等を引き続き期待したい。	評価 A
関係各課	48 49	被害者支援には、警察や医療機関等との相互連携や情報共有が必要であるため、連携や情報共有について十分にできている部署等を明確にし体制の整備に努めたい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 B
43		取り組みについて評価したい。配偶者暴力対策庁内連絡会のさらなる充実が望まれる。また、今後の連携強化の具体案を示してほしい。	評価 A
生活文化課	49	被害者支援を更に推進するには、職員の研修が不可欠である。研修によって職員の資質向上を期待する。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	44,45
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	3	女性や子どもに対するあらゆる暴力の予防と根絶
取組の方向	1	性暴力や児童虐待、ストーカー被害の根絶に向けた防止等の啓発
事業	50	メディア・リテラシーの育成
	51	暴力の未然防止のための啓発や情報提供
担当課	生活文化課	指導室

「取組の方向」全体についての講評・提言

未だ女性や子どもは弱い立場にある。世の中を変えるには教育が重要である。成果はすぐに検証できるものではないが、地道に継続的に行ってほしい。  
性暴力や児童虐待、ストーカー被害については、まだ一般的な理解が広がっているとは言い難い。多様な取り組みによって啓発を強化させているが、さらなる取り組みを期待する。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
44	生活文化課	効果的な啓発事業が実施できている。講座開催中止の代替で、市内の中学3年生全員を対象にデートDV防止リーフレットを配付したことは興味深く高く評価する。成果を検証すると同時に意識改革の実態を知りたい。  パネル展示、リーフレット配布などの工夫を評価したい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
45	指導室	全てのことが人権教育に関わるということを見童、生徒に認識させる必要がある。指導の成果を知りたい。  人権や暴力、性教育についてももう少し踏み込んだ、子供たちが本当に必要としている情報や指導ができていないかの振り返りが必要である。  取り組みについて具体的内容を知りたい。一例を挙げて記述してほしい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			次年度目標
			A
			次年度目標
			B

通し番号	46,47
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現	
施策	4	ハラスメント等の防止対策の推進	
取組の方向	1	ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供	
事業	52	ハラスメント防止に向けた啓発や情報提供	
担当課		産業政策課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

ハラスメントを防止するには何がハラスメントなのかを多くの方に啓発していく必要がある。どのようにしたら関心を持ってもらえるか、企業と連携してセミナー等を実施するなど取り組みの充実を期待する。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
産業政策課	46	ハラスメントの防止を推進するためには、「ハラスメント」とは何かを認識させる必要がある。チラシやリーフレットの配布だけでは不十分と考える。コロナ禍で制約があったと思うが、取り組みを広げるための工夫がほしい。今後のどのような取り組みをしていくのか具体的な内容が知りたい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
生活文化課	47	講座の参加者募集に際しては、関係課と連携を図り、実施することが望まれる。また全職員、全市民に伝わるような工夫がほしい。  出前講座については、市民がさらに利用しやすいような広報の工夫があると良いかもしれない。  LGBTへの理解や対応は重要な課題である。もう少し積極的な取り組みを期待する。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			次年度目標
			B

通し番号	48
------	----

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施
取組の方向	1	性別による役割分担意識解消のための啓発
事業	53 ジェンダー平等を推進するための啓発	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
48		きめ細かく広報などの工夫がなされていることを評価したい。ジェンダー、特に性的役割分担意識の浸透には時間がかかると思われる。若年層への取り組みについては、彼らの意見を聞きながら一緒に動いていくとよいのかも知れない。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
		次年度目標	
		B	

通し番号	49
------	----

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施
取組の方向	2	発達段階に応じた適切な性教育の実施
事業	再31	発達段階に応じた適切な性教育の推進(再掲)
担当課	指導室	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
49		学習指導要領に則り、市立全小中学校において発達段階に応じた性教育が適切に実施できたことは評価する。具体的にどのような工夫がされているのかや、児童・生徒の感想などを聞きたい。	評価 B
指導室	再31	性教育について、日本は世界水準よりはるかに遅れていることから、性的マイノリティへの配慮も含めつつ実態に即した教育が必要だと考える。	取組状況 A
			課題把握 B
			次年度目標
			B

通し番号	50
------	----

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施 策	5	性を理解し、自他を尊重するための教育の実施
取組の方向	3	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実
事業	再32	HIV／エイズや性感染症の予防、喫煙、薬物乱用の防止に関する教育の充実(再掲)
担当課	指導室	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
50		全市立小・中学校において発達段階に応じた「薬物乱用防止教室」が実施できたことは評価する。	評価 A
指導室	再32	「禁煙キャラバン」については、中止はやむを得ないが、指導の適期を逃さないように留意してほしい。児童・生徒の感想などを聞きたい。  具体的にどのような工夫がなされているのか、どのような工夫をしようとしているのか不明である。外部人材の活用については期待したいが、どのような人材を求めているのかも不明である。	取組状況 B
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号	51-53
------	-------

【令和2年度事業】

目 標	IV	安心・安全な暮らしの実現	
施 策	6	困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援	
取組の方向	1	ひとり親家庭への支援	
事業	54	女性の人権を守る相談体制及び各種相談事業の充実	
	55	相談体制及び各種相談事業の充実	
担当課		生活文化課	児童青少年課
			関係各課

「取組の方向」全体についての講評・提言

ひとり親家庭の抱える問題については、丁寧な聴き取りが必要であると考え。時代とともにニーズも変化し、またコロナ禍での変化もあると思われる。実態を更に把握して相談しやすい環境を作ってほしい。今後も困りごとに寄り添った支援を期待する。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
51	生活文化課	女性のお悩みごと相談については、利用者が相談しやすい工夫がなされており、かなり成果が上がったと推測できる。特に相談枠の拡充について高く評価する。女性弁護士による法律相談も更に件数を増やしたい。  コロナ禍で自殺や生きづらさを抱える人は増えており、より充実した支援が望まれる。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			
52	児童青少年課	助成支援係に相談員が常駐していることを高く評価する。児童館でも常時相談体制が整っていることを市民にもっと伝えてほしい。利用者や対象者の身近な相談窓口として、今後もレベルの維持が望まれる。  相談内容が複雑かつ多様であることが想像され、職員の研修は必須である。今後についての具体的な方策が知りたい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
A			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
53		<p>庁内の関係各課との連携に留まらず、外部の相談機関などとの連携も重要だと考える。また、連携のための会議体のようなものも必要ではないだろうか。今後どのように連携を充実させていくのか展望が知りたい。</p> <p>庁外関係機関の情報収集を引き続き積極的に行い、適切な支援に繋げてほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
		次年度目標	
		A	

通し番号	54-57
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現		
施策	6	困難を抱える女性等が安心して暮らせるための支援		
取組の方向	2	若年者、高齢者、障害者、外国人等、困難を抱える女性が安心して暮らせるための支援		
事業	56	相談体制及び各種相談事業の充実		
	57	自立した生活を送るための就労支援の推進		
	58	子ども、若者の自立に向けた力を高める取り組み		
	59	若年層を対象とした啓発		
	60	障害者に対する就労自立支援		
担当課		指導室 障害福祉課	生活文化課	福祉総務課

「取組の方向」全体についての講評・提言

課題があるものについては、原因を究明し、改革をしてほしい。  
 困難な状況にある人は問題を複数抱えていることも多く、関係各課の連携は必須だと考える。  
 また、気軽に相談できるような雰囲気や仕組み作りも必要であり、そういった点への工夫も期待したい。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
54		児童・生徒の自立意識を高めた「キャリア・パスポート」の今後の活用が期待される。自分自身で記録できるツールを活用していることを評価する。	評価 A
指導室	58	子供たちが将来を積極的にイメージできるような取り組みが実施されていることを評価する。一方で、学校においてどの場面で実施されているか明確にされおらず、その実際を知りたい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 B
55		ひきこもり対策は難しいが、「つながるカフェ」やイベントから相談や支援につながるという連続性を持った事業を実施していることを高く評価したい。居場所づくりというニーズもあることから、そのサポートにも期待したい。	評価 A
生活文化課	59	中央中学校での新任研修、職業講話などの取り組みも評価できる。 若年層へのアプローチについては外部の講師を呼ぶなども一案ではないか。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A

通し番号		講評・提言	年度評価	
担当課	事業番号		項目評価	
56		<p>生活に困窮する母子世帯の相談件数、自立支援の母子世帯相談件数の実績値が減少していることが気になる。</p> <p>就労支援については、ハローワークだけでは不足があるかもしれず、就労阻害要因の解決に向けてきめ細かな対応が必要だと感じる。</p> <p>克服可能な課題を一つずつクリアして、取り組みの進展を図っていただきたい。</p>	評価	
福祉総務課	56 57		取組状況	B
			課題把握	B
			次年度目標	A
				B
				B
57		<p>就労を継続していくための定着支援の充実や、地域での就労先の新規開拓が十分に行われていない状況があるというが、具体的にどのようなことなのか実態を知りたい。</p> <p>企業と就労希望者が出会えるようなフォーラムなどを開催するのも良いのではないか。</p>	評価	
障害福祉課	60		取組状況	B
			課題把握	B
			次年度目標	B
				B

通し番号	58,59
------	-------

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	7	男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり
取組の方向	1	防災分野における男女共同参画の啓発
事業	61	防災活動への男女共同参画の推進
担当課	防災防犯課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

なかなか進みづらい分野だと感じる。男女共同参画の視点に立った防災の重要性を性被害などの問題などを含め研修する必要がある。  
また、防災における女性への支援について、まずは女性へのヒアリングが必要なのではないだろうか。その上で、力を発揮したいと思う女性を開拓しサポートしていくのも良いかもしれない。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
58	防災防犯課	女性リーダーの取り組みが停滞しているとのことだが、女性リーダーが活躍するために何が必要で何が阻害要因になっているか、実現のための具体的な案が欲しい。  生活文化課との合同研修での意見交換がどのようなものだったのかを知りたい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		B	
59	生活文化課	防災は人気のテーマではあるが、若年層・女性の参画が少ないのは「防災は男性の関わるもの」という意識が定着していると考えられる。これからも防災防犯課と連携し、男女共同参画の視点に立って取り組みの進展をを図ってほしい。  コロナ禍かつ今後も含め、早期にオンラインでの講座等の開催が可能となるよう希望したい。	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		B	

通し番号	60
------	----

【令和2年度事業】

目標	IV	安心・安全な暮らしの実現
施策	7	男女共同参画の視点を生かした防災と地域づくり
取組の方向	2	防災分野における女性活躍の推進
事業	62 防災分野の意思決定への女性の参画拡大	
担当課	防災防犯課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
60		防災分野における女性の参画が進んでいない理由は、男女の役割分担が明確になっていないことが一因と思われる。女性の参画を推し進めるために、これまでの取り組みを継続するだけでなく、新たに何が必要なのか具体的な案を示してほしい。	評価
			C
			取組状況
			C
			課題把握
			B
		次年度目標	
		C	

通し番号	61-63
------	-------

【令和2年度事業】

目標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備		
施策	1	男女共同参画社会に対する理解促進		
取組の方向	1	男女共同参画の正しい理解の促進		
事業	63	啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実		
	64	啓発資料等の発行及び広報誌活用の充実		
	65	男女共同参画に関する資料の提供		
	再53	ジェンダー平等を推進するための啓発(再掲)		
担当課		生活文化課	秘書広報課	図書館

「取組の方向」全体についての講評・提言

いずれの部署も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて計画していた活動ができず、このような時に、どのようなやり方で取り組んで行ったら良いか、模索されたのではないかと思います。令和2年度の取り組みが、今後の活動にとってもプラスに働くことを期待する。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
生活文化課	63 64 再53	コロナ禍の厳しい環境の中においても、積極的に取り組んでいる姿勢を感じた。男女共同参画都市宣言20周年記念事業のパネルディスカッションも効果的な内容だった。庁内職員向けニュースレターの発行数も伸びている点を評価したい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
A			
次年度目標			
B			
秘書広報課	63	コロナ禍の厳しい環境の中においても、積極的に取り組んでいる姿勢を感じた。市ホームページ、広報誌などにおける新しい取り組みを評価したい。  市ホームページでは、男女共同参画の情報にすぐに辿り着けない。全体を総括し、アピールしたいイベント等にアイキャッチするようなデザインがほしい。  テーマを決め、数値目標を設定してほしい。	評価
			B
			取組状況
			A
			課題把握
B			
次年度目標			
B			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
図書館	63	<p>中央図書館の改修と新型コロナウイルス感染症影響で、思うような取り組みができなかったようだが、改修された新しい中央図書館はユニバーサルデザインの考え方が反映されているようなので。新しい効果的な取り組みに期待する。</p> <p>来場者が選択するような、どちらかという受け身の姿勢となりがちな図書館のイベントにおいて、攻めの姿勢を期待する。</p> <p>次年度目標の「生活困窮者や女性等、社会状況を把握し、図書館として寄与できることや役割について検討し、サービスを提供する」という、公共の施設としての役割の把握が素晴らしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
	次年度目標		
		A	

通し番号	64
------	----

【令和2年度事業】

目 標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備
施 策	2	男女共同参画に関する調査・研究、情報の収集・提供
取組の方向	1	男女共同参画に関する法令等や男女共同参画実現に向けた各種制度等の情報収集と提供
事業	66	関係法令や各種制度等の周知
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
64		男女共同参画社会の実現に向けて、身近に感じてもらえるように情報提供の仕方を工夫している点を評価する。発信しても、多くの相手に伝わらなくては意味がない。市民が積極的に情報をほしがるテーマでないだけに、さらなる工夫を期待する。情報発信の頻度を上げること以外の方法についても模索してほしい。また、数値指標を設定してほしい。	評価
生活文化課	66		A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
		次年度目標	
		B	

通し番号	65-69
------	-------

【令和2年度事業】

目標	V	男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の整備		
施策	3	男女共同参画への意識を育む教育の実施		
取組の方向	1	学校、地域、家庭における男女共同参画意識を育む教育		
事業	67	男女混合名簿の使用		
	68	家庭と一体となった男女平等教育をすすめるための情報提供		
	69	教育及び保育等に携わる者への男女平等に関する啓発、研修の充実		
	70	保育実施上の配慮		
	71	学習機会や情報の提供		
	72	キャリア教育の充実		
	再59	若年層を対象とした啓発		
73	女性教員に対する管理職試験への受験奨励			
担当課		子育て支援課	児童青少年課	指導室
		生活文化課	生涯学習課	

「取組の方向」全体についての講評・提言

「学校」、「地域」、「家庭」とターゲットを分けて、男女共同参画意識を育む教育をどのように推進したら良いのかについて、考える機会を持つと各課の使命がみえてくるのではないかと。

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
65 子育て支援課	69 70	<p>昨年の評価で、「保育士等への研修によって保育の質や保護者へのアピールがどのように変わったのか、具体的な報告があるとさらに良かった」と書いたが、その報告があるとよかった。小さな子どもは、夫婦の関係から学ぶことも多いため、夫婦関係のあり方から考えてもらうのも良いのではないかと。</p> <p>幼稚園については、保育園よりも性区分の使用頻度が高いという報告もあることから、幼稚園でも何らかの取り組みがされることを期待する。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
次年度目標			
B			
66 児童青少年課	69	<p>課題の把握はできていると考える。一方で、取組状況を把握するには資料が不足している。コロナ禍という状況もあるかもしれないが、「男女共同参画意識を育む教育」の実施について、詳しい説明がほしい。</p>	評価
			C
			取組状況
			C
			課題把握
			C
次年度目標			
B			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
67 指導室	67 68 69 72 73	年間指導計画に基づいて適切に実施していることで、担当課評価がAとなっているが、令和2年度に新たに取り組んだ事業についての報告がないと評価がしづらい。また、「次年度の方向性・目標」について、より具体的な内容を示してほしい。  放課後の公園等で中学生の男女が一緒に遊ぶ姿が、以前より多く見られるようになった。男女混合名簿だけの効果かどうか分からないが、昨年度のヒアリングの成果を感じた。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
			次年度目標
B			
68 生活文化課	再59	「学校、地域、家庭における男女共同参画意識を育む教育」というテーマに向かい、新たな取り組みにチャレンジしていることが感じられる内容の報告である。今までに無い内容の取り組みも見られ、高く評価したい。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
次年度目標			
A			
69 生涯学習課	71	自然の中での体験事業が実施できなかったことは残念に思う。計画していた事業の代わりに実施した、「つりぼり体験」、「市内めぐり」、「スポーツ大会」等についての報告もほしかった。  数値目標を設定してほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
次年度目標			
B			

通し番号	70
------	----

【令和2年度事業】

目 標	VI	推進体制の整備・強化
施 策	1	男女平等推進センターの機能強化
取組の方向	1	情報発信の充実(SNS等の活用、情報誌の充実)
事業	74	男女平等推進センター機能の充実
	75	学習機会の提供の充実
	76	男女共同参画に関する情報収集及び提供の充実
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
70		コロナ禍で直接会って話ができない中、いかにして、今の技術を使って人を集め、情報共有するか、男女平等推進センターの事業に興味を持ってもらうか、アイデアの勝負ではないか。他の施設の面白い取り組みなど参考にし、さらなる情報発信の充実を図ってほしい。リモートで開催する意見交換会なども、テーマによっては面白いかもしれない。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
		次年度目標	
		B	

通し番号	71
------	----

【令和2年度事業】

目 標	VI	推進体制の整備・強化
施 策	1	男女平等推進センターの機能強化
取組の方向	2	他機関との連携強化
事業	77 関係機関、各種団体との連携の推進及びネットワークづくりの促進	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
71		コロナ禍にも関わらず、多くの連携事業を実施している点を高く評価する。また、「次年度の方向性・目標」に記載があるように、学校との連携は重要である。	評価 A
生活文化課	77	「つながるカフェ」などの、新たな事業について、今後は取り組み内容を具体的に記載してほしい。  労働問題や事業所向けセミナーなどでは社労士との連携も可能と思われるので検討してはどうか。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 B

通し番号	72-74
------	-------

【令和2年度事業】

目標	VI 推進体制の整備・強化		
施策	2 庁内推進体制の強化		
取組の方向	1 男女共同参画視点を持った組織づくり		
事業	78 男女共同参画への理解促進に向けた職員研修の充実		
	再21 特定事業主行動計画の推進とポジティブ・アクションの推進(再掲)		
	79 男女の配置均等化の推進		
	再22 女性職員の能力活用に関する管理職研修の実施(再掲)		
	80 プロジェクトチーム等におけるポジティブ・アクションの推進		
担当課	職員課	生活文化課	企画調整課

「取組の方向」全体についての講評・提言

--

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
72	職員課 78再21 79再22	<p>「男女共同参画視点を持った組織づくり」とは、どのような組織を作ることなのか、単に男女が同数いる組織のことなのか等、組織の目指す形が見えてこないため、報告内容に関しても、目標が見えていない感じがする。</p> <p>数値目標に掲げている「片性だけの人員配置の部署」については、ゼロを目指してほしい。</p> <p>「次年度の方向性・目標」に「育児休業の取得環境の改善」と記載されているため、改善が進むことを期待したい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			
73	生活文化課 78再21 再22	<p>「男女共同参画の視点を持った組織づくり」とは、どのような組織を作ることなのか。単に男女が同数いる組織のことなのか。女性が管理職を務める組織のことなのか。理想の形が提示されても、その理想形に感じる感情は、一人一人違う。そこに温度差がでるのだと思う。男女共同参画の難しさは、そういうところにあると感じる。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
B			
次年度目標			
B			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
74		企画調整課の役割は、「プロジェクトチームの立ち上げ」だけではないのではないか。受け身的な報告となっているため、企画調整課の仕事の中で、本テーマに関する部分をもっと報告してほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
			次年度目標
		B	
企画調整課	80		

通し番号	75
------	----

【令和2年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	2	庁内推進体制の強化
取組の方向	2	庁内推進協議会の充実
事業	81	男女共同参画推進協議会の充実
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
75		女性管理職が減少し、女性委員の割合が減少したのは残念だが、活発な意見交換の場になっているということで、評価したい。少数でも女性が加わることで、議論の方向性が変わってくることもある。今後も女性委員の増員に向けて、アイデアを絞ってほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
			B
生活文化課	81		次年度目標
			B

通し番号	76-78
------	-------

【令和2年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化		
施策	2	庁内推進体制の強化		
取組の方向	3	庁内実施主体間の連携強化		
事業	82	男女共同参画推進のための総合調整機能の強化		
	83	ジェンダー予算に関する調査研究		
担当課		企画調整課	財政課	生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言

企画調整課、財政課、生活文化課が連携し目標に向けて充実した活動を推進している感じが伝わってきた。

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
企画調整課	76	担当課評価にもあるように、長期総合計画基本構想審議会委員、スポーツ健康都市宣言起草委員会等において、男女比率の均等化について一定の成果をあげている点は評価できる。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			
財政課	77	予算編成過程においてジェンダー予算の視点を意識しながら、予算編成業務を行った点を評価したい。また、「具体的にどのようなことを行ったのか」についても報告が欲しい。  「次年度の方向性・目標」にある「ジェンダーの視点が定着するような動機付け」について説明がほしい。	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
B			
次年度目標			
B			

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
78		関係各課と連携を図りながら、男女共同参画の視点から見た課題を共有し、取り組んでいる点を高く評価する。	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
			A
			次年度目標
		A	
生活文化課	82 83		

通し番号	79
------	----

【令和2年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	2	庁内推進体制の強化
取組の方向	4	市民参加による推進体制の充実
事業	84 男女平等推進市民会議の充実	
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言		

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
79		<p>市民会議が、男女共同参画の視点から、関係各課の取り組みを評価し、時には意見交換の場を持ったことで、事業への理解を深める機会にもなり、お互いの活動内容も見えてくることで、男女共同参画への理解も深まってきているように感じる。</p> <p>昨年度、指導室との意見交換の場が持たれ、中学校での男女混合名簿の使用という形で施策が実現できたという点を評価する。</p> <p>具体的目標や数値の記載があると評価もしやすいため、今後改善してほしい。</p>	評価
			A
			取組状況
			A
			課題把握
		B	
		次年度目標	
		A	

通し番号	80
------	----

【令和2年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	3	関係機関・団体との連携強化
取組の方向	1	国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化
事業	85	国、都、企業、学校、地域の団体との連携強化
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
80		連携した機関・内容について詳しく報告されている点を評価する。どのような目的のための連携強化なのか、事業全体に対してどのような効果があったのか等についても報告があるとさらに良かった。	評価 A
生活文化課	85	「数値の指標」について、実績値のみでなく目標値も入れてほしい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			A

通し番号	81
------	----

【令和2年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保
取組の方向	1	確実なPDCAサイクルの実施
事業	86	進捗状況の年次報告の実施
担当課	生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号	講評・提言		年度評価
担当課	事業番号		項目評価
81		PDCAのうち、PDCIについては取組状況から実施できていることが読み取れる。アクションについても、新たな評価方法を取り入れたことで、これからの取り組みの推進に期待できると考える。	評価 A
生活文化課	86	第3次男女平等推進プランの進捗状況評価を実施してきているが、単年度で見るだけでなく、数年度の進展について累計値で評価していかないと、「今、どのくらいまでできているのか」という確証が得られにくいのではないかと。A評価の積み重ねがどこまでできているのかを検証する必要がある。  数値化しづらいとは思いますが、数値目標を具体的に設定するなど、評価がしやすくなるようさらなる改善をしてほしい。	取組状況 A
			課題把握 A
			次年度目標 A
			A

通し番号	82
------	----

【令和2年度事業】

目 標	VI	推進体制の整備・強化
施 策	4	男女平等推進プランの実効性の確保
取組の方向	2	男女別等統計の充実
事業	87	プランの実効性の向上
担当課		生活文化課

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
82		<p>ジェンダー統計に表れている男女における差異について理解するためには、背景要因まで探って理解してほしい。男女とも、「言葉に出せない気持ち」や「事情」を抱えており、そのようなバランスになっているものが多くあるのではないかと。財政面や記録方法などの課題もあるかと思うが、アンケート調査ではくみ取れない部分もあると思われるため、時にはインタビュー形式で実態を探ることも大事ではないか。また、LGTBなど、多様な人の意見も取り入れながら統計を充実させてほしい。</p> <p>具体的にどのような取り組みをしているのか、取組状況に書かれているものだけでは分からないことがある。数値化されたものが示されると課題がどのくらい達成できたのか分かるため、可能な限り数値目標を設定するよう担当課に徹底してほしい。</p>	評価
			B
			取組状況
			B
			課題把握
生活文化課	87		B
			次年度目標
			B

通し番号	83
------	----

【令和2年度事業】

目標	VI	推進体制の整備・強化	
施策	4	男女平等推進プランの実効性の確保	
取組の方向	3	男女共同参画推進条例(仮称)の研究	
事業	88	男女共同参画推進条例(仮称)の研究	
担当課		生活文化課	

「取組の方向」全体についての講評・提言	

課別評価

通し番号		講評・提言	年度評価
担当課	事業番号		項目評価
83		他市から「条例を制定したことよっての成功事例」を学び、東久留米市でも男女共同参画推進条例の制定に向けて、「動き出すべきか」「動き出す必要がないか」という判断材料を提供できる時期にきているのではないかと。毎年、「研究をした」という取組状況が続いているため、いつまでに何をを目指すのかという計画を立てるべきではないか。	評価
			C
			取組状況
			C
			課題把握
			C
		次年度目標	
		C	



### III 參考資料





3東久市生第114号  
令和3年5月31日

東久留米市男女平等推進市民会議  
会長 名取 はにわ 様

東久留米市長 並木 克巳

東久留米市男女平等推進プランについて(諮問)

東久留米市は、平成29年2月23日に男女平等推進市民会議よりいただいた答申を踏まえ、平成29年3月に計画期間を平成29年度～令和4年度の6年間とする「東久留米市第3次男女平等推進プラン」(以下、「プラン」という。)を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを進めております。

プランが掲げる目標の達成に向けて現在の進捗状況を確認するため、東久留米市男女平等推進市民会議条例第2条に基づき、下記事項について諮問いたします。

記

諮問事項

東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について(令和2年度事業)

答申期限

令和3年10月29日

## 2 東久留米市男女平等推進市民会議条例

平成8年12月25日条例第23号

### 改正

平成13年3月30日条例第16号

平成14年12月27日条例第28号

### 東久留米市男女平等推進市民会議条例

(設置)

**第1条** 東久留米市男女平等推進プランが目指す男女共同参画社会の実現に向けて、その課題の解決を図るため、市長の附属機関として、東久留米市男女平等推進市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

**第2条** 市民会議は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について協議し、報告する。

- (1) 東久留米市男女平等推進プランの推進にかかわる事項
- (2) 前号のほか、男女共同参画社会の実現のために解決が必要な課題に関する事項

(組織)

**第3条** 市民会議は、次に掲げる者につき、市長が委嘱する委員10人以内で組織する。

- (1) 学識経験を有する者 2人以内
- (2) 東京都等関係行政機関が推薦する者 2人以内
- (3) 市民公募による者 4人以内
- (4) 市職員で市長が推薦する者 2人以内

(委員の任期)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

**第5条** 市民会議に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員が互選する。

- 3 会長は、市民会議を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 市民会議は、会長が招集する。

- 2 市民会議は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 市民会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 市民会議は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を徴することができる。

(部会)

**第7条** 市民会議は、特定事項又は専門的事項について調査及び検討を行うために必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。
- 3 前2条の規定は、部会の運営について準用する。

(庶務)

**第8条** 市民会議の庶務は、市民部において処理する。

(委任)

**第9条** この条例に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

#### 付 則

この条例は、公布の日から施行する。

#### 付 則 (平成13年3月30日条例第16号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

#### 付 則 (平成14年12月27日条例第28号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。

### 3 東久留米市男女平等推進市民会議委員名簿（第11期）

	区分	役職等	氏名
◎	学識経験者	・学校法人 日本社会事業大学理事長 ・元内閣府男女共同参画局長	名取 はにわ
	学識経験者	・一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事	林 恭子
	東京都等関係 行政機関の推薦	・東京都生活文化局都民生活部男女平等参 画課長	折原 健太 R3.3.31 まで
	東京都等関係 行政機関の推薦	・東京都生活文化局都民生活部男女平等参 画課長	菅野 雄一郎 R3.4.26 から
	東京都等関係 行政機関の推薦	・北多摩北地区保護司会 東久留米分区	澤田 さなえ
	公募市民		有賀 千歳
	公募市民		岩崎 明子
○	公募市民		本田 純
	公募市民		山本 桂子
	市職員	・東久留米市子ども家庭部長	長澤 孝仁 R3.3.31 まで
	市職員	・東久留米市子ども家庭部長	切刀 隆 R3.4.1 から
	市職員	・東久留米市教育部長	森山 義雄 R3.3.31 まで
	市職員	・東久留米市教育部長	山下 一美 R3.4.1 から

\*◎は会長 ○は副会長

\*区分は東久留米市男女平等推進市民会議条例第3条による

\*任期は令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

#### 4 東久留米市男女平等推進市民会議検討経過

回数	開催日	会議内容
第1回男女平等推進市民会議	令和3年5月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 諮問書の交付</li> <li>● 令和元年度事業の進捗状況評価に係る表彰について（報告）</li> <li>● 東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和2年度事業）</li> <li>● 東久留米市男女平等・共同参画に関するアンケート調査について</li> </ul>
ワーキンググループ会議*	令和3年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年度事業進捗状況評価について（評価作成：目標Ⅰ～Ⅲ）</li> </ul>
ワーキンググループ会議*	令和3年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年度事業進捗状況評価について（評価作成：目標Ⅴ、Ⅵ）</li> </ul>
ワーキンググループ会議*	令和3年7月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和2年度事業進捗状況評価について（評価作成：目標Ⅳ）</li> </ul>
第2回男女平等推進市民会議	令和3年8月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和2年度事業）</li> <li>● 東久留米市男女平等・共同参画に関するアンケート調査について</li> </ul>
第3回男女平等推進市民会議	令和3年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 進捗状況評価に係る担当課との意見交換について</li> <li>● 東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和2年度事業）</li> </ul>
第4回男女平等推進市民会議	令和3年10月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和2年度事業）</li> </ul>

\*ワーキンググループ会議（担当委員）

グループ1（目標Ⅰ～Ⅲ）：名取会長、山本委員、切刀委員

グループ2（目標Ⅳ）：有賀委員、林委員、山下委員

グループ3（目標Ⅴ、Ⅵ）：本田副会長、澤田委員、菅野委員、岩崎委員



## IV 東久留米市男女共同参画都市宣言



## 東久留米市男女共同参画都市宣言

わたしたちは

生まれたときから平等です  
性別に関係なく  
年齢に関係なく

わたしたちは

互いに人権を尊重し 責任を分かちあいます  
家庭でも  
学校でも  
職場でも  
地域でも

わたしたちは

さまざまな分野に参画して  
個性と能力をいかし  
一人ひとりが輝く  
差別のない社会をきずきます

わたしたちは

水と緑に恵まれた このまちを受けつぎ  
地球の環境をまもり 平和の輪をひろげて  
男女がいきいきと暮らす社会をつくります

2000（平成12）年10月1日